



アプリケーションガイド

AWS IoT SiteWise Monitor



AWS IoT SiteWise Monitor: アプリケーションガイド

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

.....	vi
AWS IoT SiteWise Monitor 可用性の変更	1
移行オプション	1
制限事項	2
アーキテクチャの比較	2
SiteWise Monitor から Amazon Managed Grafana への移行手順	3
ステップ 1: Monitor 関連のリソースをエクスポートする	3
ステップ 2: 用の Amazon Managed Grafana をセットアップする AWS IoT SiteWise	3
ステップ 3: 検証とクリーンアップ	4
よくある質問	5
その他のリソース	5
AWS IoT SiteWise Monitor とは	6
SiteWise Monitor のロール	7
SiteWise Monitor の概念	9
はじめに	12
ポータルにサインインする	13
ポータルのナビゲーション	14
ポータル管理者として開始する	15
アセットデータを調べ、アセットをプロジェクトに追加する	15
プロジェクトに所有者を割り当てる	18
プロジェクト所有者として開始する	21
プロジェクトアセットとそのデータを調べる。	22
ダッシュボードを作成してデータを視覚化する。	23
データを理解するために視覚化を構成する。	24
プロジェクトにビューワーを割り当てる。	28
プロジェクトビューワーとして開始する	30
共有ダッシュボードを探索する。	31
プロジェクトアセットを調べる	34
アセットを調べる	36
アセットデータを表示する	37
プロジェクトにアセットを追加する。	40
新しいプロジェクトにアセットを追加する	40
既存のプロジェクトにアセットを追加する	43
プロジェクトからアセットを削除する	44

プロパティとアラームを追加する	45
プロジェクトとデータを共有する	48
プロジェクトを作成する	49
新しいプロジェクトを作成する	49
プロジェクトの詳細を表示する	50
プロジェクトにアセットを追加する。	51
新しいプロジェクトにアセットを追加する	52
既存のプロジェクトにアセットを追加する	54
プロジェクトからアセットを削除する	56
プロジェクトの所有者を割り当てる	57
プロジェクトビューワーを割り当てる	60
プロジェクトの詳細を変更する	63
プロジェクトを削除する	64
ダッシュボードでデータをビジュアライゼーションする	66
ダッシュボードを表示する	67
ダッシュボードの時間範囲を調整する。	70
ダッシュボードを作成する	72
ビジュアライゼーションを追加する	74
ダッシュボードを編集する	75
プロパティやアラームをダッシュボードにドラッグする	76
ビジュアライゼーションをカスタマイズする	78
ビジュアライゼーションのタイプを変更する	79
ビジュアライゼーションにデータを追加する	80
ビジュアライゼーションからデータを削除する	81
ビジュアライゼーションを削除する	82
ビジュアライゼーションのタイプを選択する	83
しきい値を設定する	91
トレンドラインを設定する	95
ダッシュボードのレイアウトを調整する	98
ダッシュボードを削除する	99
アラームを使用してモニタリングする	101
アラーム定義を作成する	103
アラームの詳細を表示する	107
アラームに対応する	108
アラームを承認する	109
アラームをスヌーズする	110

アラームを設定する	112
ダッシュボードでアラームを視覚化する	114
キーボードとマウスのショートカット。	115
ドキュメント履歴	116

SiteWise Monitor 機能は、新規のお客様にはご利用いただけません。既存のお客様は、通常どおりサービスを引き続き使用できます。詳細については、[SiteWise Monitor の可用性の変更](#)」を参照してください。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。

AWS IoT SiteWise Monitor 可用性の変更

AWS IoT SiteWise Monitor この機能と同様の機能については、Amazon Managed Grafana (AMG) 用の SiteWise プラグインを参照してください。

このガイドでは、AWS IoT SiteWise Monitor お客様の移行オプションについて説明します。

SiteWise Monitor は、データを視覚化して組織 AWS IoT SiteWise のメンバーと共有するためのウェブポータルを作成 AWS IoT SiteWise できる の機能です。AWS IoT SiteWise は引き続き使用できますが、Monitor 機能はメンテナンスモードに移行しています。

Note

AWS IoT SiteWise と Amazon Managed Grafana は引き続き完全にサポートされています。AWS IoT SiteWise Monitor 機能である視覚化レイヤーのみがメンテナンスモードに移行しています。AWS IoT SiteWise および Amazon Managed Grafana データは影響を受けません。

移行オプション

AWS IoT SiteWise Monitor ダッシュボードと視覚化を Amazon Managed Grafana に移行することをお勧めします。

Amazon Managed Grafana

Amazon Managed Grafana は、メトリクスGrafana、ログ、トレースのクエリ、視覚化、アラートを可能にする一般的なオープンソース分析プラットフォームである のフルマネージドサービスです。

Amazon Managed Grafana の使用を開始するには、[Amazon Managed Grafana ユーザーガイド](#) の「[Amazon Managed Grafana とは](#)」を参照してください。

その他のオプション

- Grafana Cloud – Grafana Labs が提供するフルマネージド Grafana® インスタンス。詳細については、[Grafana Labs](#) のウェブサイトを参照してください。
- オープンソース Grafana (セルフホスト) – Edge で産業用データのローカルリアルタイムモニタリングダッシュボードを作成します。詳細については、[SiteWise Edge とオープンソースツールを使用してデータを処理および視覚化する](#)」を参照してください。

制限事項

Amazon Managed Grafana に移行するときは、次の制限を考慮してください。

- Amazon Managed Grafana にアセットレベルのアクセスコントロールがない
- Amazon Managed Grafana は AWS IoT SiteWise Assistant をサポートしていません

アーキテクチャの比較

AWS IoT SiteWise Monitor は、プロジェクト、ダッシュボード、ユーザー管理を通じて産業データを視覚化し、AWS IoT SiteWise アセットやデータと直接統合するウェブポータルを提供します。Amazon Managed Grafana は、視覚化レイヤーのみを置き換えながら、コア AWS IoT SiteWise アセットとデータ管理を維持します。Amazon Managed Grafana は AWS IoT SiteWise 、プラグインを通じて広範な可視化機能を提供します。

機能の比較

機能	AWS IoT SiteWise Monitor	Amazon Managed Grafana
データの可視化	産業に焦点を当てたコンポーネントを備えた組み込みダッシュボード	SiteWise プラグインを使用した広範なビジュアライゼーションライブラリ
ユーザー管理	IAM Identity Center とポータル固有のアクセスの統合	IAM Identity Center とワークスペースレベルのコントロールの統合
アセットナビゲーション	SiteWise の直接統合による階層アセットブラウザ	SiteWise プラグインによるアセットナビゲーション
AI 機能	組み込み AWS IoT SiteWise Assistant 統合	サポートされていません
ダッシュボードの作成	産業用テンプレートを使用したプロジェクトベースの組織	広範なカスタマイズによる柔軟なダッシュボードの作成。SiteWise Monitor に似たフォルダ組織。
リアルタイム更新	SiteWise データストリーミング	プラグインを介した SiteWise データストリーミング

機能	AWS IoT SiteWise Monitor	Amazon Managed Grafana
セキュリティ	AWSマネージドポータルセキュリティ	AWSマネージドワークスペースセキュリティと追加のコントロール

SiteWise Monitor から Amazon Managed Grafana への移行手順

ステップ 1: Monitor 関連のリソースをエクスポートする

SiteWise Monitor のすべてのリソースをエクスポートして、設定を保持します。

リソースをエクスポートするには

1. すべてのポータルとプロジェクトを一覧表示します。詳細については、AWS IoT SiteWise API リファレンスの[ListPortals](#)」と[ListProjects](#)」を参照してください。
2. すべてのダッシュボード設定と視覚化を一覧表示します。詳細については、AWS IoT SiteWise API リファレンスの[ListDashboards](#)」を参照してください。
3. アクセス許可とユーザーロールを記録します。詳細については、「AWS IoT SiteWise ユーザーガイド」の「[の Identity and Access Management AWS IoT SiteWise](#)」を参照してください。

ステップ 2: 用の Amazon Managed Grafana をセットアップする AWS IoT SiteWise

1. Amazon Managed Grafana 入門ガイドに従ってワークスペースを作成します。詳細については、「Amazon Managed Grafana [ユーザーガイド](#)」の「[最初のワークスペースを作成する](#)」を参照してください。

Note

アクセス許可タイプを設定するときに管理されるサービスを選択します。

2. データソース設定をセットアップします AWS IoT SiteWise。詳細については、「Amazon Managed Grafana [ユーザーガイド](#)」の AWS 「[データソース設定を使用してデータソース AWS IoT SiteWise としてを追加する](#)」を参照してください。

3. Amazon Managed Grafana で AWS IoT SiteWise データのダッシュボードを作成します。詳細については、「Amazon Managed [Grafana ユーザーガイド](#)」の「[最初のダッシュボードを作成する](#)」を参照してください。

既存の SiteWise Monitor ダッシュボードのポータルレイアウトとコンポーネントをモデルとして使用して、Amazon Managed Grafana で同様に構造化されたダッシュボードを作成できます。

4. Amazon Managed Grafana でワークスペースのアクセス許可を設定します。詳細については、「[Manage user and group access to Amazon Managed Grafana workspaces](#)」を参照してください。

ステップ 3: 検証とクリーンアップ

1. Amazon Managed Grafana で予想されるすべてのデータが表示されることをテストします。たとえば、アセットのプロパティ、更新、集計された測定値、アセット階層のナビゲーションなどです。
2. データが Amazon Managed Grafana にあることを確認したら、SiteWise Monitor リソースを次の順序で削除します。
 - a. ポータル内のプロジェクトを削除します。詳細については、AWS IoT SiteWise API リファレンスの[DeleteProject](#)」を参照してください。
 - b. プロジェクトのすべてのアクセスポリシーを削除します。詳細については、AWS IoT SiteWise API リファレンスの[DeleteAccessPolicy](#)」を参照してください。
 - c. プロジェクトのすべてのダッシュボードを削除します。詳細については、AWS IoT SiteWise API リファレンスの[DeleteDashboard](#)」を参照してください。
 - d. ポータルのすべてのアクセスポリシーを削除します。詳細については、AWS IoT SiteWise API リファレンスの[DeleteAccessPolicy](#)」を参照してください。
 - e. ポータルを削除します。詳細については、AWS IoT SiteWise API リファレンスの[DeletePortal](#)」を参照してください。

Important

AWS IoT SiteWise アセットとデータインジェスト設定は、AWS IoT SiteWise サービスの他の側面で必要になるため、維持します。

よくある質問

徐々に移行するか、一度にすべて移行する必要がありますか？

徐々に移行できます。SiteWise Monitor と Amazon Managed Grafana を同時に実行できるため、ダッシュボードとユーザーを段階的に移行できます。どちらのサービスも同じ基盤 AWS IoT SiteWise となるデータにアクセスします。

いつまでに移行する必要がありますか？

SiteWise Monitor は、メンテナンスモードで既存のお客様に引き続きご利用いただけます。可用性に変更が予定されている場合は、事前に通知されます。AWS サービス発表とアカウント通知の更新をモニタリングします。

移行中にダウンタイムはありますか？

ダウンタイムは必要ありません。Amazon Managed Grafana は、既存の AWS IoT SiteWise アセットとデータに接続する別のサービスです。移行中も AWS IoT SiteWise データの取り込みとストレージは中断されません。

どのような移行支援を利用できますか？

サポートは、移行に関する質問に役立ちます。複雑な移行の場合は、[プロフェッショナルサービス](#)を検討してください。詳細については、[「プロフェッショナルサービス」](#)を参照してください。

SiteWise Monitor と比較して、Amazon Managed Grafana のコストはどれくらいですか？

Amazon Managed Grafana の料金は、アクティブなユーザーとデータソースクエリに基づいています。現在の料金情報については、[「Amazon Managed Grafana の料金」](#)を参照してください。[料金計算ツール](#)を使用して、特定の使用量のコストを見積もります。

その他のリソース

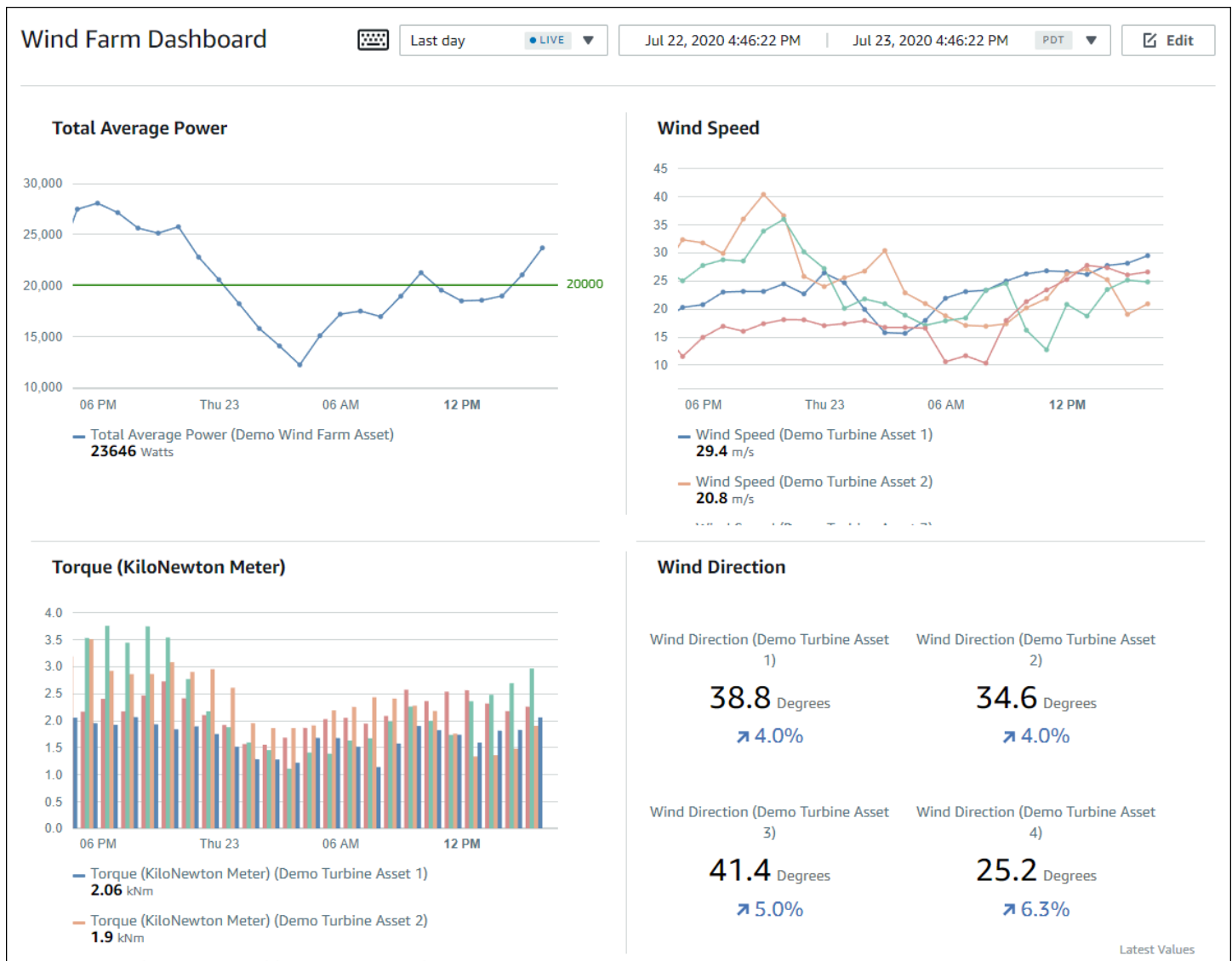
- [Amazon Managed Grafana ユーザーガイド](#)
- [AWS IoT SiteWise API リファレンス](#)
- [AWS IoT SiteWise ユーザーガイド](#)

AWS IoT SiteWise Monitor とは

AWS IoT SiteWise Monitor は、マネージドウェブアプリケーションの形式でポータル AWS IoT SiteWise を提供する の機能です。これらのアプリケーションを使用して、運用データやアラームを閲覧、共有することができます。接続されているプロセス、デバイス、および機器からデータを表示できます AWS IoT SiteWise。プロセスエンジニアのようなドメインエキスパートは、ポータルを使用して運用データに関するインサイトを迅速に取得し、デバイスや機器の動作を把握できます。これらの知見は、デバイス、プロセス、または機器の効率改善や、新たな取り組みの革新に活用することができます。オペレーターはアラームでデータをモニタリングし、機器や装置のパフォーマンスが最適でない場合にアラームで対応することができます。

は時間の経過とともにデータを AWS IoT SiteWise キャプチャするため、AWS IoT SiteWise Monitor を使用して時間の経過とともに運用データを表示できます。AWS IoT SiteWise Monitor を使用すると、見つけるのが難しいインサイトを見つけることができます。

以下は、風力発電所のデータを表示するダッシュボードの例です。



SiteWise Monitor のロール

3つのロールは AWS IoT SiteWise Monitor ポータルを使用します。

ポータル管理者

各 SiteWise Monitor ポータルには、1人以上のポータル管理者があります。ポータル管理者は、ポータルを使用して、アセットとダッシュボードのコレクションを含むプロジェクトを作成します。その後で、ポータル管理者はアセットと所有者を各プロジェクトに割り当てます。プロジェクトへのアクセスを制御することにより、ポータル管理者は、プロジェクトの所有者とビューワーが参照できるアセットを指定します。

プロジェクトの所有者

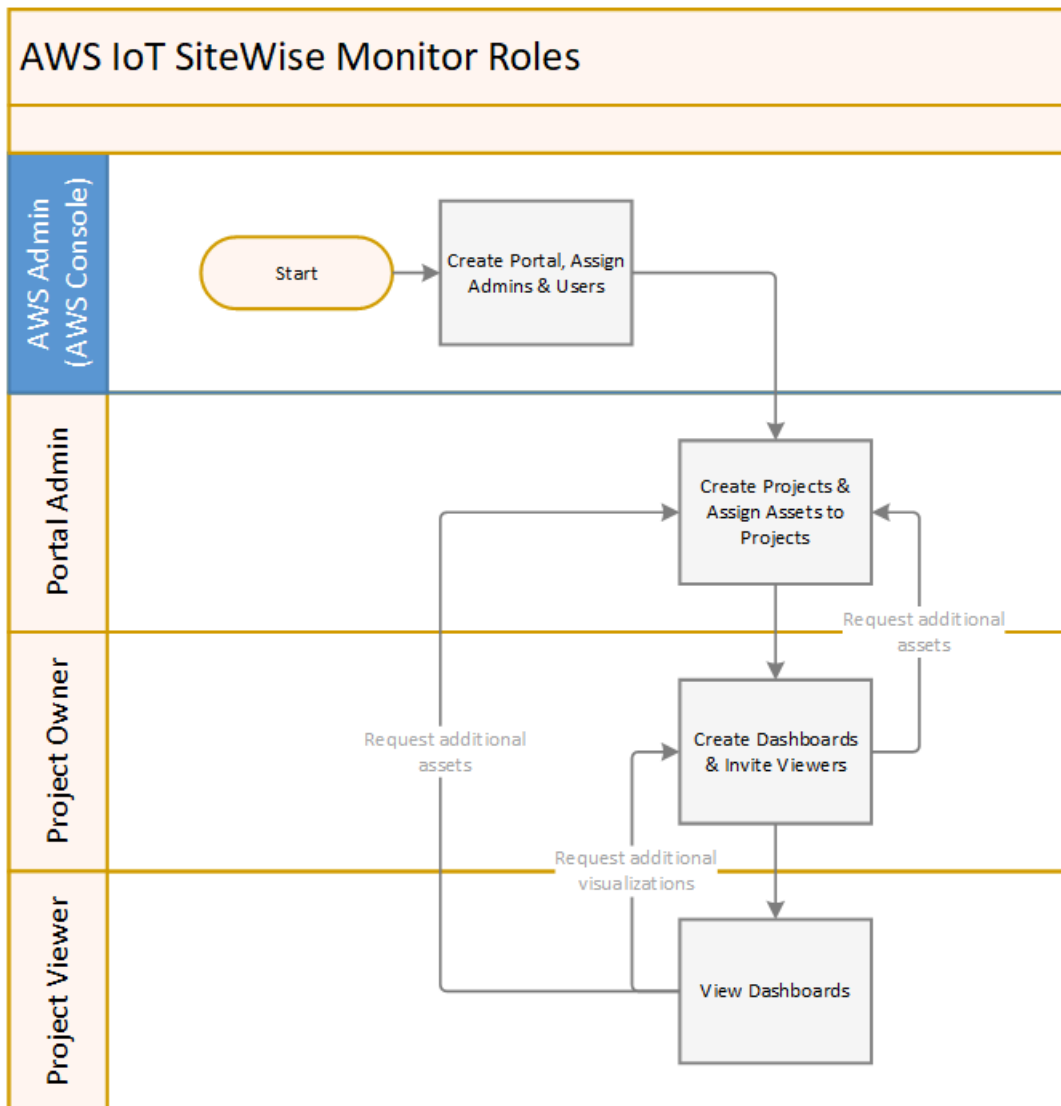
各 SiteWise Monitor プロジェクトには所有者がいます。プロジェクトの所有者は、一貫した方法で運用データを表すために、ダッシュボードの形式で可視化を作成します。ダッシュボードを共有する準備ができたなら、プロジェクト所有者はビューワーをプロジェクトに招待できます。プロジェクトの所有者は、他の所有者もプロジェクトに割り当てることができます。プロジェクト所有者は、アラームのしきい値や通知設定を設定することができます。

プロジェクトビューワー

各 SiteWise Monitor プロジェクトにはビューワーがいます。プロジェクト閲覧者は、ポータルに接続して、プロジェクト所有者が作成したダッシュボードを表示できます。各ダッシュボードでは、プロジェクトビューワーが時間範囲を調整することで、運用データをより深く理解することができます。プロジェクト閲覧者は、アクセス権のあるプロジェクトのダッシュボードのみを表示できます。プロジェクトビューワーは、アラームを確認したり、スヌーズさせたりすることができます。

組織によっては、同じユーザーが複数のロールを実行することがあります。

次のイメージは、ポータルを作成する AWS 管理者に加えて、これらの 3 つのロールが SiteWise Monitor ポータルでどのように相互作用するかを示しています。



[AWS IAM アイデンティティセンター or] (または) IAM を使用して、データにアクセスできるユーザーを管理できます。データユーザーは、IAM Identity Center または IAM 認証情報を使用してデスクトップまたはモバイルブラウザから SiteWise Monitor にサインインすることができます。

AWS 管理者以外のユーザーは、ポータルへのリンクを受け取ったときにポータルにアクセスできます。

SiteWise Monitor の概念

AWS IoT SiteWise Monitor ポータルにサインインするための招待を受け取った場合は、すでにのデータにアクセスできます AWS IoT SiteWise。AWS IoT SiteWise Monitor ポータルを最大限に活用するには、以下の概念を理解しておく必要があります。

Portal

AWS IoT SiteWise Monitor ポータルは、AWS IoT SiteWise データを視覚化して共有するために使用できるウェブアプリケーションです。ポータルには 1 人以上の管理者があり、0 個以上のプロジェクトが含まれています。

プロジェクト

各 SiteWise Monitor ポータルには、一連のプロジェクトが含まれています。各プロジェクトには、AWS IoT SiteWise アセットと関連付けられたサブセットがあります。プロジェクト所有者は、1 つ以上のダッシュボードを作成して、それらのアセットに関連付けられたデータの整合性ある表示方法を提供します。プロジェクトの所有者は、プロジェクトに閲覧者を招待して、プロジェクト内のアセットとダッシュボードを表示できるようにすることができます。プロジェクトは、SiteWise Monitor 内の共有の基本単位です。プロジェクト所有者は、AWS 管理者からポータルへのアクセスを許可されたユーザーを招待できます。ユーザーは、そのポータル内のプロジェクトをそのユーザーと共有する前に、ポータルへのアクセス権を持っている必要があります。

アセット

産業機器 AWS IoT SiteWise からデータが取り込まれると、デバイス、機器、プロセスはそれぞれアセットとして表されます。各アセットには、関連付けられたプロパティとアラームがあります。ポータル管理者は、各プロジェクトにアセットのセットを割り当てます。

プロパティ

プロパティは、アセットに関連する時系列データです。たとえば、機器には、シリアル番号、ロケーション、製造元とモデル、およびインストール日があります。また、可用性、性能、品質、温度、圧力などの時系列値を持つ場合もあります。

アラーム

アラームは、機器の動作範囲外を識別するために、プロパティをモニタリングします。各アラームは、しきい値とモニタリングするプロパティを定義します。プロパティがしきい値を超えると、アラームがアクティブになり、お客様やお客様のチームの誰かが問題に対処する必要があることを示します。プロジェクト所有者は、アラームのしきい値や通知設定をカスタマイズすることができます。プロジェクトビューワーはアラームを確認したり、スヌーズしたりすることができます。アラームの詳細や対処方法をメッセージとして残すことができます。

ダッシュボード

各プロジェクトには、ダッシュボードのセットが含まれています。ダッシュボードは、一連のアセットの値に対する一連の可視化を提供します。プロジェクトの所有者は、ダッシュボードと

それに含まれる可視化を作成します。プロジェクト所有者がダッシュボードのセットを共有する準備ができたなら、所有者はプロジェクトに閲覧者を招待し、プロジェクト内のすべてのダッシュボードにアクセスできるようにします。ダッシュボードごとに異なる閲覧者のセットが必要な場合は、プロジェクト間でダッシュボードを分割する必要があります。ビューワーがダッシュボードを見ると、特定のデータが表示されるように時間範囲をカスタマイズできます。

視覚化

各ダッシュボードでは、プロジェクトに関連するアセットのプロパティとアラームをどのように表示するかをプロジェクト所有者が決定します。可用性は折れ線グラフで、その他の数値は棒グラフや重要業績評価指標 (KPI、Key Performance Indicator) で表示されるかもしれません。アラームは、状態グリッドと状態タイムラインでの表示が最適です。プロジェクトの所有者は、それぞれの可視化をカスタマイズして、そのアセットのデータを最もよく理解できるようにしています。

AWS IoT SiteWise Monitor の使用を開始する

AWS IoT SiteWise Monitor ポータルを使用して、運用データへのアクセスを表示、分析、共有します。各 AWS IoT SiteWise Monitor ポータルは、AWS IoT SiteWise コンソールから作成されるマネージドウェブアプリケーションです。ポータルサイトへのアクセスが許可されると、ポータルサイトへのリンクが記載されたメールが送信されます。このセクションのトピックは、ポータルで何ができるかを理解するのに役立ちます。

ロールによって、タスクは異なるかもしれません。

AWS IoT SiteWise Monitor のロールとタスク

ロール	タスク	開始方法
ポータル管理者	<ul style="list-style-type: none"> ポータルへの招待を受け入れてログインする。 アセットとそのデータを調べる。 プロジェクトを作成してデータを共有する。 プロジェクトに所有者を割り当てる。 プロジェクトにアセットを追加する。 	AWS IoT SiteWise Monitor のポータル管理者を設定する
プロジェクトの所有者	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトへの招待を受け入れてログインする。 プロジェクトアセットとそのデータを調べる。 ダッシュボードを作成してデータを視覚化する。 データを理解するために視覚化を構成する。 プロジェクトにビューワーを招待する。 	AWS IoT SiteWise Monitor プロジェクト所有者として開始する

ロール	タスク	開始方法
プロジェクトビューワー	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトへの招待を受け入れてログインする。 共有ダッシュボードを探索する。 組織のデータを閲覧、把握することができます。 	AWS IoT SiteWise Monitor プロジェクトビューワーとして開始する

AWS IoT SiteWise Monitor ポータルがない場合は、AWS 管理者にお問い合わせください。ポータルの作成方法については、[「ユーザーガイド」の AWS IoT SiteWise 「モニターの開始方法」](#)を参照してください。AWS IoT SiteWise

AWS IoT SiteWise Monitor ポータルにサインインする

ポータル管理者、プロジェクト所有者、ビューワーのいずれであっても、最初のステップは、企業の E メールとパスワード、または AWS Identity and Access Management (IAM) 認証情報を使用して AWS IoT SiteWise Monitor アプリケーションにサインインすることです。SiteWise Monitor は、[AWS IAM アイデンティティセンター or] (または) IAM で認証情報を検証し、承認されたユーザーのみが企業アセットにアクセスできるようにします。

Monitor AWS IoT SiteWise ポータルにサインインするには、次のいずれかを選択できます。

- IAM Identity Center のアイデンティティを使用してください。
 1. ポータルへのリンクが記載されたメールを開き、ウェブポータルを開く。
 2. ダイアログボックスの [E メール] に、企業の E メールアドレスを入力します。
 3. [パスワード] にエンタープライズのパスワードを入力します。
 4. [Sign in (サインイン)] を選択します。

IAM Identity Center はお客様の認証情報を検証し、有効な場合はポータルを開いて、お客様のロールに許可されたタスクを実行できるようにします。

- IAM アイデンティティを使用する。

- IAM ユーザーを使用する場合は、次のようにします。
 1. ポータルへのリンクを開き、ウェブポータルを開く。リンクが記載されたメールが届いているかもしれません。
 2. ダイアログボックスで、[IAM ユーザー名] を入力します。
 3. [パスワード] に IAM パスワードを入力します。
 4. [サインイン] を選択します。

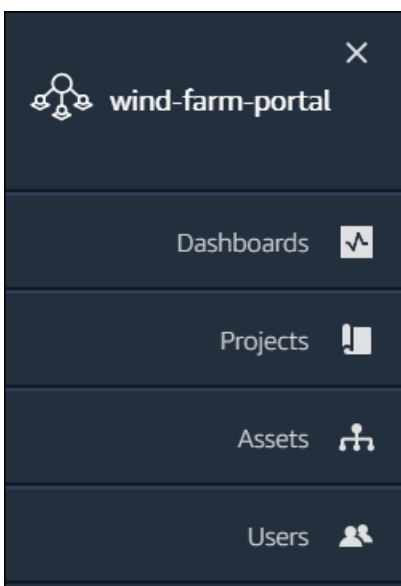
IAM はお客様の認証情報を検証し、有効な場合はポータルを開き、お客様のロールに許可されたタスクを実行できるようにします。

- IAM ロールを引き受けるには、次を実行します。
 1. フェデレーションで IAM にサインインします。
 2. IAM ロールを継承します。
 3. ポータルへのリンクを開き、ウェブポータルを開く。リンクが記載されたメールが届いているかもしれません。

IAMロールが追加されている場合、自動的にポータルにサインインします。これで、自分のロールに応じたタスクを実行できるようになりました。

AWS IoT SiteWise Monitor ポータルに移動する

左側のナビゲーションバーを使用して、AWS IoT SiteWise Monitor ポータル内を移動します。



バーを折りたたむと、アイコンのみが表示されます。

Note

4つのアイコンがすべて表示されるのは、ポータル管理者のみです。

AWS IoT SiteWise Monitor のポータル管理者を設定する

ポータル管理者は、プロジェクトを作成し、そのプロジェクトにアセットを関連付けます。プロジェクトごとに所有者を指定します。そして、プロジェクト所有者は、プロパティの値やアラームを視覚化したダッシュボードを作成することができます。ポータル管理者のみが、プロジェクトの作成、所有者の割り当て、各プロジェクトに関連するアセットリストの変更を行うことができます。ポータル管理者として、次の作業を行うことができます。

- [ポータルにサインインする](#)
- [アセットデータを調べ、アセットをプロジェクトに追加する](#)
- [プロジェクトに所有者を割り当てる](#)
- [プロジェクト所有者として開始する](#)

アセットデータを調べ、アセットをプロジェクトに追加する

アクセス権を持つアセットのリストを探索し、プロパティを表示することができます。ポータル管理者として、プロジェクトにアセットを追加して、プロジェクト所有者が利用できるようにすることができます。プロジェクト所有者は、ダッシュボードを作成し、アセットのプロパティやアラームを他の内容領域専門家が共通で見られるようにすることができます。

次の手順では、AWS IoT SiteWise Monitor ポータルで署名していることを前提としています。

アセットデータを検索し、アセットをプロジェクトに追加することができます。

1. ナビゲーションバーで、[Assets] (アセット) アイコンを選択します。



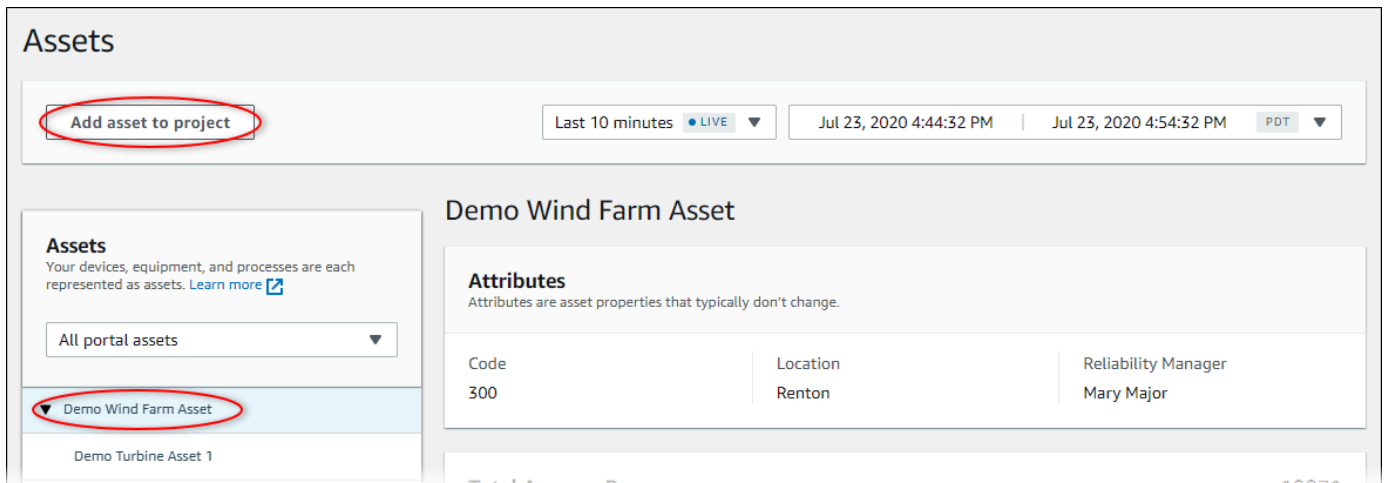
[アセット] ページが表示されます。

The screenshot shows the 'Assets' page in AWS IoT SiteWise Monitor. At the top, there is a header 'Assets' and a navigation bar with a button 'Add asset to project' (marked B), a dropdown menu 'Last 10 minutes' (marked C) with a 'LIVE' indicator, and two time range selectors for 'Jul 23, 2020 4:44:32 PM' and 'Jul 23, 2020 4:54:32 PM' (marked D). On the left, there is a sidebar with 'Assets' (marked A) and a list of assets including 'Demo Wind Farm Asset', 'Demo Turbine Asset 1', 'Demo Turbine Asset 2', 'Demo Turbine Asset 3', and 'Demo Turbine Asset 4'. The main content area shows the 'Demo Wind Farm Asset' (marked D) with 'Attributes' (Code: 300, Location: Renton, Reliability Manager: Mary Major) and a 'Total Average Power' graph showing a value of 19871 (Watts).

ページ内の次の部分をご覧ください。

コールアウト	説明
A	アセット階層をブラウズして、表示するアセットを探したり、プロジェクトに追加したりすることができます。
B	プロジェクトにアセットを追加することで、お客様とプロジェクト所有者は、組織のデータを見るための共通の方法を提供するダッシュボードや視覚化を作成することができます。
C	選択したアセットのプロパティに表示されるデータの時間範囲を選択します。
D	選択したアセットのプロパティの値を表示します。選択したアセットのアラームを表示、設定、応答することができます。

2. [Assets] (アセット) 階層でアセットを選択し、[Add asset to project] (アセットをプロジェクトに追加) を選択します。

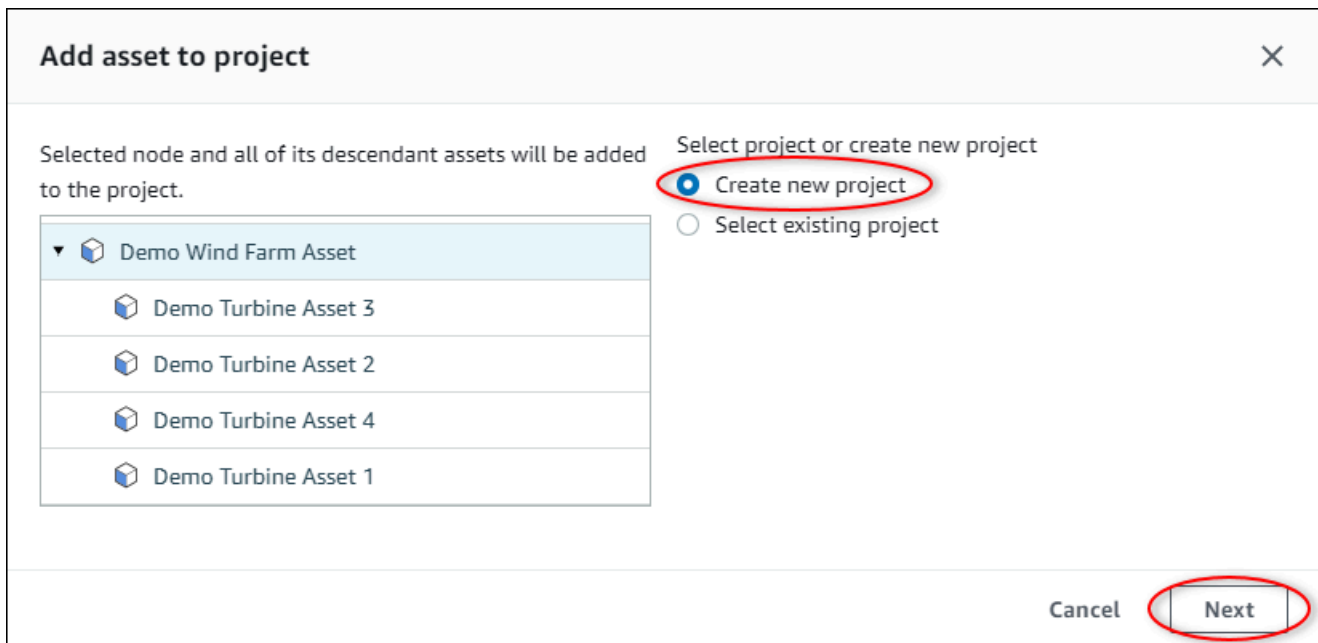


The screenshot shows the 'Assets' page in AWS IoT SiteWise. At the top left, the 'Add asset to project' button is circled in red. Below it, the 'Assets' list on the left shows 'Demo Wind Farm Asset' selected and circled in red. The right-hand pane displays the 'Attributes' for the selected asset, including Code (300), Location (Renton), and Reliability Manager (Mary Major).

Note

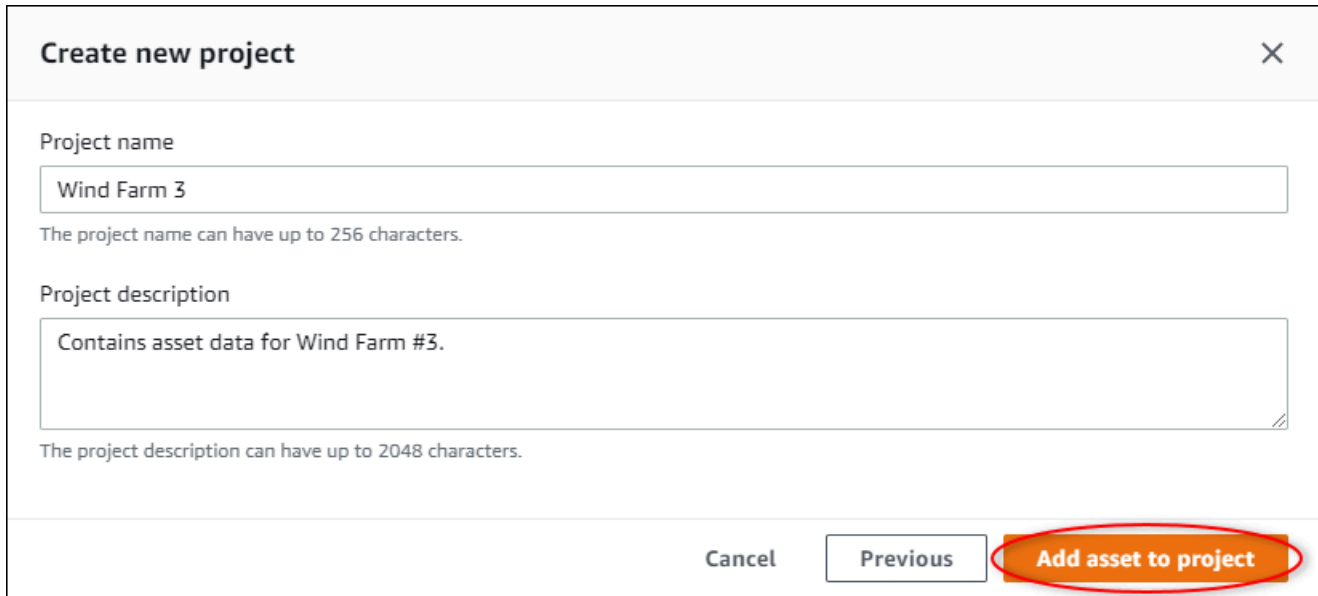
プロジェクトに追加できるノード階層は 1 つだけです (アセットと、そのアセットに従属するすべてのアセット)。共通の親アセットの子である 2 つのアセットを比較するダッシュボードを作成するには、その共通の親をプロジェクトに追加します。

3. [プロジェクトにアセットを追加する] ダイアログボックスで、[新しいプロジェクトを作成する] を選択し、[次へ] を選択します。



The screenshot shows the 'Add asset to project' dialog box. The 'Create new project' radio button is selected and circled in red. The 'Next' button at the bottom right is also circled in red. The dialog lists the selected asset 'Demo Wind Farm Asset' and its descendants: 'Demo Turbine Asset 3', 'Demo Turbine Asset 2', 'Demo Turbine Asset 4', and 'Demo Turbine Asset 1'.

- [プロジェクト名] にプロジェクトの名前を入力します。複数のプロジェクトを作成し、それぞれに個別のアセットを設定する場合は、わかりやすい名前を選択します。



The screenshot shows a 'Create new project' dialog box. It has a title bar with the text 'Create new project' and a close button (X). Below the title bar, there are two text input fields. The first is labeled 'Project name' and contains the text 'Wind Farm 3'. Below this field is a note: 'The project name can have up to 256 characters.' The second field is labeled 'Project description' and contains the text 'Contains asset data for Wind Farm #3.'. Below this field is a note: 'The project description can have up to 2048 characters.' At the bottom of the dialog, there are three buttons: 'Cancel', 'Previous', and 'Add asset to project'. The 'Add asset to project' button is highlighted with a red oval.

- [プロジェクトの説明] では、プロジェクトとその内容についての説明を入力します。

プロジェクト作成後、プロジェクト所有者を追加することができます。

- [Add asset to project] (プロジェクトにアセットを追加する) を選択します。

[Create new project] (新規プロジェクトの作成) ダイアログボックスが閉じられ、新規プロジェクトのページが表示されます。

- プロジェクトを共有する準備ができたなら、プロジェクトに所有者を追加してダッシュボードを作成し、閲覧者を招待することができます。プロジェクトに招待した人は、プロジェクトの詳細ページで確認、変更することができます。

プロジェクトに所有者を割り当てる

ポータル管理者として、プロジェクトを作成した後、プロジェクトの所有者を割り当てることができます。プロジェクト所有者はダッシュボードを作成し、アセットデータの一貫した表示方法を提供します。割り当てられたプロジェクト所有者に、プロジェクトで作業する準備ができた時点で招待メールを送ることができます。

プロジェクトに所有者を割り当てるには。

- ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、プロジェクト所有者を割り当てるプロジェクトを選択します。

Projects

Delete project View Create project

< 1 >

	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

3. プロジェクトの詳細ページの [プロジェクトの所有者] セクションで、プロジェクトに所有者がない場合は [所有者の追加] を、または [所有者の編集] を選択します。

Project owners

Project owners can create dashboards, view asset data, and invite other users to this project as owners or viewers.

Send invitations Remove owners Edit owners

< 1 >

Name ▲ Email

You have not invited any other portal users to own this project.

Project owners can modify and update dashboards and project viewers. [Learn more](#)

Add owners

4. [プロジェクトの所有者] ダイアログ ボックスで、このプロジェクトの所有者となるユーザーのチェックボックスを選択します。

Project owners

Select the portal users you want to be project owners. [Learn more](#)

Portal users

	Name	Email
<input type="checkbox"/>	Mateo Jackson	mateo.jackson@example.com
<input checked="" type="checkbox"/>	Liu Jie	liu.jie@example.com
<input type="checkbox"/>	Martha Rivera	martha.rivera@example.com

Project owners (0)

No results
We could not find any available users

Cancel **Save**

Note

プロジェクト所有者として追加できるのは、ポータルユーザーのみです。ユーザーが表示されない場合は、AWS 管理者に連絡してポータルユーザーのリストに追加してください。

5. プロジェクト所有者として追加する場合は、>> のアイコンを選択します。
6. [保存] を選択して変更を保存します。

次に、プロジェクト所有者にメールを送り、サインインしてもらい、プロジェクトの管理を開始します。

プロジェクト所有者に招待メールを送信するには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、プロジェクト所有者を招待するプロジェクトを選択します。

Projects				
Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description	
<input type="radio"/> Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.	
<input type="radio"/> Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.	
<input checked="" type="radio"/> Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.	

3. プロジェクトの詳細ページの [プロジェクトの所有者] セクションで、メールを受信するプロジェクト所有者のチェックボックスを選択し、[招待状を送信] を選択します。

Project owners		Send invitations	Remove owners	Edit owners
Project owners can create dashboards, view asset data, and invite other users to this project as owners or viewers.				
<input checked="" type="checkbox"/>	Name ▲	Email		
<input checked="" type="checkbox"/>	Liu Jie	liu.jie@example.com		

4. メールソフトが起動し、受信者とメール本文にプロジェクトの詳細があらかじめ入力されています。プロジェクト所有者に送信する前に、E メールをカスタマイズすることができます。

AWS IoT SiteWise Monitor プロジェクト所有者として開始する

AWS IoT SiteWise Monitor の各ポータルには、1 つ以上のプロジェクトが含まれています。プロジェクトは、共有の単位です。プロジェクトにビューワーを招待すると、そのプロジェクトで作成したすべてのダッシュボードを見ることができ、プロジェクトに関連するアセットを探索することもできます。ダッシュボードの異なるサブセットにビューワーがアクセスできるようにしたい場合、ポータル管理者にプロジェクトを分割するよう依頼する必要があります。1 つまたは複数のプロジェクトの所有者として、次の作業を行うことができます。

- [ポータルにサインインする](#)
- [プロジェクトアセットとそのデータを調べる。](#)
- [ダッシュボードを作成してデータを視覚化する。](#)

- データを理解するために視覚化を構成する。
- プロジェクトにビューワーを割り当てる。

プロジェクトアセットとそのデータを調べる。

アクセス権を持つアセットのリストを探索し、プロパティを表示することができます。プロジェクトに追加のアセットが必要な場合は、ポータル管理者に連絡する必要があります。

Note

プロジェクト所有者になると、自分がアクセス権を持つプロジェクトに含まれるアセットのみを表示することができます。

次の手順では、AWS IoT SiteWise Monitor ポータルで署名していることを前提としています。

プロジェクトアセットとそのデータを調べるには。

- ナビゲーションバーで、[Assets] (アセット) アイコンを選択します。



[Assets] (アセット) ページが表示されます。

The screenshot shows the 'Assets' page in the AWS IoT SiteWise Monitor portal. The page title is 'Assets'. At the top, there is a refresh button (labeled 'B') and a dropdown menu set to 'Last 10 minutes' with a 'LIVE' indicator. The date and time are shown as 'Jul 24, 2020 1:31:48 PM' and 'Jul 24, 2020 1:41:48 PM' with a 'PDT' dropdown. On the left, there is a sidebar with a search bar containing 'Wind Farm 3' (labeled 'A') and a list of assets: 'Demo Wind Farm Asset' (selected), 'Demo Turbine Asset 1', 'Demo Turbine Asset 2', 'Demo Turbine Asset 3', and 'Demo Turbine Asset 4'. The main content area shows the details for the 'Demo Wind Farm Asset' (labeled 'C'). It includes an 'Attributes' section with the text 'Attributes are asset properties that typically don't change.' and a table with columns 'Reliability Manager', 'Location', and 'Code'. The values are 'Mary Major', 'Renton', and '300' respectively. Below this is a 'Total Average Power' section showing a value of '19192 (Watts)' and a line graph with a y-axis ranging from 20,000 to 30,000.

ページ内の次の部分をご覧ください。

コールアウト	説明
A	アセット階層をブラウズして、閲覧するアセットを探します。
B	選択したアセットのプロパティに表示されるデータの時間範囲を選択します。
C	選択したアセットのプロパティの値を表示します。選択したアセットのアラームを表示、設定、応答することができます。

ダッシュボードを作成してデータを視覚化する。

プロジェクト所有者の主な活動は、アセットのプロパティとアラームの値を表示する 1 つ以上の視覚化を含むダッシュボードを作成することです。ダッシュボードの作成はすばやく簡単です。

ダッシュボードを作成するには。

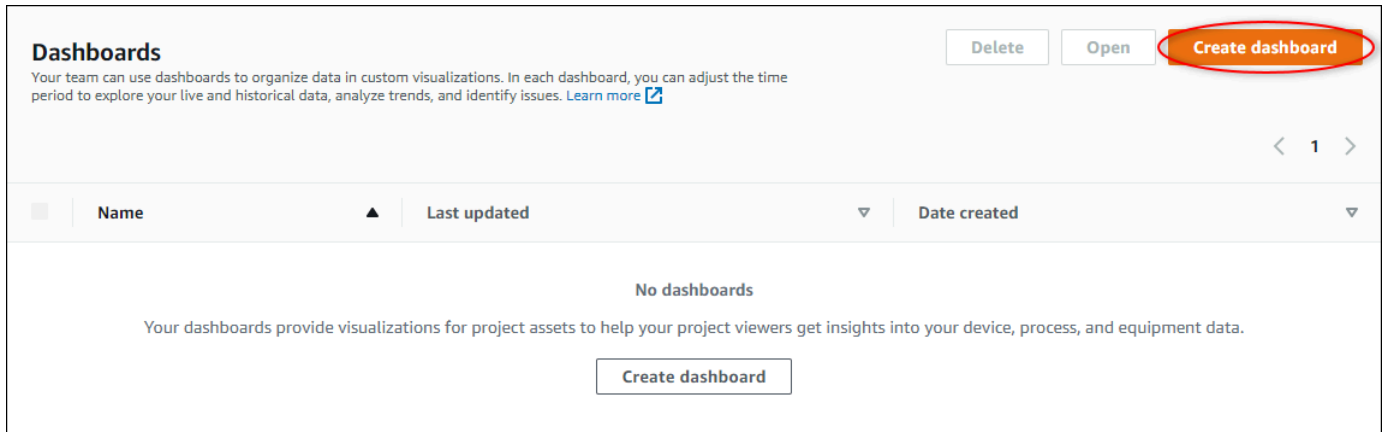
1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [Projects] (プロジェクト) ページで、ダッシュボードを作成するプロジェクトを選択します。

Projects					
	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description	Permissions ▼
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.	Owner
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.	Owner
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.	Owner

3. [Dashboards] (ダッシュボード) セクションで、[Create dashboard] (ダッシュボードの作成) を選択します。



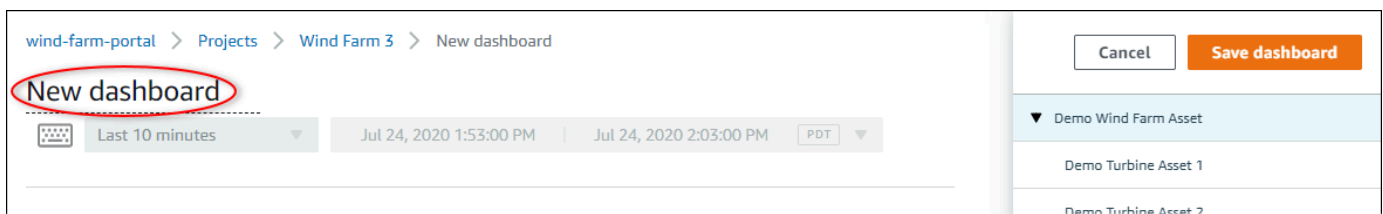
次に、アセットプロパティとアラームの視覚化を1つまたは複数、ダッシュボードに追加します。

データを理解するために視覚化を構成する。

各ダッシュボードには、プロジェクト内のアセットプロパティやアラームの値を1つ以上視覚化して表示することができます。任意のプロパティやアラームに対して視覚化を追加し、視覚化の詳細をカスタマイズすることができます。

視覚化を設定するには。

1. ダッシュボードエディタで、ダッシュボード名をデフォルトの **New dashboard** から、コンテンツを説明するものに変更します。



2. ダッシュボードの右側にあるプロジェクトアセットのリストを参照します。ビジュアライゼーションしたいプロパティやアラームが見つかったら、ダッシュボードにドラッグします。
 - プロパティのデフォルトのビジュアライゼーション型は、[\[line chart\]](#) (折れ線グラフ) です。
 - アラームのデフォルトのビジュアライゼーション型は、[\[status grid widget\]](#) (状態グリッドウィジェット) です。

Note

複数のプロパティやアラームを1つのビジュアライゼーションにドラッグすることができます。

wind-farm-portal > Projects > Wind Farm 3 > New dashboard

New dashboard

Last 10 minutes Jul 24, 2020 1:53:00 PM Jul 24, 2020 2:03:00 PM PDT

Drag data here

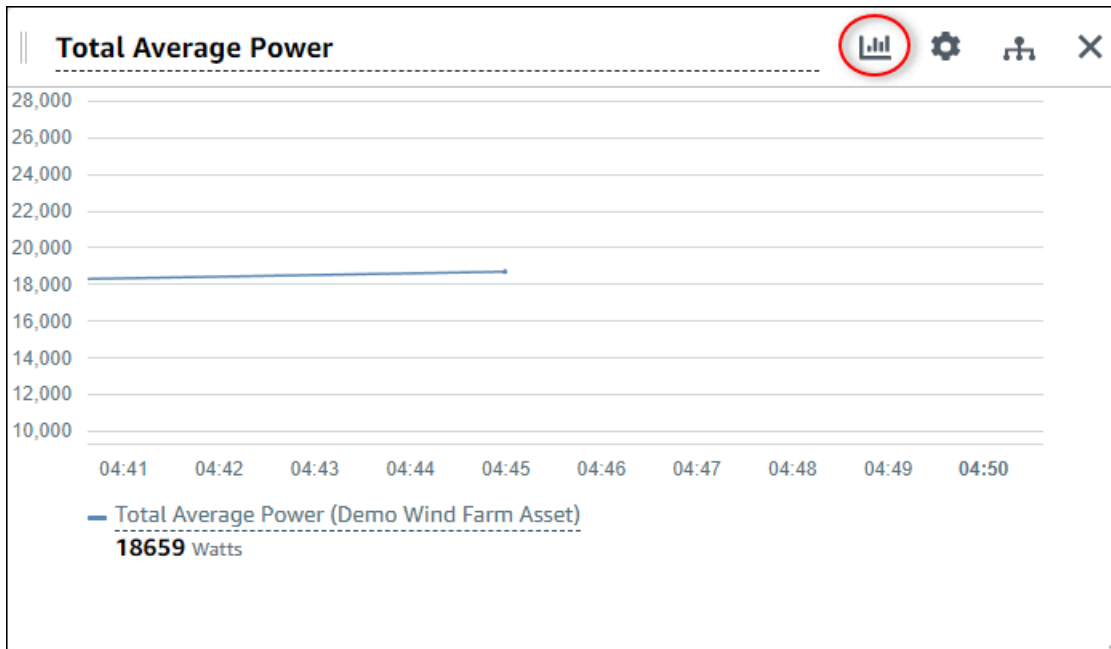
▼ Demo Wind Farm Asset

- Demo Turbine Asset 1
- Demo Turbine Asset 2
- Demo Turbine Asset 3
- Demo Turbine Asset 4

Properties for "Demo Wind Farm Asset"

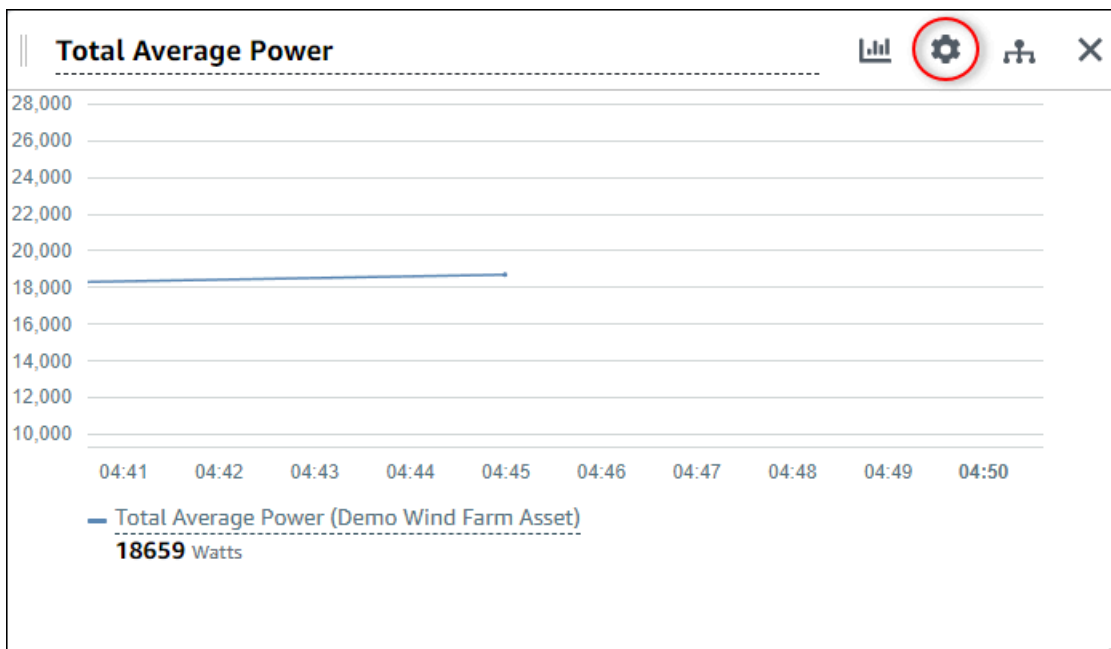
Code	300
Total Average Power	19934 Watts
Total Overdrive State Time	0 seconds

- データの表示方法を変更するには、ビジュアライゼーション型を選択します。

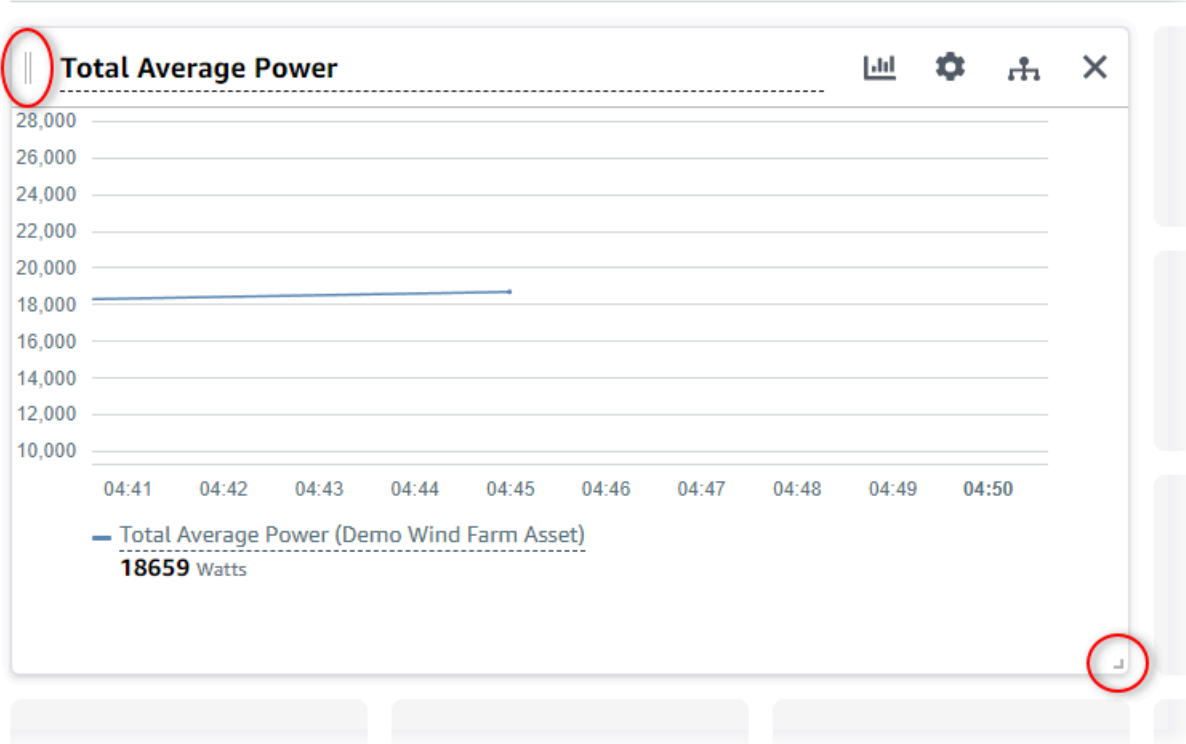


利用可能なビジュアライゼーション型の詳細については、[ビジュアライゼーションのタイプを選択する](#) を参照してください。ビジュアライゼーションの詳細をカスタマイズする場合は、[ビジュアライゼーションをカスタマイズする](#) を参照してください。

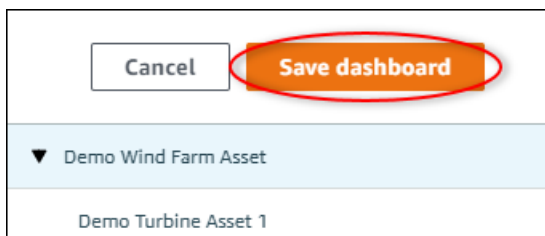
4. プロパティにしきい値を追加するには、ビジュアライゼーション設定アイコンを選択します。アラームを持つプロパティを追加すると、そのアラームのしきい値がビジュアライゼーションされます。詳細については、「[しきい値を設定する](#)」を参照してください。



5. 視覚化を移動するには、左上のコントロールアイコンを選択し、視覚化を新しい場所までドラッグします。



6. ビジュアライゼーションのサイズを変更するには、右下にあるリサイズコントロールを使用します。コーナーをドラッグして、新しいサイズと形状に変更します。ビジュアライゼーションは、サイズを変更するとグリッドにスナップするので、サイズのコントロールは粗くしかできません。
7. ダッシュボードの編集が終了したら、[ダッシュボードを保存] を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。
8. これらのステップを繰り返して、ダッシュボードにさらに視覚化を追加し、設定します。
9. 変更が終わったら、右上の [ダッシュボードを保存] を選択します。



ダッシュボードを共有する準備ができたなら、プロジェクトにビューワーを追加して、ダッシュボードを探索することができます。プロジェクトに招待した人は、プロジェクトの詳細ページで確認、変更することができます。

プロジェクトにビューワーを割り当てる。

プロジェクトの詳細ページから、プロジェクトにビューワーを割り当てることができます。

ビューワーをプロジェクトに割り当てるには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、ビューワーを割り当てるプロジェクトを選択します。

Projects					
					View
< 1 >					
	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description	Permissions ▼
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.	Owner
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.	Owner
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.	Owner

3. プロジェクトの詳細ページの [プロジェクトのビューワー] セクションで、プロジェクトにビューワーがない場合は [ビューワーの追加] を、または [所有者の編集] を選択します。

Project viewers

Project viewers can view dashboards and view asset data in this project. Project viewers can't edit dashboards or add other users to this project.

[Send invitations](#) [Remove viewers](#) [Edit viewers](#)

< 1 >

<input type="checkbox"/>	Name ▲	Email
<p>You have not invited any other portal users to view this project.</p> <p>Project viewers can interact with all of your project's dashboards, but not edit them. Learn more</p> <p style="text-align: center;">Add viewers</p>		

4. [プロジェクトビューワー] ダイアログボックスで、このプロジェクトのビューワーとなるユーザーのチェックボックスを選択します。

Project viewers

Select the portal users you want to be project viewers. [Learn more](#)

Portal users

	Name	Email
<input type="checkbox"/>	Mateo Jackson	mateo.jackson@example.com
<input checked="" type="checkbox"/>	Martha Rivera	martha.rivera@example.com

Project viewers (0)

No results
We could not find any available users

Cancel **Save**

Note

プロジェクトビューワーとして追加できるのは、ポータルユーザーのみです。ユーザーが表示されない場合は、AWS 管理者に連絡してポータルユーザーのリストに追加してください。

5. プロジェクトビューワーとして追加する場合は、[>>] のアイコンを選択します。
6. [保存] を選択して変更を保存します。

次に、プロジェクトビューワーにメールを送信し、サインインしてプロジェクト内のダッシュボードの探索を開始できるようにすることができます。

プロジェクトビューワーに招待メールを送信するには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、プロジェクトビューワーを招待するプロジェクトを選択します。

Projects

View

< 1 >

	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description	Permissions ▼
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.	Owner
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.	Owner
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.	Owner

3. プロジェクトの詳細ページの [プロジェクトのビューワー] セクションで、メールを受信するプロジェクトビューワーのチェックボックスを選択し、[招待状を送信] を選択します。

Project viewers

Project viewers can view dashboards and view asset data in this project. Project viewers can't edit dashboards or add other users to this project.

Send invitations Remove viewers Edit viewers

< 1 >

<input checked="" type="checkbox"/>	Name	Email
<input checked="" type="checkbox"/>	Martha Rivera	martha.rivera@example.com

4. メールソフトが起動し、受信者とメール本文にプロジェクトの詳細があらかじめ入力されています。プロジェクトビューワーに送信する前に、E メールをカスタマイズすることができます。

AWS IoT SiteWise Monitor プロジェクトビューワーとして開始する

ビューワーとしてプロジェクトに招待されると、組織内の誰かがプロジェクトとダッシュボードのセットを設定し、会社のデバイス、機器、およびプロセスのデータを一貫して表示する方法を提供することになります。では AWS IoT SiteWise、これらのデバイス、機器、プロセスはアセットと呼ばれます。AWS IoT SiteWise Monitor を使用して、一連のアセットのプロパティとアラームを表示できます。プロジェクト所有者は、それらのプロパティを視覚化するダッシュボードを設定しているため、プロジェクトを閲覧する誰もが、データからインサイトを引き出すためのダーボードビューを持つことができます。プロジェクトビューワーとして、プロジェクト内のすべてのダッシュボードを表示することができます。ダッシュボードに表示されるデータの時間範囲を調整することができます。

また、個々のアセットのプロパティやアラームを探索することで、ダッシュボードにないプロパティやアラームを確認することができます。

招待されたプロジェクトに関連するアセットのみ閲覧することができます。アセットを追加で要求する場合は、プロジェクト所有者にお問い合わせください。また、プロジェクト所有者はダッシュボードを更新して、視覚化を変更したり、追加のプロパティやアラームを表示したりすることができます。

プロジェクトビューアとして、次のタスクができます。

- [ポータルにサインインする](#)
- [共有ダッシュボードを探索する。](#)
- [プロジェクトアセットとそのデータを調べる。](#)

共有ダッシュボードを探索する。

1 つ以上の AWS IoT SiteWise Monitor プロジェクトのビューワーとして、ダッシュボードを表示して、デバイス、機器、プロセスのデータを理解できます。各ダッシュボードのビジュアルの時間範囲を調整することで、データのインサイトを深めることができます。

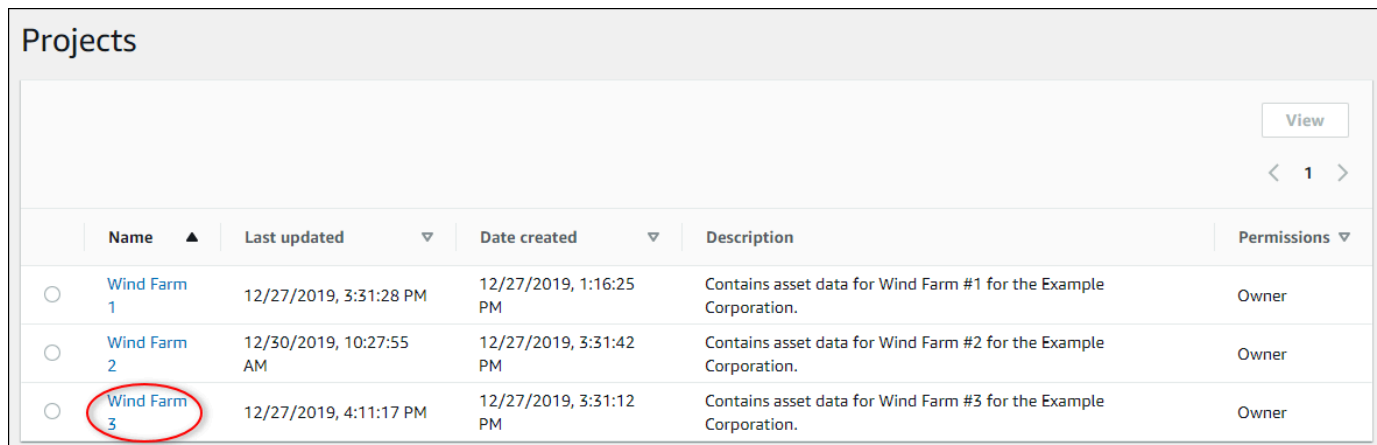
次の手順では、AWS IoT SiteWise Monitor ポータルでサインインしていることを前提としています。

共有ダッシュボードを調べるには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。

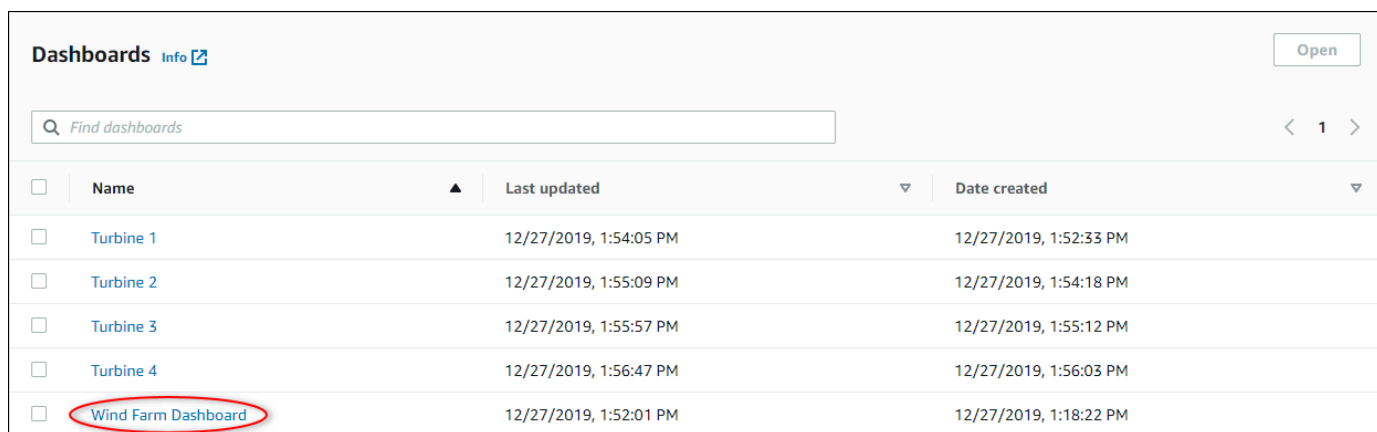


2. [プロジェクト] ページで、ダッシュボードを表示するプロジェクトを選択します。



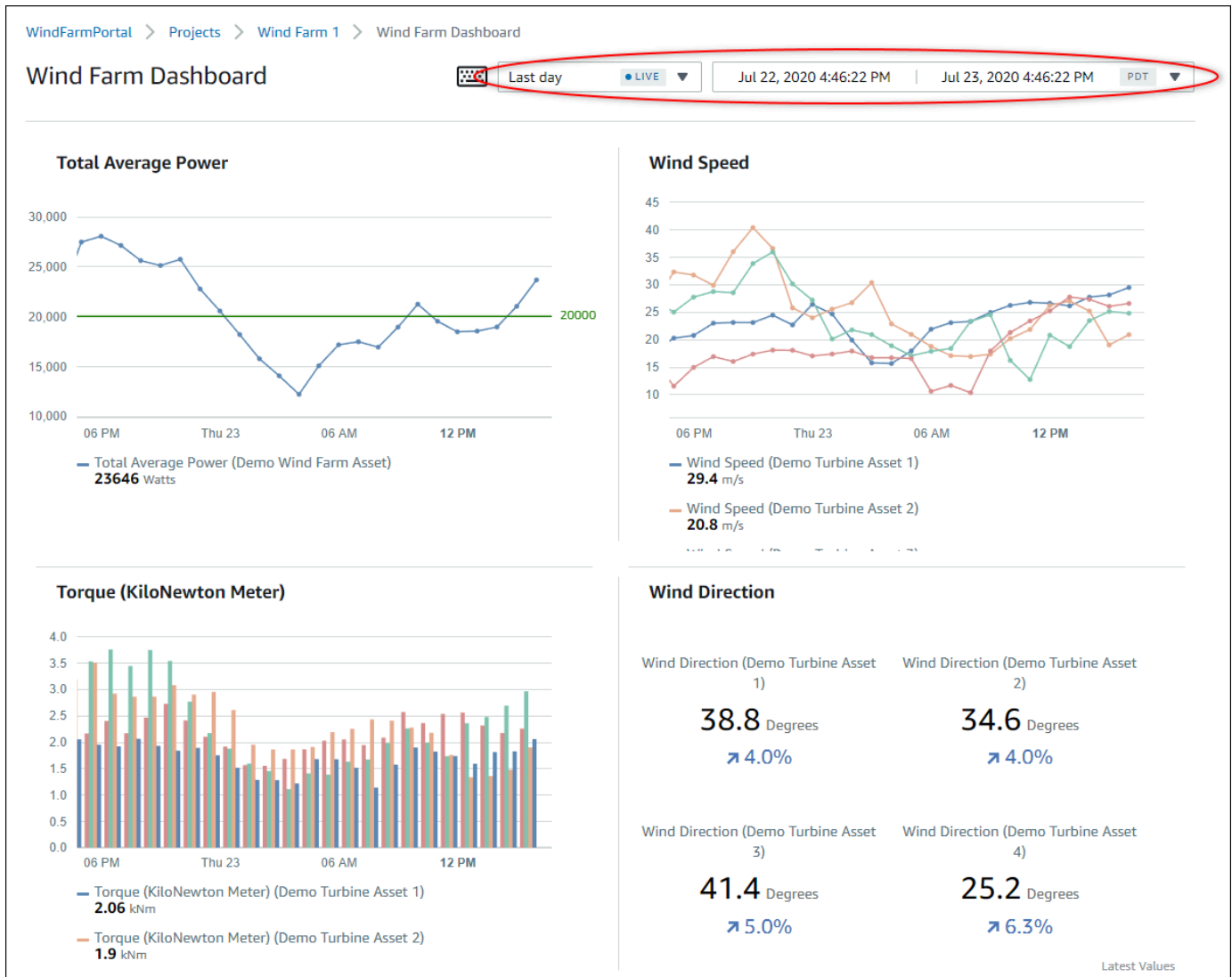
	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description	Permissions ▼
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.	Owner
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.	Owner
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.	Owner

- プロジェクトの詳細ページの [ダッシュボード] セクションで、表示するダッシュボードの名前を選択します。また、ダッシュボードの横にあるチェックボックスを選択し、[Open] (開く) を選択することもできます。



	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼
<input type="checkbox"/>	Turbine 1	12/27/2019, 1:54:05 PM	12/27/2019, 1:52:33 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 2	12/27/2019, 1:55:09 PM	12/27/2019, 1:54:18 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 3	12/27/2019, 1:55:57 PM	12/27/2019, 1:55:12 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 4	12/27/2019, 1:56:47 PM	12/27/2019, 1:56:03 PM
<input type="checkbox"/>	Wind Farm Dashboard	12/27/2019, 1:52:01 PM	12/27/2019, 1:18:22 PM

- ダッシュボードで視覚化を閲覧することができます。



次のいずれかのアクションを行い、データの表示時間範囲を調整します。

- 折れ線グラフや棒グラフの時間範囲をクリック & ドラッグすると、選択した時間範囲にズームインします。
- 時間範囲をダブルクリックすると、選択した地点が拡大表示されます。
- Shift を押した後、時間範囲をダブルクリックすると、選択したポイントから縮小表示します。
- Shift を押した後、時間範囲上でマウスをドラッグすると、範囲を左右に移動することができます。
- ドロップダウンリストを使用して、表示する事前定義された時間範囲を選択します。
- 時間範囲コントロールでカレンダーを開き、範囲の開始と終了時刻を指定します。

各視覚化では、選択した時間範囲について、最新の報告値が表示されます。

5. プロジェクト所有者やポータル管理者であれば、ダッシュボードを変更することができます。詳細については、「[AWS IoT SiteWise Monitor でビジュアライゼーションを追加する](#)」を参照してください。

プロジェクトアセットとそのデータを調べる。

通常、プロジェクト所有者が用意したダッシュボードを使用しますが、プロジェクトに含まれるアセットのプロパティやアラームを表示することも可能です。例えば、機器のモデル、設置日、設置場所などを確認することができます。

Note

プロジェクトビューワーとして、アクセス権を持つプロジェクトに含まれるアセットのみを表示することができます。

次の手順では、AWS IoT SiteWise Monitor ポータルで署名していることを前提としています。

プロジェクトアセットとそのデータを調べるには。

- ナビゲーションバーで、[Assets] (アセット) アイコンを選択します。



[アセット] ページが表示されます。

The screenshot shows the 'Assets' page in AWS IoT SiteWise Monitor. At the top, there's a header 'Assets' and a navigation bar with a refresh button (B), a time range selector set to 'Last 10 minutes' with a 'LIVE' indicator, and two time stamps: 'Jul 24, 2020 1:31:48 PM' and 'Jul 24, 2020 1:41:48 PM' with a 'PDT' dropdown. On the left, a sidebar shows a tree view of assets under 'Wind Farm 3', with 'Demo Wind Farm Asset' selected (A). The main content area displays 'Demo Wind Farm Asset' (C) with its 'Attributes' table and a 'Total Average Power' chart showing a value of 19192 Watts.

ページ内の次の部分をご覧ください。

コールアウト	説明
A	アセット階層をブラウズして、閲覧するアセットを探します。
B	選択したアセットのプロパティに表示されるデータの時間範囲を選択します。
C	選択したアセットのプロパティの値を表示します。選択したアセットのアラームを表示し、対応することができます。

でアセットを調べる AWS IoT SiteWise

では AWS IoT SiteWise、アセットはデバイス、プロセス、または機器を表します。AWS IoT SiteWise Monitor を使って、アセットのプロパティやアラームを探索し、視覚化することができます。AWS IoT SiteWise Monitor の各プロジェクトは、ポータル管理者によって一連のアセットに関連付けられます。ポータル管理者であれば、ポータル内のすべてのアセットを見ることができます。プロジェクト所有者やプロジェクトビューワーの場合、自分が所有者やビューワーになっているプロジェクトに関連するアセットのみを見ることができます。

アセットにはさまざまなプロパティがあります。アセットの場所、モデル、シリアル番号など、時間の経過とともに変化しないプロパティもあります。その他のプロパティは、時間の経過とともに生成される一連の値を持っています。プロパティは異なる速度で更新することができます。例えば、1 秒ごとに更新される温度センサーや、1 時間ごとに更新される製品の品質メトリクスなどがあります。

アセットにはアラームをつけることもできます。アラームは、プロパティが動作範囲外になったことを検知し、機器やプロセスの問題に対処できるようにします。例えば、ボイラーの温度が最高温度を超えたときに検知するアラームがあるとします。

アセット関連の次のタスクを実行できます。

タスク	タスクを実行できるロール。
でアセットデータを表示する AWS IoT SiteWise Monitor	ポータル管理者は、ポータルの全アセットを見ることができます。プロジェクトの所有者とビューワーは、招待されたプロジェクトに関連するアセットのみを見ることができます。
プロジェクトにアセットを追加する。	プロジェクトに関連づけられたアセットのリストを変更できるのは、ポータル管理者のみです。
ダッシュボードにプロパティとアラームを追加する	プロジェクト所有者は、ダッシュボードにアセットプロパティを追加します。ポータル管理者は、通常、ダッシュボードを編集しません。プロジェクトビューワーはダッシュボードを編集できません。

でアセットデータを表示する AWS IoT SiteWise Monitor

[アセット] ページでは、アクセス権を持つプロジェクトに関連するアセットのすべてのプロパティとアラームを表示することができます。ポータル管理者は、ポータル内のすべてのアセットにアクセスでき、[アセット] ページを使用して、プロジェクトに追加する前に、個々のアセットを調べることができます。ダッシュボードは、すべてのプロジェクトビューワーに共通の視覚化機能を提供します。

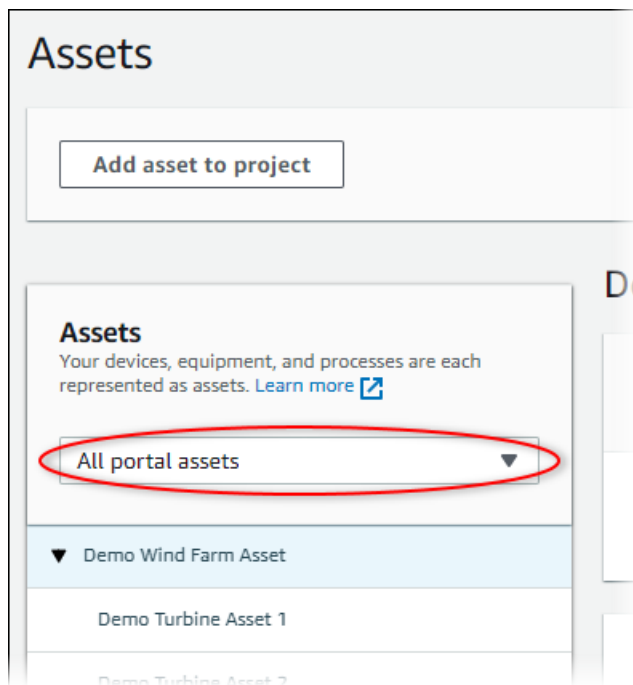
[アセット] ページでアセットデータを表示する方法と、プロジェクトページからアセットデータを表示する方法について説明します。ダッシュボードでのアセットデータの表示については、[でダッシュボードを表示する AWS IoT SiteWise](#) を参照してください。

アセットページでアセットデータを見るには。

1. AWS IoT SiteWise Monitor ポータルにログインします。詳細については、「[AWS IoT SiteWise Monitor ポータルにサインインする](#)」を参照してください。
2. ナビゲーションバーで、[Assets] (アセット) アイコンを選択します。

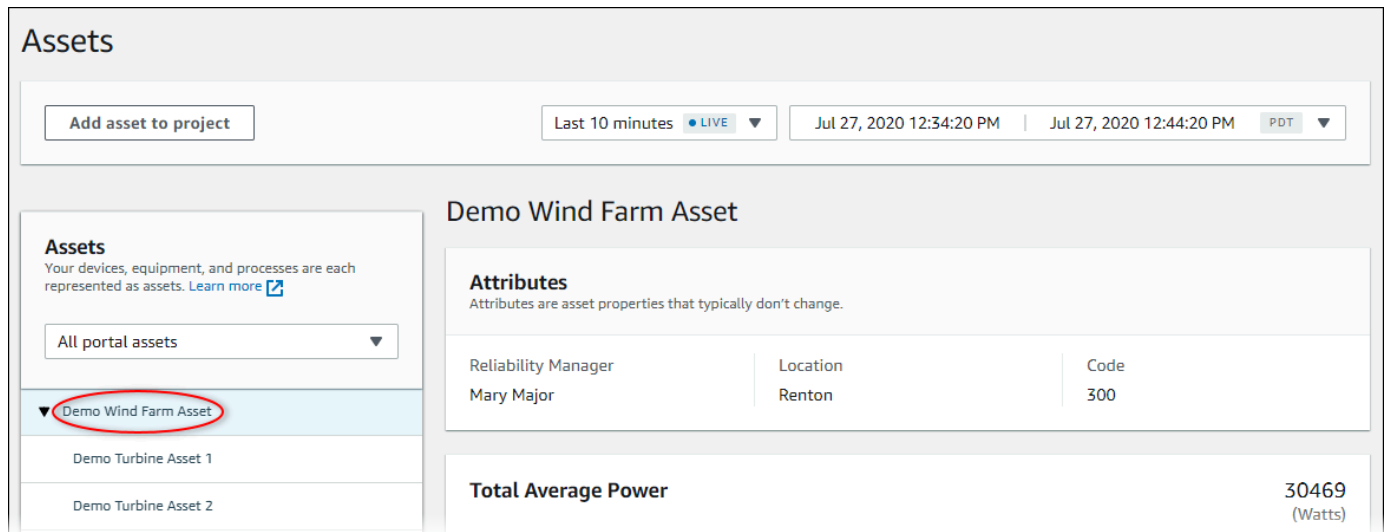


3. (オプション) 特定のプロジェクトのアセットのみを表示するには、プロジェクトドロップダウンリストでプロジェクトを選択します。



4. [アセット] 階層でアセットを選択します。

アセットによっては、属性と呼ばれる静的なプロパティをいくつか持っている場合があります。例えば、位置情報などの工場のプロパティは、単一の値しか持たず、通常、時間の経過とともに変化することはありません。



The screenshot shows the 'Assets' page in the AWS IoT SiteWise Monitor. At the top, there is a header with 'Assets' and a search bar. Below the header, there is a section for 'Assets' with a dropdown menu set to 'All portal assets'. The list of assets includes 'Demo Wind Farm Asset', 'Demo Turbine Asset 1', and 'Demo Turbine Asset 2'. The 'Demo Wind Farm Asset' is selected and circled in red. To the right of the asset list, the details for 'Demo Wind Farm Asset' are displayed. This includes a section for 'Attributes' with the following values: Reliability Manager: Mary Major, Location: Renton, and Code: 300. Below the attributes, there is a section for 'Total Average Power' which is 30469 (Watts).

5. アセットの横にある矢印を選択して、そのアセットのすべての子アセットを表示し、機器アセットを選択します。AWS IoT SiteWise モニターには、インストール日などの属性と、可用性や全体的な機器の有効性 (OEE) などの時系列データが表示されます。

Assets

Add asset to project

Last 10 minutes **LIVE** Jul 27, 2020 12:40:00 PM | Jul 27, 2020 12:50:00 PM PDT

Assets
Your devices, equipment, and processes are each represented as assets. [Learn more](#)

All portal assets

- ▼ Demo Wind Farm Asset
- Demo Turbine Asset 1**
- Demo Turbine Asset 2
- Demo Turbine Asset 3
- Demo Turbine Asset 4
- ▶ Solar Array 1

Demo Turbine Asset 1

Attributes
Attributes are asset properties that typically don't change.

Make	Model	Location
Amazon	500	Renton

Average Power 8535 (Watts)

14,000
12,000
10,000
8,000
6,000

12:41 12:42 12:43 12:44 12:45 12:46 12:47 12:48 12:49 12:50

6. 次のいずれかのアクションを行い、データの表示時間範囲を調整します。

- 折れ線グラフや棒グラフの時間範囲をクリック & ドラッグすると、選択した時間範囲にズームインします。
- 時間範囲をダブルクリックすると、選択した地点が拡大表示されます。
- Shift を押した後、時間範囲をダブルクリックすると、選択したポイントから縮小表示します。
- Shift を押した後、時間範囲上でマウスをドラッグすると、範囲を左右に移動することができます。
- ドロップダウンリストを使用して、表示する事前定義された時間範囲を選択します。
- 時間範囲コントロールでカレンダーを開き、範囲の開始と終了時刻を指定します。

7. アセットに関するアラームを表示するには、[アラーム] タブを選択します。

8. アラームを選択すると、アラームの詳細とその状態データを時系列で表示します。

プロジェクトにアセットを追加する。

ポータル管理者は、AWS IoT SiteWise アセットをプロジェクトに割り当てる方法を決定します。プロジェクト単位でユーザーにアクセス権を与えるので、関連するアセットを共通のビューワーを持つプロジェクトにグループ化する必要があります。

Note

プロジェクトにアセットを追加できるのは、ポータルサイトの管理者だけです。プロジェクトの所有者とビューワーは、アクセス許可を持つプロジェクト内のアセットを探索することはできますが、プロジェクトにアセットを追加することはできません。

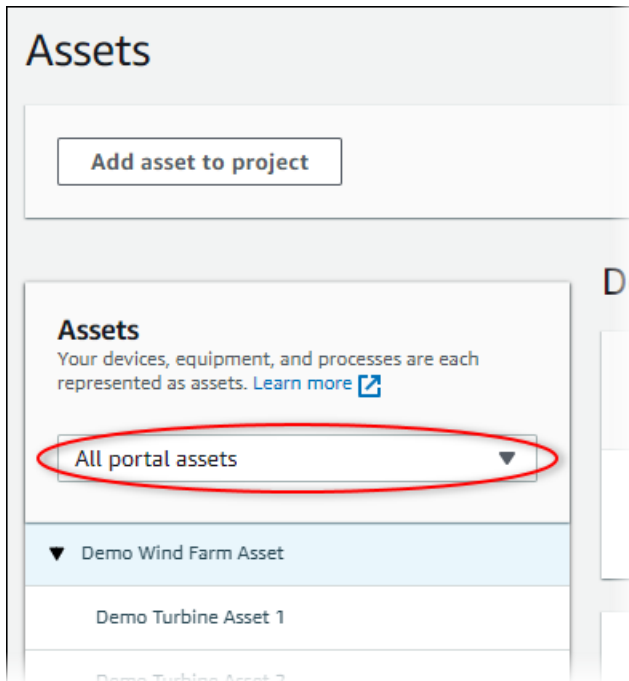
既存のプロジェクトにアセットを追加することも、選択したアセット用にプロジェクトを作成することも可能です。

新しいプロジェクトにアセットを追加する

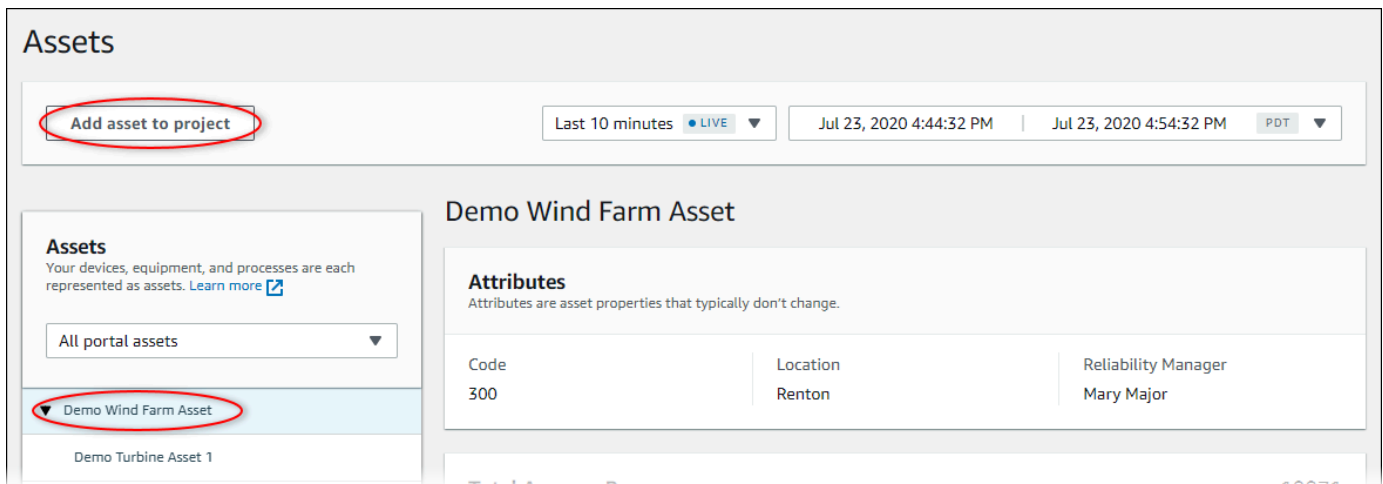
1. ナビゲーションバーで、[アセット] アイコンを選択します。



2. (オプション) 特定のプロジェクトのアセットのみを表示するには、プロジェクトドロップダウンリストでプロジェクトを選択します。



3. [アセット] 階層でアセットを選択し、[アセットをプロジェクトに追加] を選択します。



Note

プロジェクトに追加できるノード階層は 1 つだけです (アセットと、そのアセットに従属するすべてのアセット)。共通の親アセットの子である 2 つのアセットを比較するダッシュボードを作成するには、その共通の親をプロジェクトに追加します。

4. [プロジェクトにアセットを追加する] ダイアログボックスで、[新しいプロジェクトを作成する] を選択し、[次へ] を選択します。

Add asset to project [X]

Selected node and all of its descendant assets will be added to the project.

Select project or create new project

- Create new project
- Select existing project

▼ Demo Wind Farm Asset

- Demo Turbine Asset 3
- Demo Turbine Asset 2
- Demo Turbine Asset 4
- Demo Turbine Asset 1

Cancel Next

- [プロジェクト名] にプロジェクトの名前を入力します。複数のプロジェクトを作成し、それぞれに個別のアセットを設定する場合は、わかりやすい名前を選択します。

Create new project [X]

Project name

Wind Farm 3

The project name can have up to 256 characters.

Project description

Contains asset data for Wind Farm #3.

The project description can have up to 2048 characters.

Cancel Previous Add asset to project

- [プロジェクトの説明] では、プロジェクトとその内容についての説明を入力します。

プロジェクト作成後、プロジェクト所有者を追加することができます。

- [Add asset to project] (プロジェクトにアセットを追加する) を選択します。

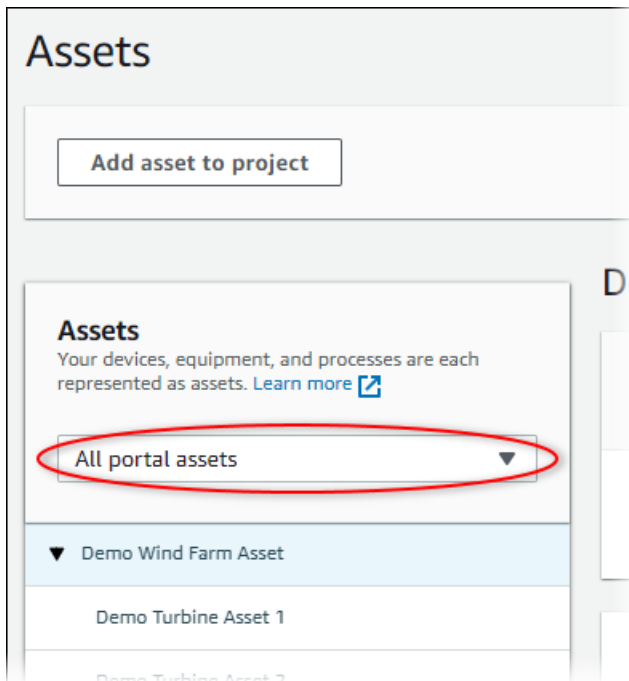
[新規プロジェクトの作成] ダイアログボックスが閉じられ、新規プロジェクトのページが表示されます。

既存のプロジェクトにアセットを追加する

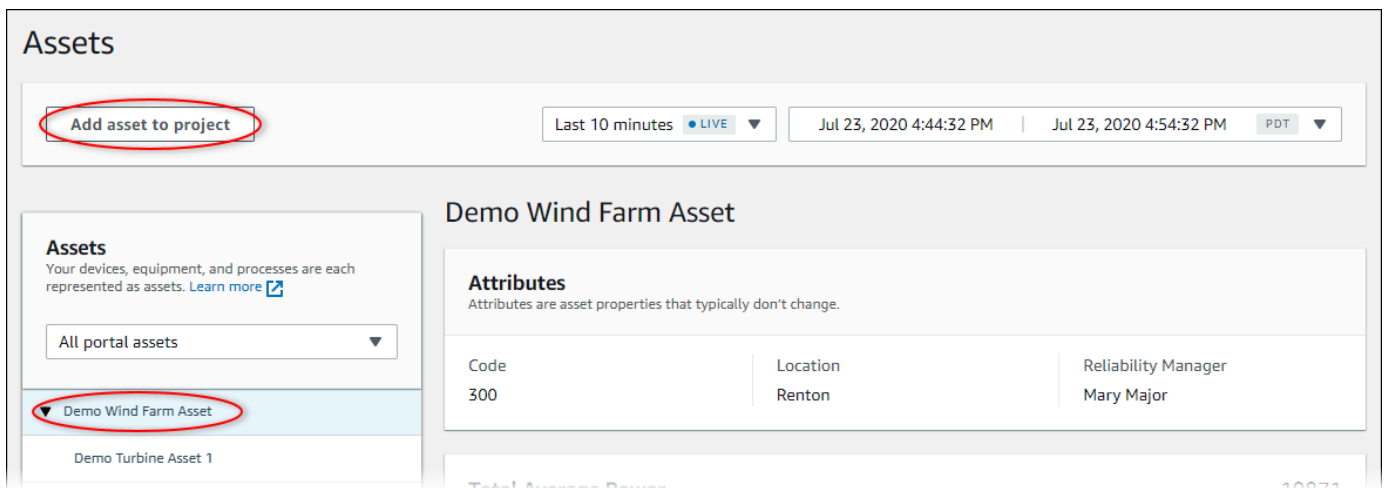
1. ナビゲーションバーで、[アセット] アイコンを選択します。



2. (オプション) 特定のプロジェクトのアセットのみを表示するには、プロジェクトドロップダウンリストでプロジェクトを選択します。



3. [アセット] 階層でアセットを選択し、[アセットをプロジェクトに追加] を選択します。



Note

プロジェクトに追加できるノード階層は 1 つだけです (アセットと、そのアセットに従属するすべてのアセット)。共通の親アセットの子である 2 つのアセットを比較するダッシュボードを作成するには、その共通の親をプロジェクトに追加します。

4. [プロジェクトにアセットを追加する] ダイアログボックスで、[既存のプロジェクトを選択する] を選択し、アセットを追加するプロジェクトを選択します。

The screenshot shows a dialog box titled "Add asset to project". On the left, a tree view shows a selected node "Demo Wind Farm Asset" and its descendants: "Demo Turbine Asset 3", "Demo Turbine Asset 2", "Demo Turbine Asset 4", "Demo Turbine Asset 1", and "Solar Array 1". On the right, under "Select project or create new project", the "Select existing project" radio button is selected. Below it, a dropdown menu shows "Wind Farm 2" selected. At the bottom right, the "Add asset to project" button is highlighted.

5. [プロジェクトにアセットを追加する] を選択します。

[新規プロジェクトの作成] ダイアログボックスが閉じられ、新規プロジェクトのページが表示されます。

プロジェクトからアセットを削除する

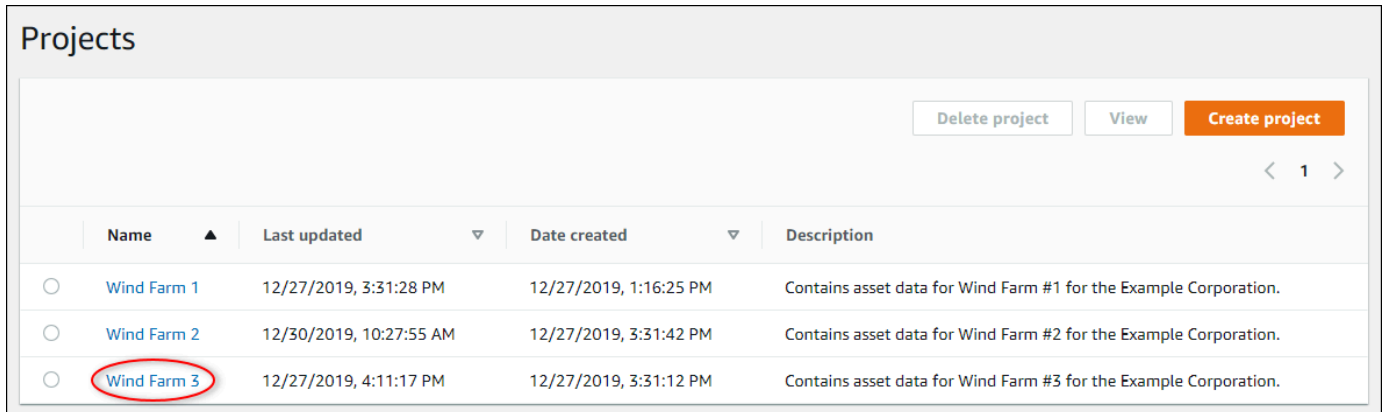
ポータル管理者として、不要になったアセットをプロジェクトから削除することができます。

プロジェクトからアセットを削除するには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。

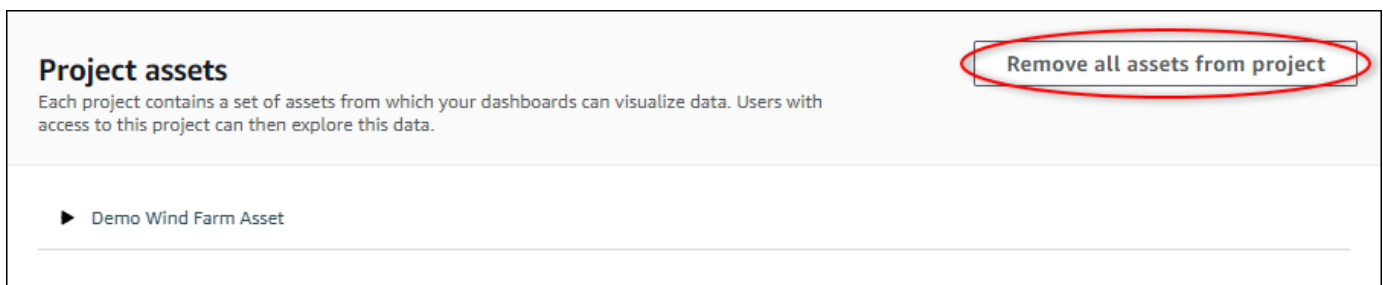


2. [プロジェクト] ページで、アセットを削除するプロジェクトを選択します。



	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

3. [プロジェクトからすべてのアセットを削除する] を選択します。



Project assets

Each project contains a set of assets from which your dashboards can visualize data. Users with access to this project can then explore this data.

Remove all assets from project

▶ Demo Wind Farm Asset

4. ダイアログボックスで、アセットを削除することを確認します。

ダッシュボードにプロパティとアラームを追加する

プロジェクト所有者として、アセットプロパティやアラームをビューワーのための標準的な方法として、ダッシュボードを定義します。一貫したビューを提供することで、見てほしいデータを誰もが同じように見ることができるようになります。アセットプロパティやアラームを、ビジネスやビューワーにとって意味のある方法でダッシュボードにグループ化することができます。

Note

プロジェクトビューワーはダッシュボードを変更できません。

アセットプロパティは、新規ダッシュボードまたは既存ダッシュボードに追加することができます。

アセットプロパティを追加するには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. 以下のオプションのいずれかを選択してください：

- 既存のダッシュボードにアセットプロパティとアラームを追加するには、更新するダッシュボードを選択し、[編集] を選択します。
- 新しいダッシュボードにアセットプロパティとアラームを追加するには、[ダッシュボードを作成する] を選択します。

Dashboards [Info](#)

Delete Open **Create dashboard**

Find dashboards < 1 >

<input type="checkbox"/>	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼
<input type="checkbox"/>	Total Power	12/27/2019, 4:55:17 PM	12/27/2019, 4:33:13 PM

3. ダッシュボードに追加したいプロパティまたはアラームがあるアセットを選択します。
4. アセットのプロパティを表示するには [プロパティ]、アセットのアラームを表示するには [アラーム] を選択します。アラームがプロパティをモニタリングしている場合、プロパティを追加すると、そのアラームがダッシュボードに自動的に追加されます。
5. アセット階層からプロパティまたはアラームをダッシュボードにドラッグします。1つの視覚化に複数のプロパティとアラームを追加することができます。

wind-farm-portal > Projects > Wind Farm 3 > New dashboard

New dashboard

Last 10 minutes | Jul 24, 2020 1:53:00 PM | Jul 24, 2020 2:03:00 PM | PDT

Drag data here

▼ Demo Wind Farm Asset

- Demo Turbine Asset 1
- Demo Turbine Asset 2
- Demo Turbine Asset 3
- Demo Turbine Asset 4

Properties for "Demo Wind Farm Asset"

Code	300
Total Average Power	19934 Watts
Total Overdrive State Time	0 seconds

アセットプロパティは、デフォルトの視覚化型でダッシュボードに表示されます。

- 文字列でないプロパティのデフォルトの視覚化型は、[\[line chart\]](#) (ラインチャート) です。
- 文字列プロパティの既定の視覚化型は、[\[KPI widget\]](#) (KPI ウィジェット) です。
- アラームのデフォルトの視覚化型は、[\[status grid widget\]](#) (状態グリッドウィジェット) です。

視覚化の種類を変更したり、視覚化の設定をカスタマイズすることができます。詳細については、「[ビジュアライゼーションをカスタマイズする](#)」を参照してください。

AWS IoT SiteWise Monitor プロジェクトとデータを共有する

AWS IoT SiteWise Monitor では、ビューワーをプロジェクトに招待してデータを共有します。ビューワーは、プロジェクト内のすべてのアセット、アセットプロパティ、アラーム、ダッシュボードを見ることができます。複数のプロジェクトを作成し、ビューワーのグループに異なるアセットセットやダッシュボードへのアクセスを提供することができます。ポータル管理者のみが、プロジェクトを作成、更新し、アセットをプロジェクトに関連付けることができます。プロジェクト所有者は、ダッシュボードを作成、更新し、ビューワーをプロジェクトに招待します。

AWS 管理者はポータル管理者を選択します。ポータルサイトの管理者は、アセットをプロジェクトに割り当て、そのプロジェクトに所有者を割り当てます。プロジェクト所有者がビューワーをプロジェクトに招待する。各ステップで、データにアクセスできるユーザーと、どの型のアクセス権があるかを決定します。

次のデータ共有作業を行うことができます。

タスク	タスクを実行できるロール。
AWS IoT SiteWise Monitor ポータルでプロジェクトを作成する	プロジェクトを作成できるのは、ポータル管理者のみです。
プロジェクトの詳細を表示する	ポータル管理者は、すべてのプロジェクトの詳細を閲覧することができます。プロジェクト所有者やプロジェクトビューワーは、招待されたプロジェクトの詳細を見ることができます。
プロジェクトにアセットを追加する。	プロジェクトにアセットを追加できるのは、ポータル管理者のみです。
プロジェクトの所有者を割り当てる	プロジェクトにプロジェクト所有者を割り当てることできるのは、ポータル管理者のみです。
プロジェクトビューワーを割り当てる	ポータルの管理者は、ポータル内の任意のプロジェクトにビューワーを招待することができます。

タスク	タスクを実行できるロール。 す。プロジェクト所有者は、管理しているプロジェクトにビューワーを招待できます。
プロジェクトの詳細を変更する	プロジェクトの名前と説明を更新できるのは、ポータル管理者のみです。
でプロジェクトを削除する AWS IoT SiteWise Monitor	プロジェクトを削除できるのは、ポータル管理者のみです。

AWS IoT SiteWise Monitor ポータルでプロジェクトを作成する

ポータル管理者として、アセットのセットを選択し、それらのアセットのためのプロジェクトを作成します ([新しいプロジェクトにアセットを追加する](#) 参照)。また、空のプロジェクトを作成し、後からアセットを追加することも可能です。

新しいプロジェクトを作成する

このステップで、新しいプロジェクトを作成します。

新しいプロジェクトを作成するには

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、[プロジェクトの作成] を選択します。

Projects

Delete project View Create project

	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

3. [新しいプロジェクトを作成する] ダイアログボックスで、[プロジェクト名] と [プロジェクトの説明] を入力します。プロジェクト内のアセットや視覚化についてユーザーに知らせる説明文を使用する。

Note

プロジェクト名と説明文に機密情報が含まれていないことを確認する。

Create new project [X]

Project name
Wind Farm 3
The project name can have up to 256 characters.

Project description
Contains asset data for Wind Farm #3.
The project description can have up to 2048 characters.

Cancel **Create project**

4. [終了] を選択します。

次に、[\[assign project owners\]](#) (プロジェクトの所有者を決め)、[\[add assets to the project\]](#) (アセットをプロジェクトに追加する) かもしれません。プロジェクトにアセットを追加するまでは、プロジェクト所有者はダッシュボードや視覚化を作成することができません。

プロジェクトの詳細を表示する

アクセス権を持つプロジェクトの詳細を確認することができます。次を含む。

- [プロジェクト詳細] - 名前、説明、作成日、最終更新日を含めることができます。
- [ダッシュボード] - プロジェクトに含まれるダッシュボードのリストとその説明。
- [プロジェクトアセット] - プロジェクトに関連するデバイス、プロセス、および機器のリストです。

- [プロジェクト管理者] - プロジェクトでダッシュボードとビジュアライゼーションを作成および更新できるユーザーのリストです。
- [プロジェクトビューワー] - プロジェクトで定義されたアセットやダッシュボードを閲覧できるユーザーのリストです。

プロジェクトの詳細を表示するには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、ダッシュボードを表示するプロジェクトを選択します。

Projects						
				Delete project	View	Create project
					< 1 >	
	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description		
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.		
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.		
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.		

プロジェクトにアセットを追加する。

ポータル管理者は、AWS IoT SiteWise アセットをプロジェクトに割り当てる方法を決定します。プロジェクト単位でユーザーにアクセス権を与えるので、関連するアセットを共通のビューワーを持つプロジェクトにグループ化する必要があります。

Note

プロジェクトにアセットを追加できるのは、ポータルサイトの管理者だけです。プロジェクトの所有者とビューワーは、アクセス許可を持つプロジェクト内のアセットを探索することはできますが、プロジェクトにアセットを追加することはできません。

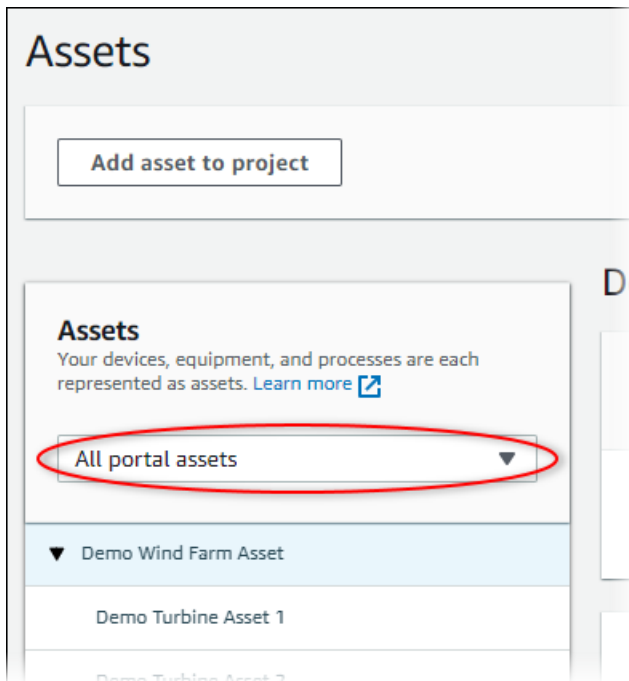
既存のプロジェクトにアセットを追加することも、選択したアセット用にプロジェクトを作成することも可能です。

新しいプロジェクトにアセットを追加する

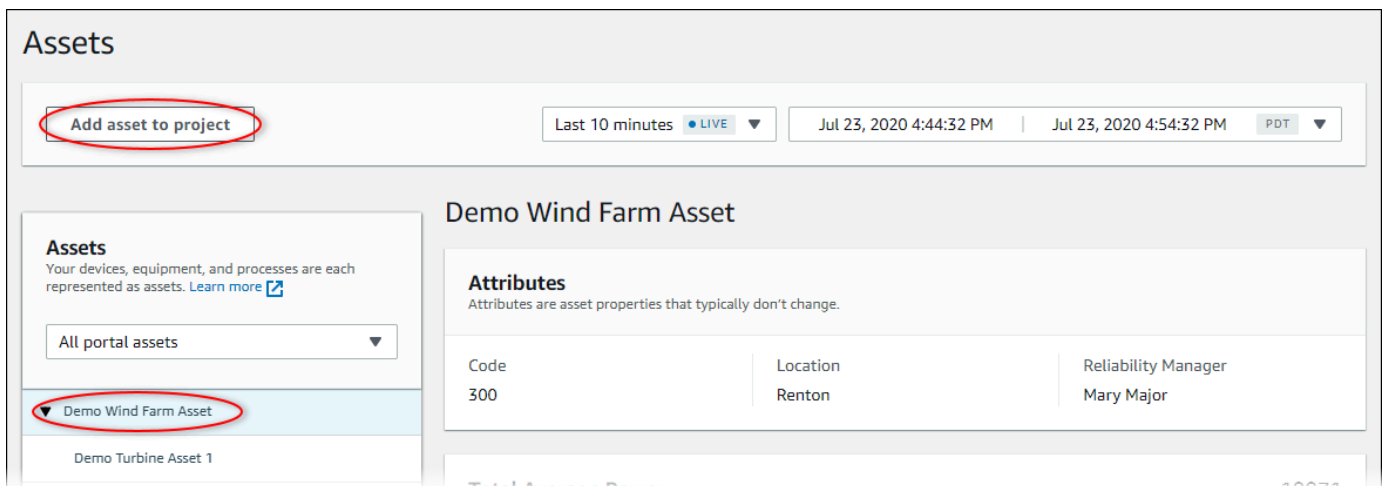
1. ナビゲーションバーで、[アセット] アイコンを選択します。



2. (オプション) 特定のプロジェクトのアセットのみを表示するには、プロジェクトドロップダウンリストでプロジェクトを選択します。



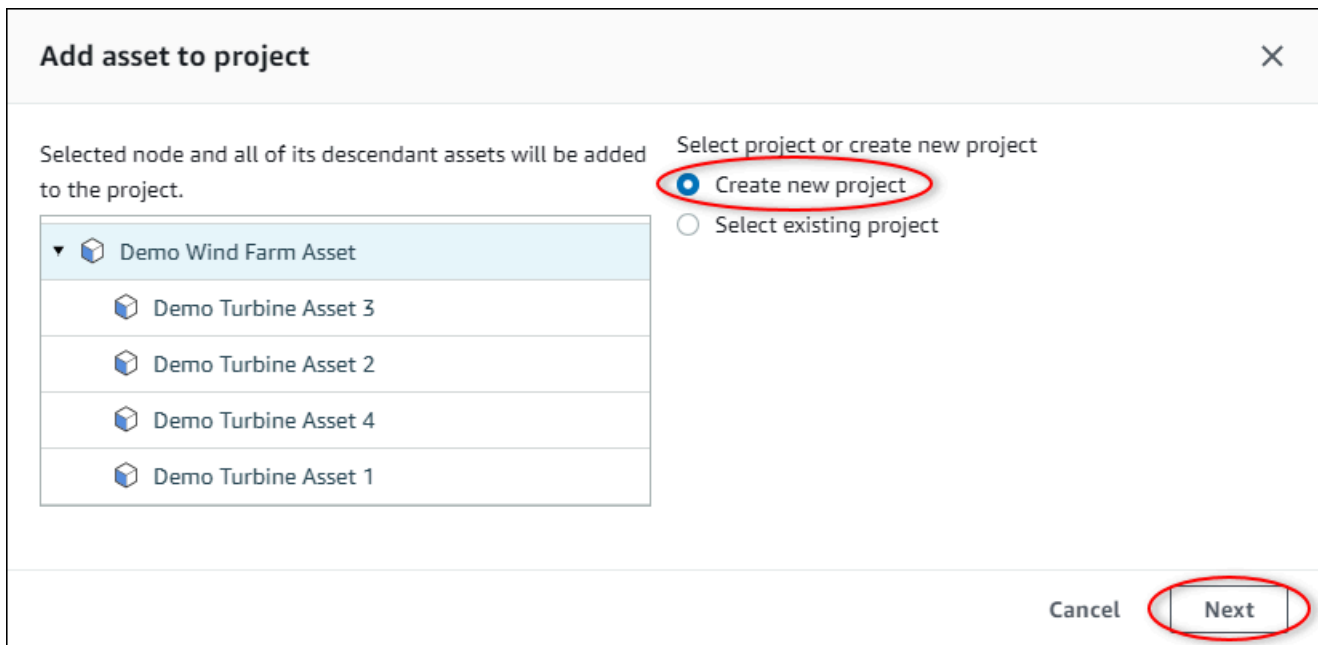
3. [アセット] 階層でアセットを選択し、[アセットをプロジェクトに追加] を選択します。



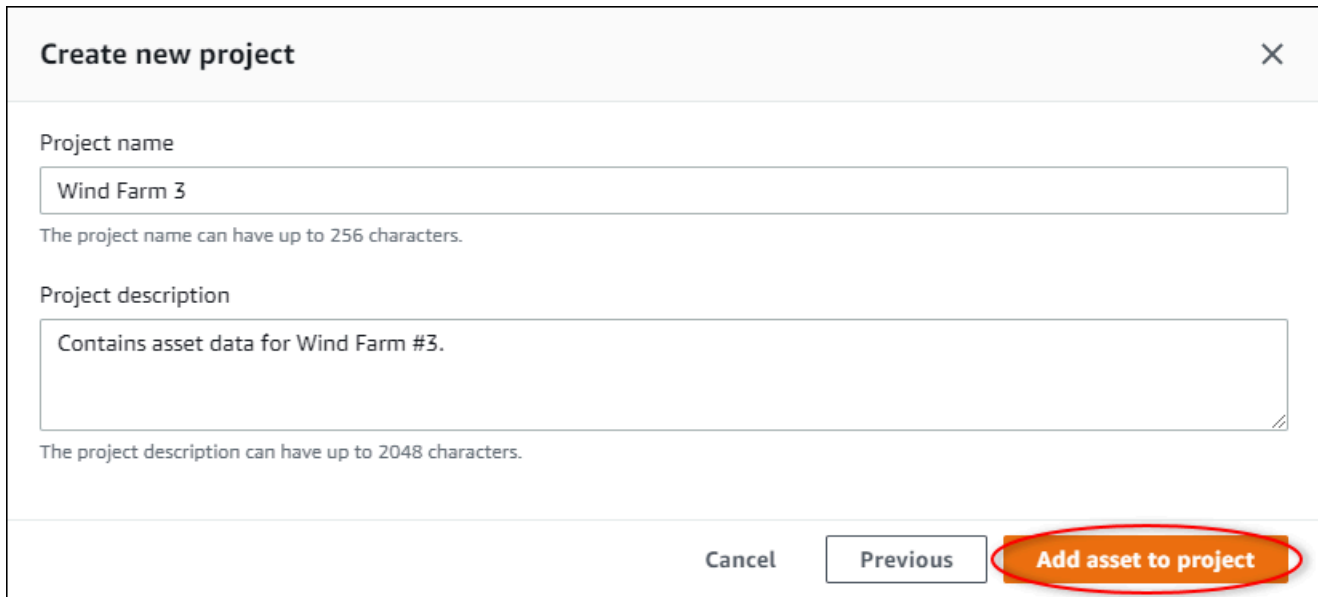
Note

プロジェクトに追加できるノード階層は 1 つだけです (アセットと、そのアセットに所属するすべてのアセット)。共通の親アセットの子である 2 つのアセットを比較するダッシュボードを作成するには、その共通の親をプロジェクトに追加します。

4. [プロジェクトにアセットを追加する] ダイアログボックスで、[新しいプロジェクトを作成する] を選択し、[次へ] を選択します。



5. [プロジェクト名] にプロジェクトの名前を入力します。複数のプロジェクトを作成し、それぞれに個別のアセットを設定する場合は、わかりやすい名前を選択します。



Create new project ×

Project name
Wind Farm 3
The project name can have up to 256 characters.

Project description
Contains asset data for Wind Farm #3.
The project description can have up to 2048 characters.

Cancel Previous **Add asset to project**

6. [プロジェクトの説明] では、プロジェクトとその内容についての説明を入力します。

プロジェクト作成後、プロジェクト所有者を追加することができます。

7. [Add asset to project] (プロジェクトにアセットを追加する) を選択します。

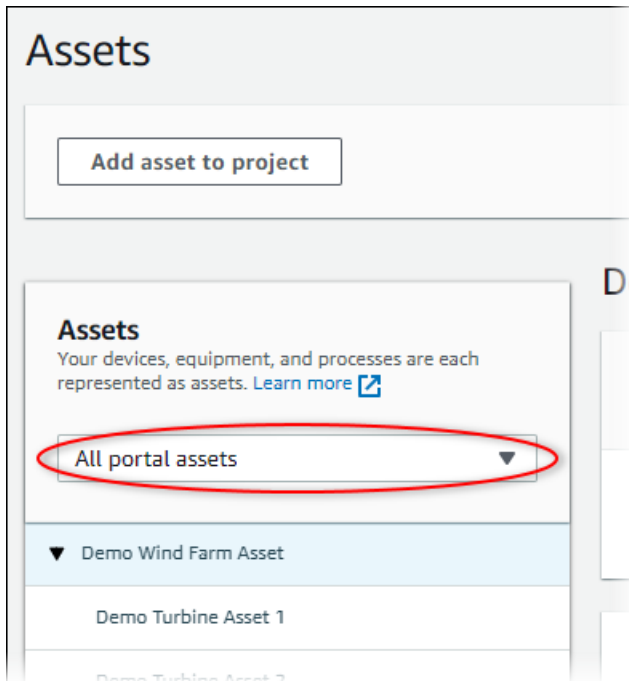
[新規プロジェクトの作成] ダイアログボックスが閉じられ、新規プロジェクトのページが表示されます。

既存のプロジェクトにアセットを追加する

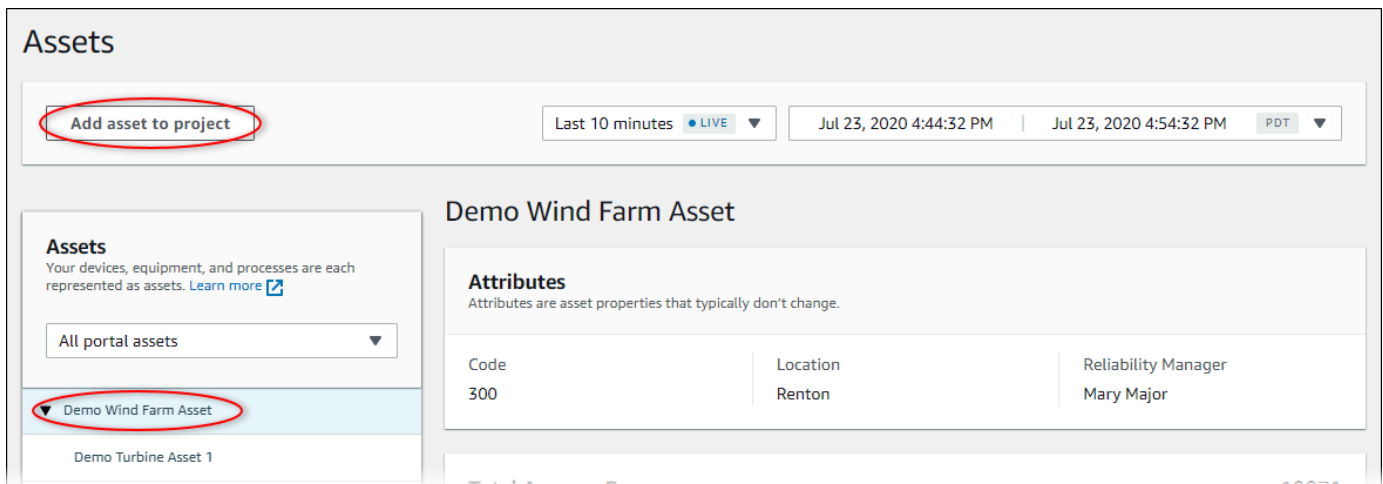
1. ナビゲーションバーで、[アセット] アイコンを選択します。



2. (オプション) 特定のプロジェクトのアセットのみを表示するには、プロジェクトドロップダウンリストでプロジェクトを選択します。



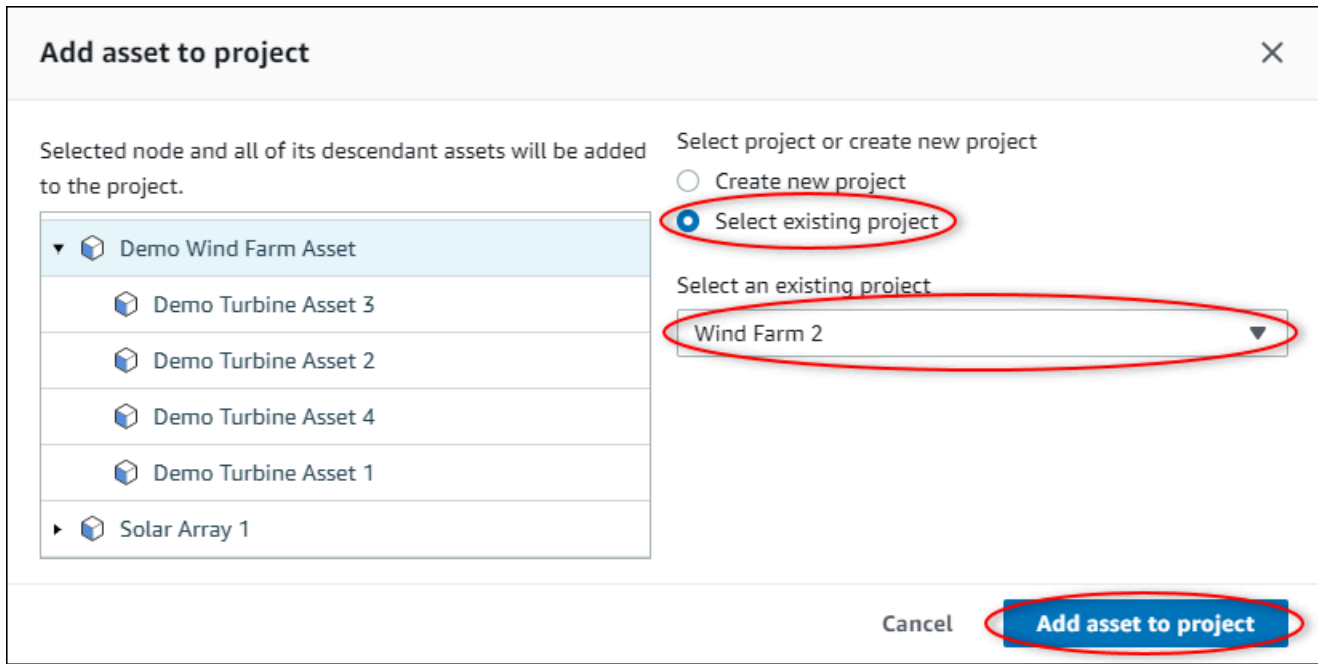
3. [アセット] 階層でアセットを選択し、[アセットをプロジェクトに追加] を選択します。



Note

プロジェクトに追加できるノード階層は 1 つだけです (アセットと、そのアセットに従属するすべてのアセット)。共通の親アセットの子である 2 つのアセットを比較するダッシュボードを作成するには、その共通の親をプロジェクトに追加します。

4. [プロジェクトにアセットを追加する] ダイアログボックスで、[既存のプロジェクトを選択する] を選択し、アセットを追加するプロジェクトを選択します。



5. [プロジェクトにアセットを追加する] を選択します。

[新規プロジェクトの作成] ダイアログボックスが閉じられ、新規プロジェクトのページが表示されます。

プロジェクトからアセットを削除する

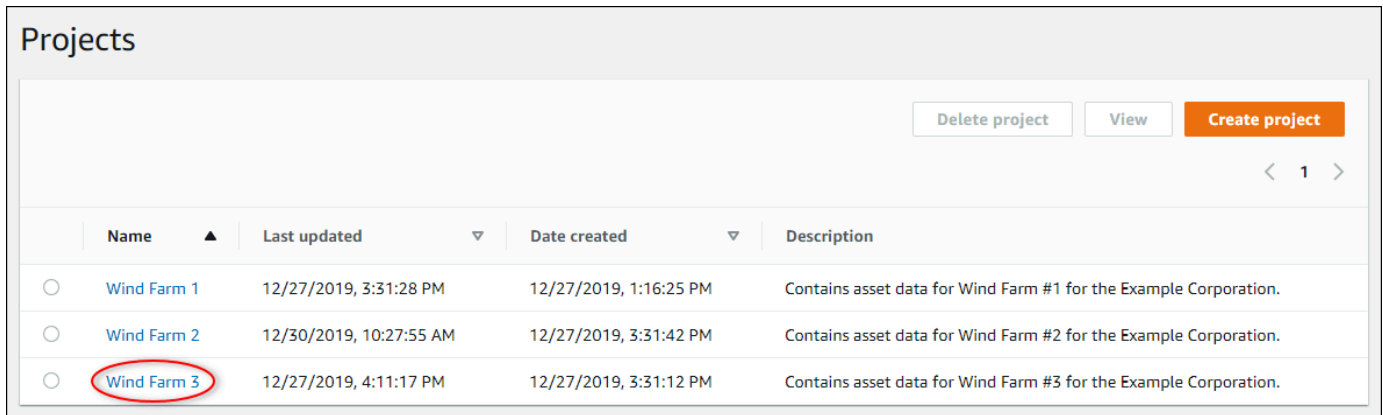
ポータル管理者として、不要になったアセットをプロジェクトから削除することができます。

プロジェクトからアセットを削除するには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。

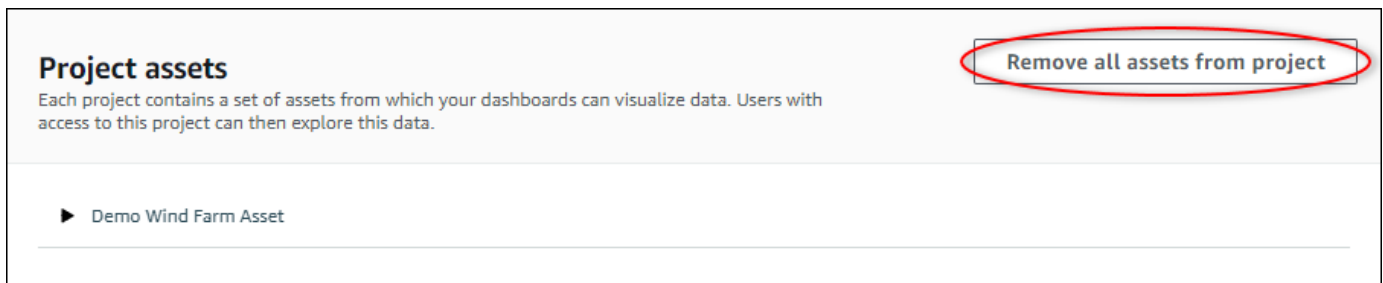


2. [プロジェクト] ページで、アセットを削除するプロジェクトを選択します。



	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

3. [プロジェクトからすべてのアセットを削除する] を選択します。



4. ダイアログボックスで、アセットを削除することを確認します。

プロジェクトの所有者を割り当てる

ポータル管理者として、プロジェクトを作成した後、プロジェクトの所有者を割り当てることができます。プロジェクト所有者はダッシュボードを作成し、アセットデータの一貫した表示方法を提供します。割り当てられたプロジェクト所有者に、プロジェクトで作業する準備ができた時点で招待メールを送ることができます。

プロジェクトに所有者を割り当てるには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、プロジェクト所有者を割り当てるプロジェクトを選択します。

	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

3. プロジェクトの詳細ページの [プロジェクトの所有者] セクションで、プロジェクトに所有者がない場合は [所有者の追加] を、または [所有者の編集] を選択します。

Project owners
Project owners can create dashboards, view asset data, and invite other users to this project as owners or viewers.

Send invitations Remove owners **Edit owners**

< 1 >

<input type="checkbox"/>	Name ▲	Email
--------------------------	--------	-------

You have not invited any other portal users to own this project.
Project owners can modify and update dashboards and project viewers. [Learn more](#)

Add owners

4. [プロジェクトの所有者] ダイアログ ボックスで、このプロジェクトの所有者となるユーザーのチェック ボックスを選択します。

Project owners

Select the portal users you want to be project owners. [Learn more](#)

Portal users

	Name	Email
<input type="checkbox"/>	Mateo Jackson	mateo.jackson@example.com
<input checked="" type="checkbox"/>	Liu Jie	liu.jie@example.com
<input type="checkbox"/>	Martha Rivera	martha.rivera@example.com

Project owners (0)

No results
We could not find any available users

Cancel **Save**

Note

プロジェクト所有者として追加できるのは、ポータルユーザーのみです。ユーザーが表示されない場合は、AWS 管理者に連絡してポータルユーザーのリストに追加してください。

5. プロジェクト所有者として追加する場合は、>> のアイコンを選択します。
6. [保存] を選択して変更を保存します。

次に、プロジェクト所有者にメールを送り、サインインしてもらい、プロジェクトの管理を開始します。

プロジェクト所有者に招待メールを送信するには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、プロジェクト所有者を招待するプロジェクトを選択します。

	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input checked="" type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

3. プロジェクトの詳細ページの [プロジェクトの所有者] セクションで、メールを受信するプロジェクト所有者のチェックボックスを選択し、[招待状を送信] を選択します。

<input checked="" type="checkbox"/>	Name ▲	Email
<input checked="" type="checkbox"/>	Liu Jie	liu.jie@example.com

4. メールソフトが起動し、受信者とメール本文にプロジェクトの詳細があらかじめ入力されています。プロジェクト所有者に送信する前に、E メールをカスタマイズすることができます。

プロジェクトビューワーを割り当てる

プロジェクト所有者やポータル管理者は、通常、ダッシュボードのセットを定義した後、プロジェクトにビューワーを割り当て、それらのビューワーにアセットプロパティやアラームの共通ビューを提供します。

Note

プロジェクトにビューワーを割り当てるには、プロジェクト所有者またはポータル管理者である必要があります。

ビューワーをプロジェクトに割り当てるには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、ビューワーを割り当てるプロジェクトを選択します。

Projects						View
						< 1 >
	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description	Permissions ▼	
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.	Owner	
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.	Owner	
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.	Owner	

3. プロジェクトの詳細ページの [プロジェクトのビューワー] セクションで、プロジェクトにビューワーがない場合は [ビューワーの追加] を、または [所有者の編集] を選択します。

Project viewers

Project viewers can view dashboards and view asset data in this project. Project viewers can't edit dashboards or add other users to this project.

Send invitations Remove viewers **Edit viewers**

< 1 >

	Name ▲	Email
You have not invited any other portal users to view this project.		
Project viewers can interact with all of your project's dashboards, but not edit them. Learn more		
Add viewers		

4. [プロジェクトビューワー] ダイアログボックスで、このプロジェクトのビューワーとなるユーザーのチェックボックスを選択します。

Project viewers

Select the portal users you want to be project viewers. [Learn more](#)

Portal users

	Name	Email
<input type="checkbox"/>	Mateo Jackson	mateo.jackson@example.com
<input checked="" type="checkbox"/>	Martha Rivera	martha.rivera@example.com

Project viewers (0)

No results
We could not find any available users

Cancel **Save**

Note

プロジェクトビューワーとして追加できるのは、ポータルユーザーのみです。ユーザーが表示されない場合は、AWS 管理者に連絡してポータルユーザーのリストに追加してください。

5. プロジェクトビューワーとして追加する場合は、[>>] のアイコンを選択します。
6. [保存] を選択して変更を保存します。

次に、プロジェクトビューワーにメールを送信し、サインインしてプロジェクト内のダッシュボードの探索を開始できるようにすることができます。

プロジェクトビューワーに招待メールを送信するには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



- [プロジェクト] ページで、プロジェクトビューワーを招待するプロジェクトを選択します。

Projects					
Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description	Permissions ▼	
<input type="radio"/> Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.	Owner	
<input type="radio"/> Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.	Owner	
<input type="radio"/> Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.	Owner	

- プロジェクトの詳細ページの [プロジェクトのビューワー] セクションで、メールを受信するプロジェクトビューワーのチェックボックスを選択し、[招待状を送信] を選択します。

Project viewers		Send invitations	Remove viewers	Edit viewers
Project viewers can view dashboards and view asset data in this project. Project viewers can't edit dashboards or add other users to this project.				
<input checked="" type="checkbox"/>	Name	Email		
<input checked="" type="checkbox"/>	Martha Rivera	martha.rivera@example.com		

- メールソフトが起動し、受信者とメール本文にプロジェクトの詳細があらかじめ入力されています。プロジェクトビューワーに送信する前に、E メールをカスタマイズすることができます。

プロジェクトの詳細を変更する

ポータルサイトの管理者として、プロジェクト名やプロジェクト所有者を変更することができます。プロジェクト所有者を追加すると、新しい所有者はプロジェクトの招待メールを受け取ります。所有者を削除した場合、E メールは送信されませんので、所有者の変更を通知する必要があります。

Note

プロジェクトの詳細を変更するには、ポータルサイトの管理者であることが必要です。

- ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、更新するプロジェクトを選択します。

	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

3. [プロジェクトの詳細] ページで、[編集] を選択します。

Project details			
Project name Wind Farm 3	Project description Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.	Last modified 12/27/2019, 4:11:17 PM	Date created 12/27/2019, 3:31:12 PM

4. [プロジェクトの詳細] ダイアログボックスで、[プロジェクト名] と [プロジェクトの説明] を更新します。
5. [アップデートプロジェクト] を選択します。

でプロジェクトを削除する AWS IoT SiteWise Monitor

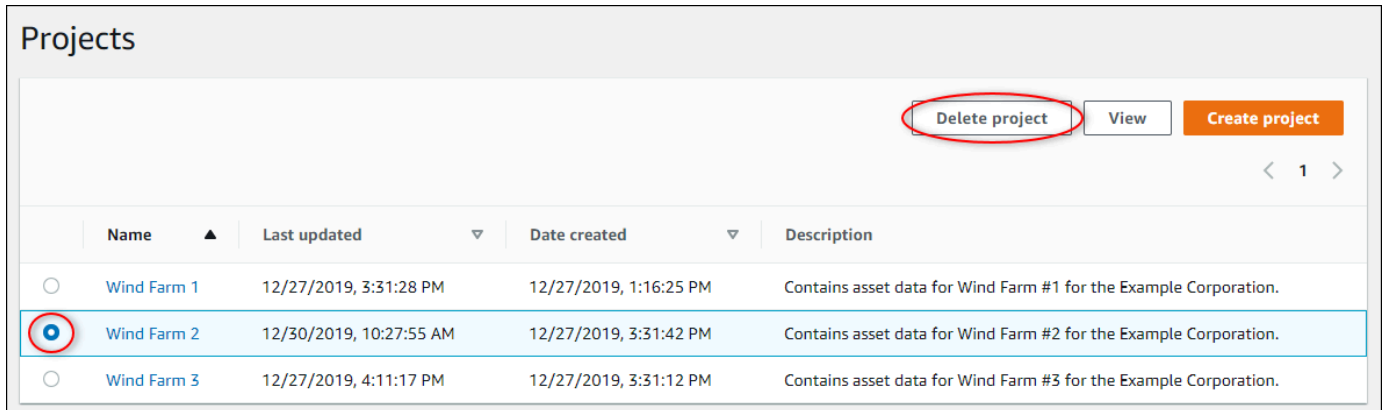
ポータル管理者として、不要なプロジェクトは削除することができます。プロジェクトを削除するには、まず、すべてのダッシュボード、関連するアセット、プロジェクト所有者、およびプロジェクトビューワーを削除または除去する必要があります。

プロジェクトを削除するには

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



-
2. [プロジェクト] ページで、削除するプロジェクトのチェックボックスを選択します。



Projects

Delete project View Create project

< 1 >

	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input checked="" type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

-
-
3. [プロジェクトを削除] を選択します。
4. [リソースの削除] 確認ダイアログで、[確認] を選択します。

⚠ Important

この操作は元に戻すことができません。

AWS IoT SiteWise Monitor ダッシュボードを使用してデータを視覚化する

Note

SiteWise Monitor 機能は、新規のお客様は利用できなくなりました。既存のお客様は、通常どおりサービスを引き続き使用できます。詳細については、[SiteWise Monitor の可用性の変更](#)を参照してください。

AWS IoT SiteWise Monitor を使用すると、アセットプロパティの視覚化をビジネスの適切なメンバーと共有するための一貫した方法を提供できます。データを一貫して表示することで、デバイス、プロセス、および機器を他の人が理解しやすくなります。AWS IoT SiteWise Monitor ポータルの各プロジェクトには、プロジェクトに招待するビューワーが利用できる一連のダッシュボードが含まれています。

プロジェクト所有者は、プロジェクトに関連するアセットプロパティとアラームのダッシュボードとビジュアライゼーションのセットを作成する責任を負います。プロジェクト所有者として、どのプロパティとアラームと一緒に表示するのが合理的か、また、ビューワーがデータを理解するのに一番簡単なのはどの型のビジュアライゼーションなのかを決定します。また、ビジュアライゼーションのしきい値を設定することで、データが正常な動作範囲を超えた場合に表示することができます。プロパティにアラームがある場合、ビジュアライゼーションでは自動的にそのアラームがしきい値として表示されます。

次のようなデータのビジュアライゼーションタスクを行うことができます。

タスク	必要なロール	説明
でダッシュボードを表示する AWS IoT SiteWise	ポータル管理者、プロジェクト所有者、プロジェクトビューワー。	アクセス権が付与されたダッシュボードを表示します。
AWS IoT SiteWise Monitor プロジェクトでダッシュボードを作成する	ポータル管理者、プロジェクト所有者。	プロジェクトでダッシュボードを作成する。

タスク	必要なロール	説明
AWS IoT SiteWise Monitor でビジュアライゼーションを追加する	ポータル管理者、プロジェクト所有者。	ダッシュボードにビジュアライゼーションを追加します。
ビジュアライゼーションをカスタマイズする	ポータル管理者、プロジェクト所有者。	ビジュアライゼーションの型を変更し、しきい値や傾向線などの他の特徴を設定します。
ダッシュボードのレイアウトを調整する	ポータル管理者、プロジェクト所有者。	ダッシュボード内のビジュアライゼーションのサイズや位置を変更することができます。
でダッシュボードを削除する AWS IoT SiteWise Monitor	ポータル管理者、プロジェクト所有者。	不要なダッシュボードを削除します。

でダッシュボードを表示する AWS IoT SiteWise

AWS IoT SiteWise Monitor を使用すると、アセットデータの一貫したビューを適切なユーザーに提供できます。ポータル管理者、プロジェクト所有者、プロジェクトビューワーは、自分のプロジェクトに定義されているすべてのダッシュボードを閲覧することができます。[ダッシュボード] ですべてのダッシュボードを一度に表示したり、プロジェクトページからダッシュボードを表示したりすることができます。

ダッシュボードページでダッシュボードを表示するには。

1. ナビゲーションバーで、[Dashboards] (ダッシュボード) アイコンを選択します。



2. [プロジェクトで絞り込む] ドロップダウンリストで、表示するダッシュボードを持つプロジェクトを選択します。

Dashboards

Filter by project

Wind Farm 1

Open Delete Create dashboard

< 1 >

<input type="checkbox"/>	Name ▲	Last updated ▼	Project ▼	Date created ▼
<input type="checkbox"/>	Turbine 1	12/27/2019, 1:54:05 PM	Wind Farm 1	12/27/2019, 1:52:33 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 2	12/27/2019, 1:55:09 PM	Wind Farm 1	12/27/2019, 1:54:18 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 3	12/27/2019, 1:55:57 PM	Wind Farm 1	12/27/2019, 1:55:12 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 4	12/27/2019, 1:56:47 PM	Wind Farm 1	12/27/2019, 1:56:03 PM
<input type="checkbox"/>	Wind Farm Dashboard	7/8/2020, 9:43:06 AM	Wind Farm 1	12/27/2019, 1:18:22 PM

ダッシュボードのリストは、列の見出しを使用して並べ替えることができます。

Note

特定のプロジェクトが見つからない場合は、そのプロジェクトの閲覧に招待されていない可能性があります。招待状をご希望の方は、プロジェクト所有者にご連絡ください。

3. [ダッシュボード] リストで、表示するダッシュボードを選択します。

プロジェクトページでダッシュボードを表示するには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、ダッシュボードを表示するプロジェクトを選択します。

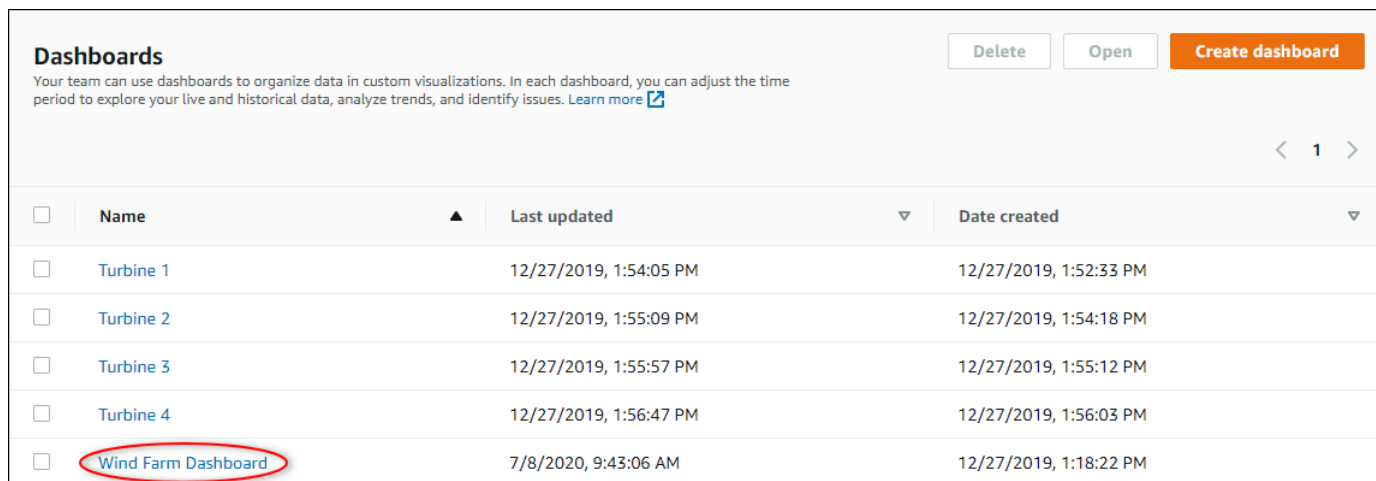
Projects

Delete project View Create project

< 1 >

<input type="radio"/>	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

- プロジェクトの詳細ページの [ダッシュボード] セクションで、表示するダッシュボードの [ダッシュボードで開く] を選択します。また、ダッシュボードの横にあるチェックボックスを選択し、[開く] を選択することもできます。



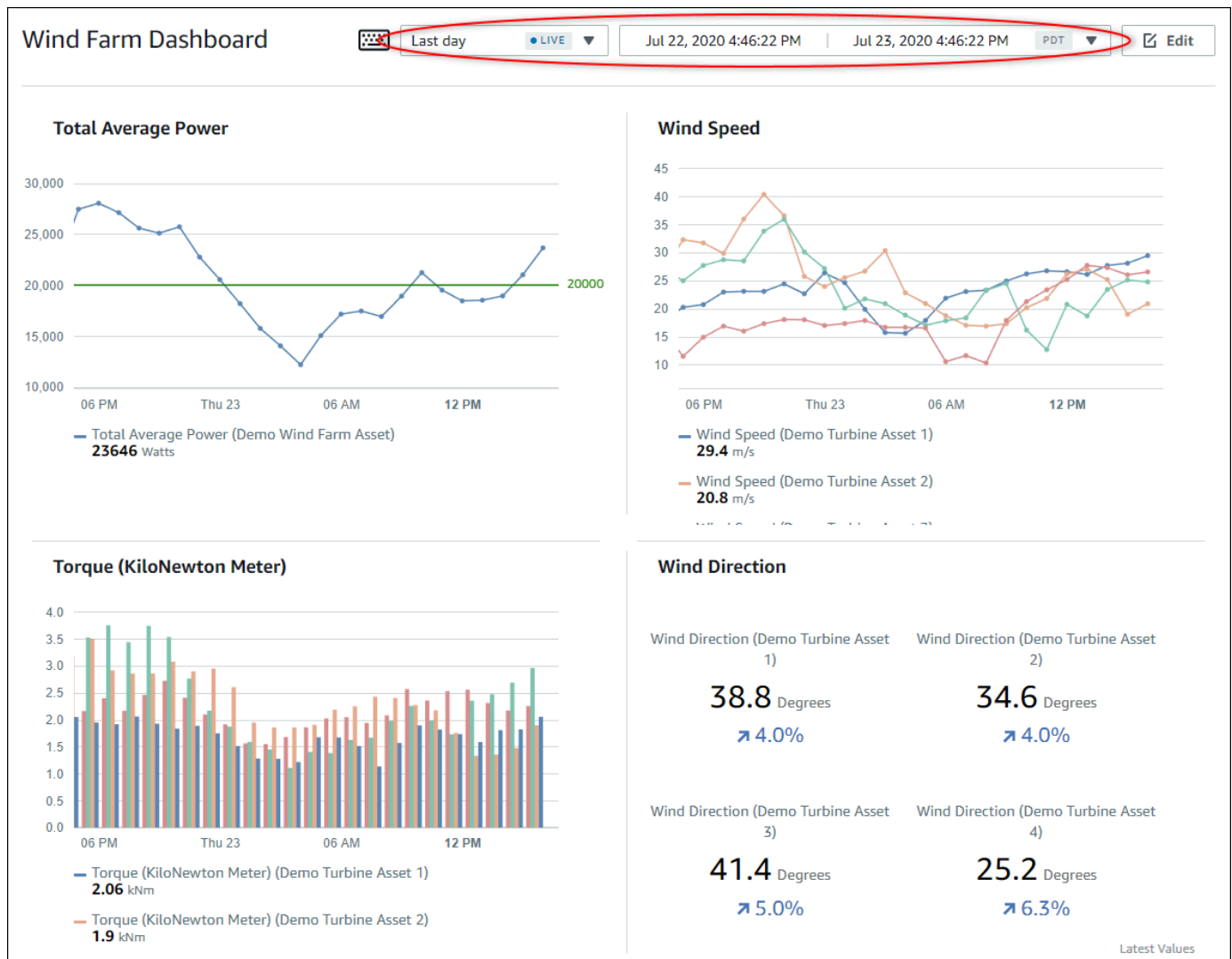
Dashboards Delete Open Create dashboard

Your team can use dashboards to organize data in custom visualizations. In each dashboard, you can adjust the time period to explore your live and historical data, analyze trends, and identify issues. [Learn more](#)

< 1 >

<input type="checkbox"/>	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼
<input type="checkbox"/>	Turbine 1	12/27/2019, 1:54:05 PM	12/27/2019, 1:52:33 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 2	12/27/2019, 1:55:09 PM	12/27/2019, 1:54:18 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 3	12/27/2019, 1:55:57 PM	12/27/2019, 1:55:12 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 4	12/27/2019, 1:56:47 PM	12/27/2019, 1:56:03 PM
<input type="checkbox"/>	Wind Farm Dashboard	7/8/2020, 9:43:06 AM	12/27/2019, 1:18:22 PM

- ダッシュボードで利用可能なビジュアライゼーションを閲覧することができます。



5. [\[adjust the time range for your data\]](#) (データの時間範囲を調整する) ことができます。プロジェクト所有者やポータル管理者であれば、ダッシュボードを変更することができます。詳細については、「[AWS IoT SiteWise Monitor でビジュアライゼーションを追加する](#)」を参照してください。

ダッシュボードの時間範囲を調整する。

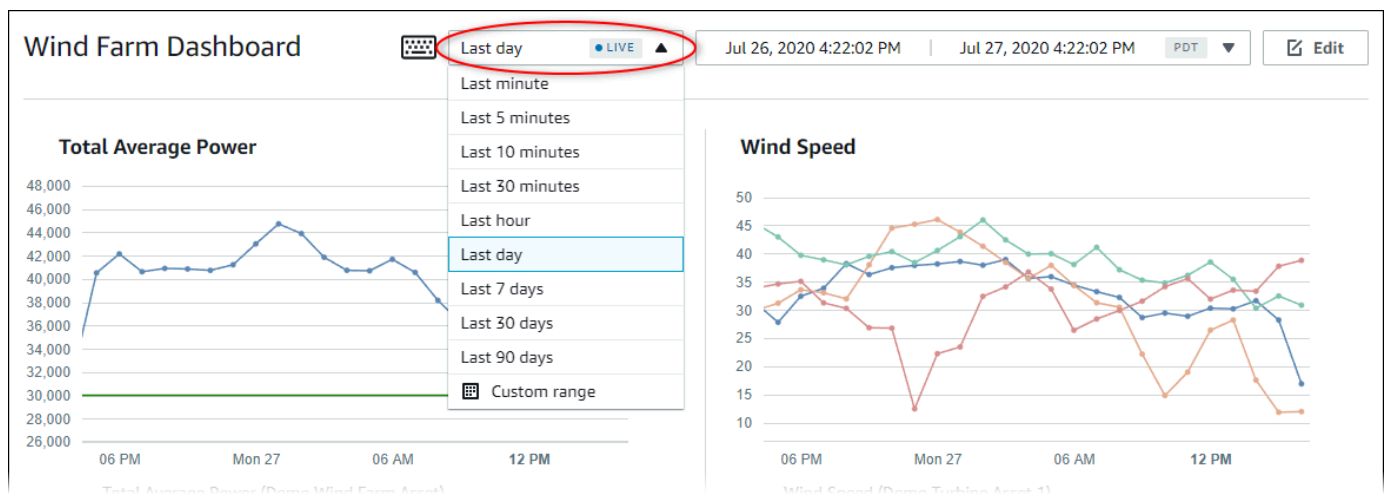
ダッシュボードを表示する際、表示するデータの時間範囲を変更することができます。この機能により、最近の行動と過去の行動を比較したり、特定の時間範囲に焦点を当てたりすることができます。あらかじめ定義された時間範囲のセットから選択することも、時間範囲の開始と終了を正確に指定して表示することも可能です。また、表示を元に戻してライブデータを表示することもできます。

Note

ダッシュボードの各ページには、それぞれ [時間範囲] が設定されています。あるダッシュボードの [時間範囲] を変更しても、他のダッシュボードの時間範囲は変更されません。ダッシュボード上のすべてのビジュアライゼーションは、選択した時間範囲を使用します。

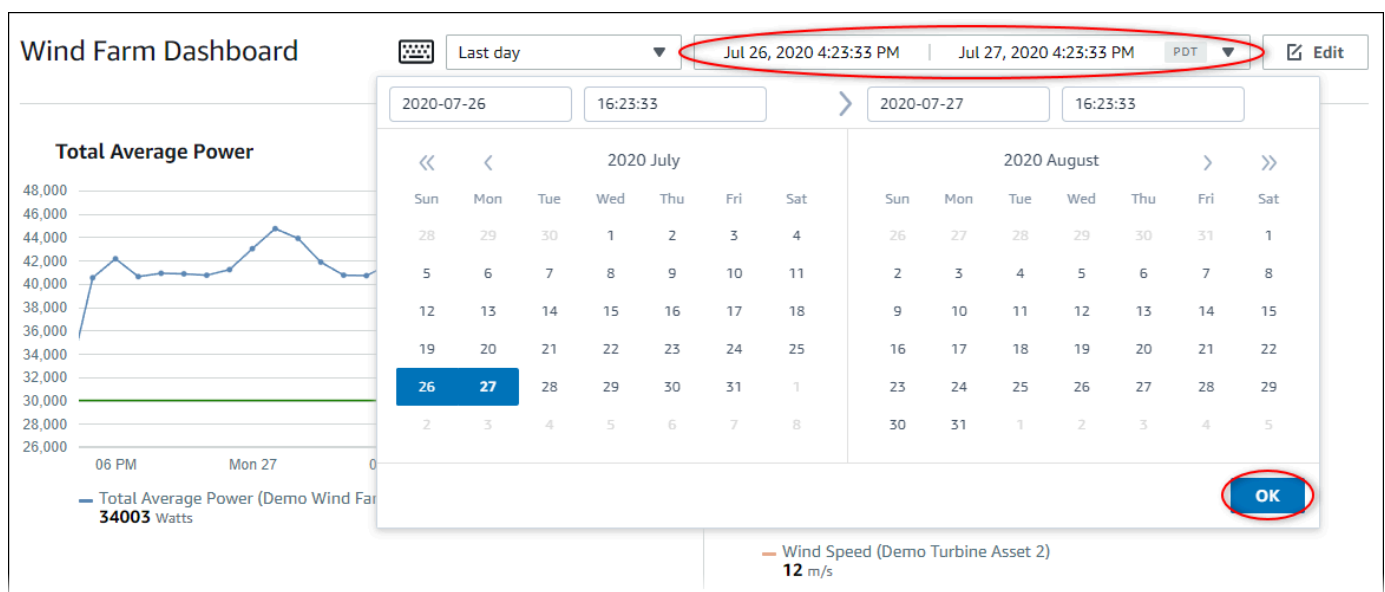
事前定義された時間範囲を使用するには。

- 時間範囲ドロップダウンリストで、表示する時間範囲を選択します。



カスタム時間範囲を使用するには。

- カレンダーを開くための時間範囲コントロールを選択します。



2. 時間帯の開始と終了を選択します。スクリーンショットの例では、開始日が7月26日、終了日が7月27日となっています。
3. [オッケー] を選択して変更を保存します。

ビジュアライゼーションを拡大または縮小するには。

1. 折れ線グラフや棒グラフの時間範囲をクリック & ドラッグすると、選択した時間範囲にズームインします。
2. 時間範囲をダブルクリックすると、選択した地点が拡大表示されます。
3. Shift を押した後、時間範囲をダブルクリックすると、選択したポイントから縮小表示します。

選択した時間範囲をシフトするには。

- Shift を押した後、時間範囲上でマウスをドラッグすると、範囲を左右に移動することができます。

AWS IoT SiteWise Monitor プロジェクトでダッシュボードを作成する

プロジェクト所有者は、AWS IoT SiteWise Monitor でダッシュボードを作成し、アセットプロパティとアラームの共有ビューをプロジェクトビューワーに提供します。ダッシュボードは、[ダッシュボード] ページまたはプロジェクトの詳細を表示中に作成することができます。

ダッシュボードページからダッシュボードを作成するには。

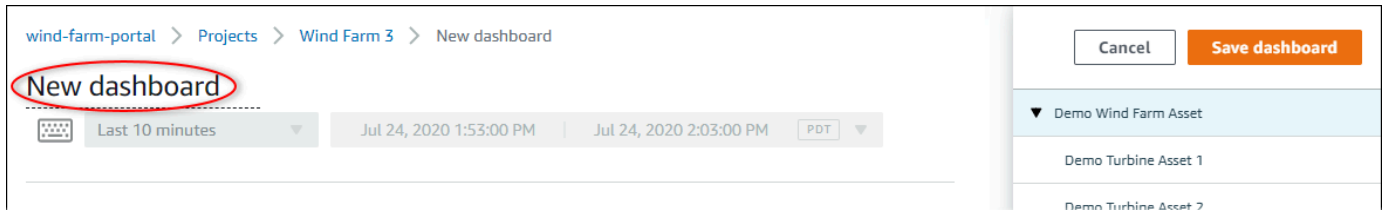
1. ナビゲーションバーで、[Dashboards] (ダッシュボード) アイコンを選択します。



2. [ダッシュボード] ページで、[ダッシュボードを作成する] を選択します。



3. ダッシュボードエディターで、ダッシュボード名をデフォルトの **New dashboard** から、コンテンツを説明するものに変更します。



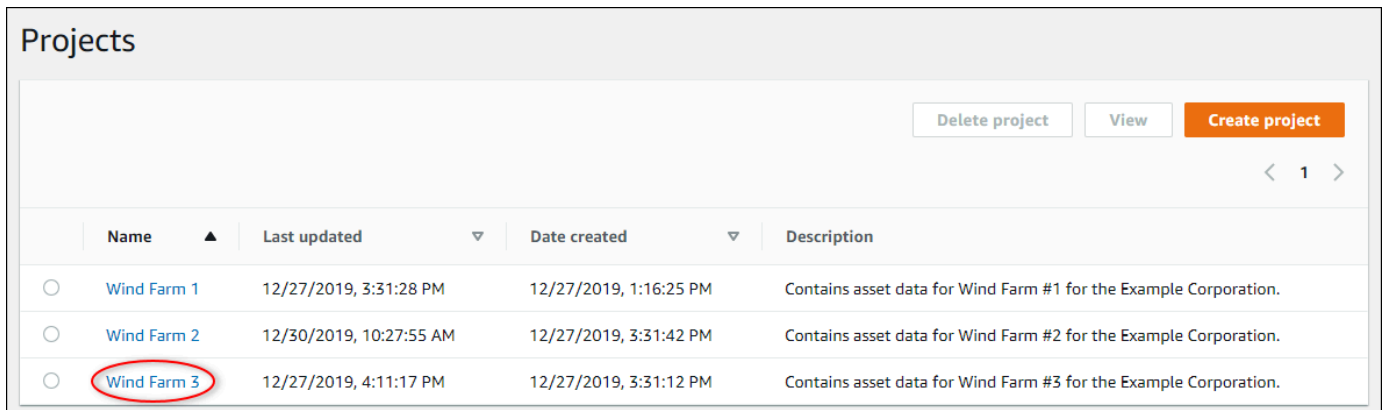
4. 1つまたは複数のビジュアライゼーションを追加します。詳細については、「[AWS IoT SiteWise Monitor でビジュアライゼーションを追加する](#)」を参照してください。
5. ダッシュボードの編集が終了したら、[Save dashboard] (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする時、保存するよう促されます。

プロジェクトの詳細を表示しながらダッシュボードを作成するには。

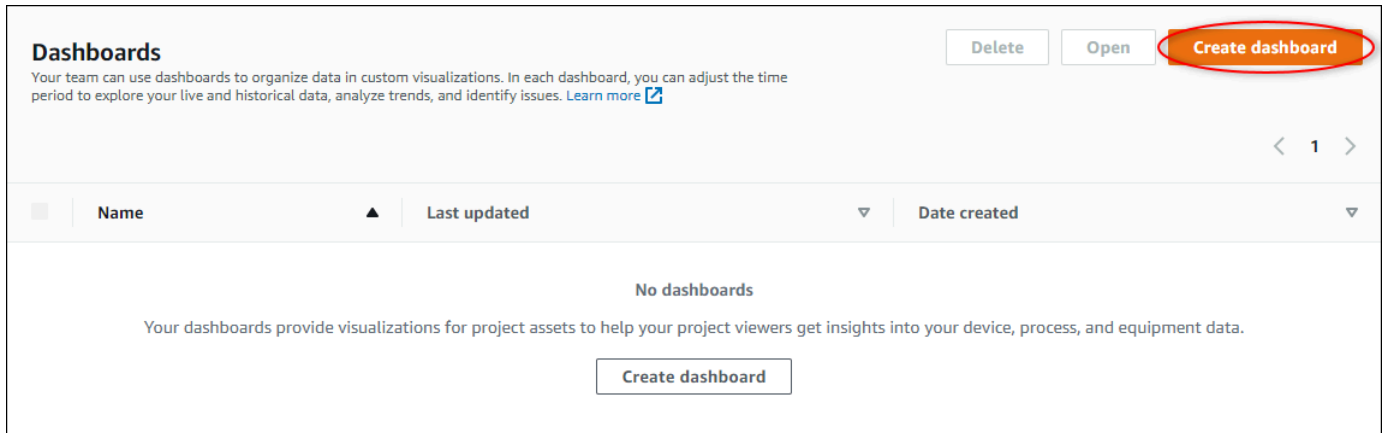
1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



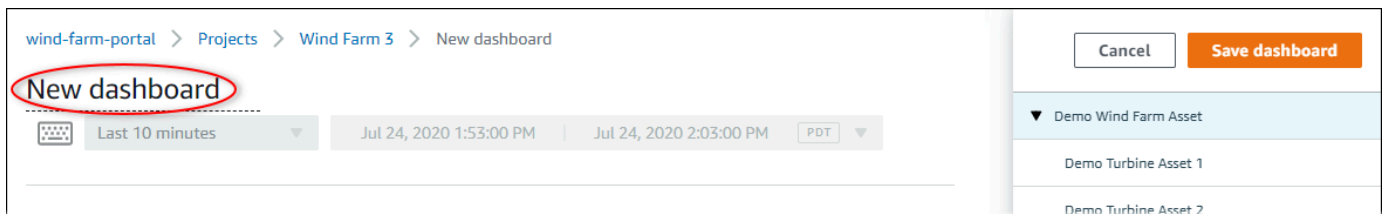
2. [プロジェクト] ページで、ダッシュボードを作成するプロジェクトを選択します。



3. [ダッシュボード] セクションで、[ダッシュボードの作成] を選択します。



4. ダッシュボードエディターで、ダッシュボード名をデフォルトの **New dashboard** から、コンテンツを説明するものに変更します。



5. 1 つまたは複数のビジュアライゼーションを追加します。詳細については、「[AWS IoT SiteWise Monitor でビジュアライゼーションを追加する](#)」を参照してください。
6. ダッシュボードの編集が終了したら、[Save dashboard] (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする時、保存するよう促されます。

AWS IoT SiteWise Monitor でビジュアライゼーションを追加する

AWS IoT SiteWise Monitor では、ダッシュボードは視覚化のグループです。プロジェクト所有者は、各ダッシュボードに表示するアセットプロパティとアラームを決定し、それらをどのように表現するのがベストかを決定します。利用可能なビジュアライゼーション型の詳細については、[ビジュアライゼーションのタイプを選択する](#) を参照してください。

ダッシュボードにビジュアライゼーションを追加するには、3 つのステップがあります。

1. [ダッシュボードを編集する](#) - 編集用のダッシュボードを開きます。
2. [プロパティやアラームをダッシュボードにドラッグする](#) - プロパティやアラームをダッシュボードにドラッグします。

3. [ビジュアライゼーションをカスタマイズする](#) - 理想的なビジュアライゼーションを選択し、そのプロパティやアラームを設定することで、ビジュアライゼーションをカスタマイズすることができます。

ダッシュボードを編集する

ダッシュボードを作成し、ビジュアライゼーションを追加した後、ダッシュボードを更新して表示方法を変更することができます。

プロジェクトのダッシュボードを編集するには。

1. ナビゲーションバーで、[Projects] (プロジェクト) アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、編集するダッシュボードがあるプロジェクトを選択します。

Projects				
Delete project View Create project				
< 1 >				
	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

3. [ダッシュボード] セクションで、編集するダッシュボードを選択します。

Dashboards				
Delete Open Create dashboard				
< 1 >				
	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	
<input type="checkbox"/>	Turbine 1	12/27/2019, 1:54:05 PM	12/27/2019, 1:52:33 PM	
<input type="checkbox"/>	Turbine 2	12/27/2019, 1:55:09 PM	12/27/2019, 1:54:18 PM	
<input type="checkbox"/>	Turbine 3	12/27/2019, 1:55:57 PM	12/27/2019, 1:55:12 PM	
<input type="checkbox"/>	Turbine 4	12/27/2019, 1:56:47 PM	12/27/2019, 1:56:03 PM	
<input type="checkbox"/>	Wind Farm Dashboard	7/8/2020, 9:43:06 AM	12/27/2019, 1:18:22 PM	

4. ダッシュボードで、右上の (編集) を選択します。

ダッシュボードの名称変更、ビジュアライゼーションの追加、削除、修正ができるようになります。

5. ダッシュボードの編集が終了したら、[Save dashboard] (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。

プロパティやアラームをダッシュボードにドラッグする

アセットプロパティやアラームをダッシュボードにドラッグすることで、ダッシュボードにビジュアライゼーションを追加することができます。それらを空のスペースにドラッグしてビジュアライゼーションを作成したり、既存のビジュアライゼーションにドラッグしてそのプロパティやアラームをすでにビジュアライゼーションにあるものに追加したりすることができます。各ビジュアライゼーションには、最大5つのアセットプロパティまたはアラームを追加することができます。ダッシュボードを編集できるのは、ポータル管理者とプロジェクト所有者のみです。ダッシュボードを開いて変更する方法については、[ダッシュボードを編集する](#) を参照してください。

1. ダッシュボードの右側にあるプロジェクトアセットのリストを参照します。ビジュアライゼーションしたいプロパティやアラームが見つかったら、ダッシュボードにドラッグします。
 - プロパティのデフォルトのビジュアライゼーション型は、[\[line chart\]](#) (折れ線グラフ) です。
 - アラームのデフォルトのビジュアライゼーション型は、[\[status grid widget\]](#) (状態グリッドウィジェット) です。


Note

複数のプロパティやアラームを1つのビジュアライゼーションにドラッグすることができます。

wind-farm-portal > Projects > Wind Farm 3 > New dashboard

New dashboard

Last 10 minutes Jul 24, 2020 1:53:00 PM Jul 24, 2020 2:03:00 PM PDT



Drag data here

Cancel Save dashboard

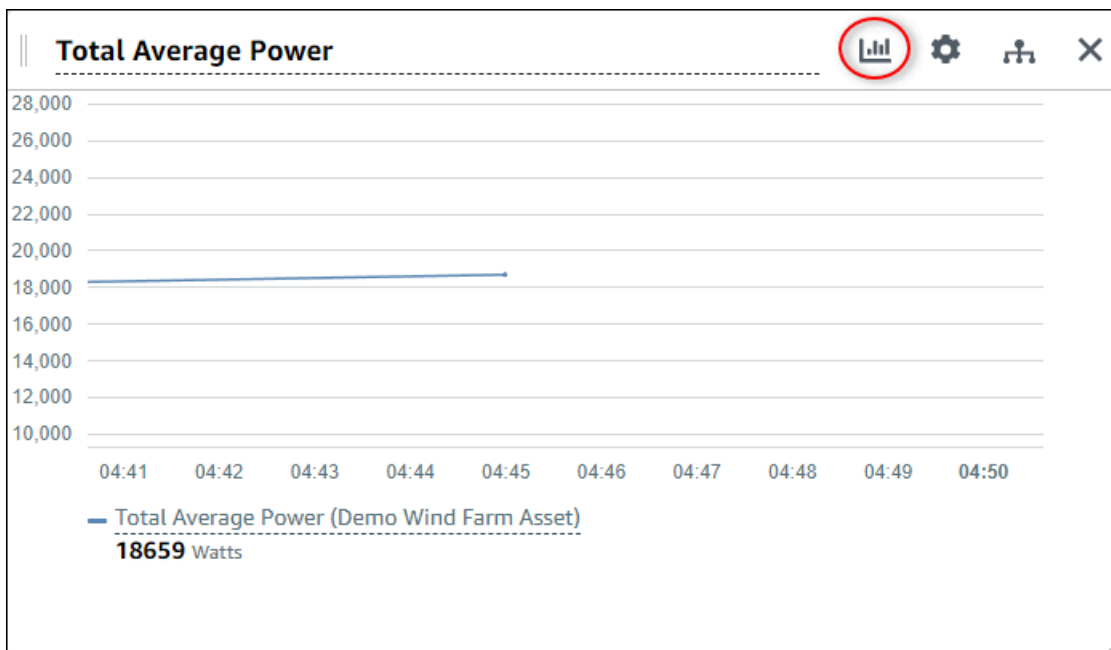
▼ Demo Wind Farm Asset

- Demo Turbine Asset 1
- Demo Turbine Asset 2
- Demo Turbine Asset 3
- Demo Turbine Asset 4

Properties for "Demo Wind Farm Asset"

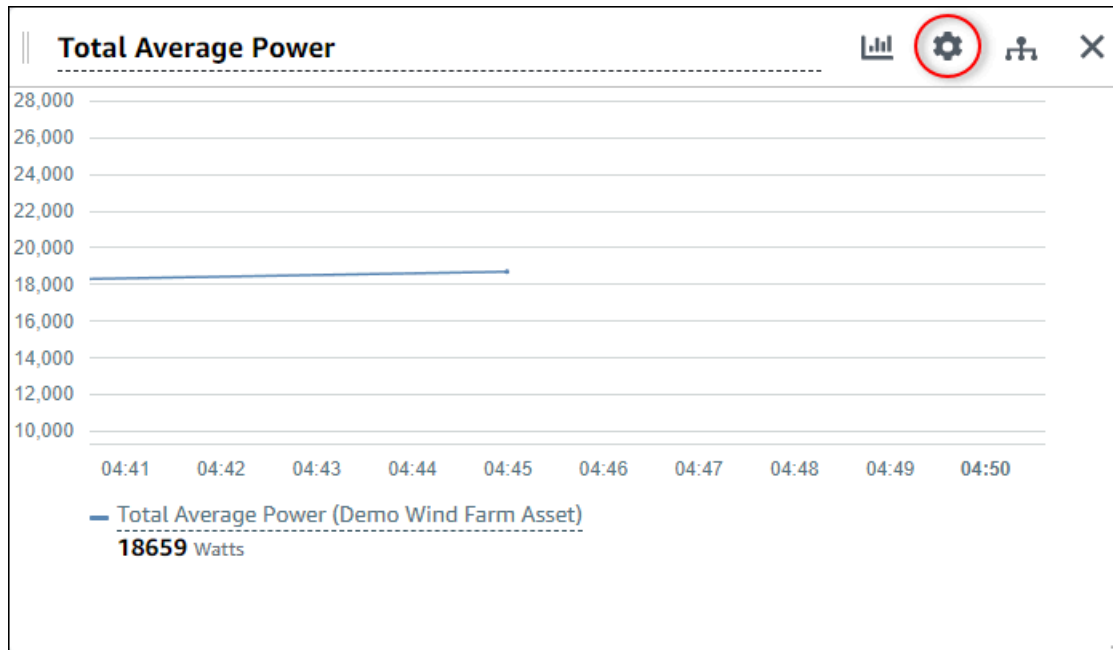
Code	300
Total Average Power	19934 Watts
Total Overdrive State Time	0 seconds

2. データの表示方法を変更するには、ビジュアライゼーション型を選択します。



利用可能なビジュアライゼーション型の詳細については、[ビジュアライゼーションのタイプを選択する](#) を参照してください。ビジュアライゼーションの詳細をカスタマイズする場合は、[ビジュアライゼーションをカスタマイズする](#) を参照してください。

3. プロパティにしきい値を追加するには、ビジュアライゼーション設定アイコンを選択します。アラームを持つプロパティを追加すると、そのアラームのしきい値がビジュアライゼーションされます。詳細については、「[しきい値を設定する](#)」を参照してください。



4. ビジュアライゼーションを移動またはサイズ変更するには、[ダッシュボードのレイアウトを調整する](#) を参照してください。

ビジュアライゼーションをカスタマイズする

プロジェクト所有者として、ダッシュボードに追加したアセットプロパティとアラームの最適な表示方法を選択することができます。ビジュアライゼーション型を制御し、ビジュアライゼーションをカスタマイズすることができます。

トピック

- [ビジュアライゼーションのタイプを変更する](#)
- [ビジュアライゼーションにデータを追加する](#)
- [ビジュアライゼーションからデータを削除する](#)
- [ビジュアライゼーションを削除する](#)

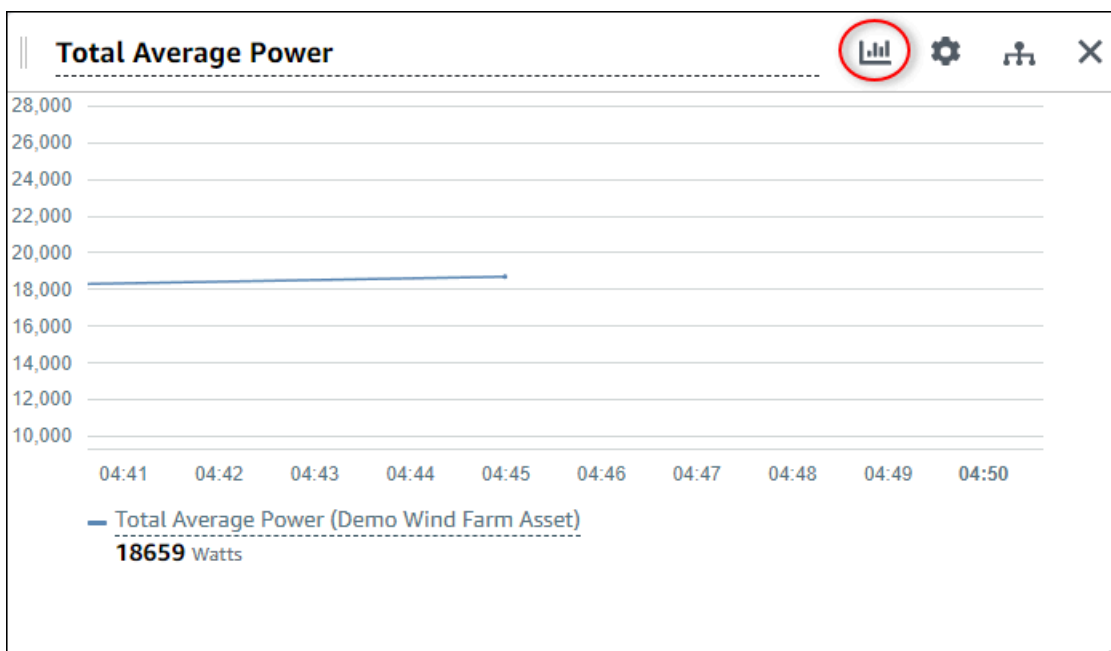
- [ビジュアライゼーションのタイプを選択する](#)
- [しきい値を設定する](#)
- [トレンドラインを設定する](#)

ビジュアライゼーションのタイプを変更する

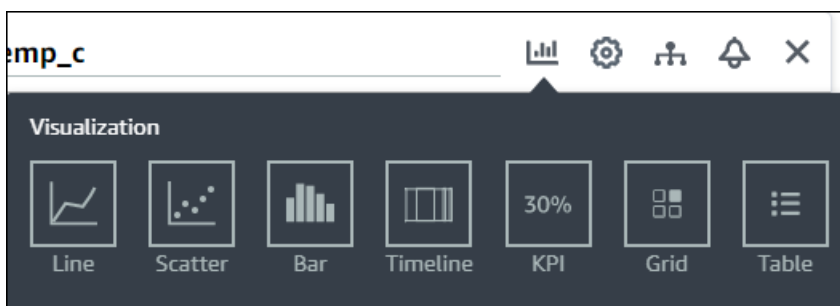
プロジェクト所有者として、各アセットのプロパティやアラームをどのように表現するのが最適かを決定します。

ビジュアライゼーション型を変更するには。

1. 変更するビジュアライゼーションの [ビジュアライゼーション型] のアイコンを選択します。



2. ビジュアライゼーション型バーで、適用するビジュアライゼーション型のアイコンを選択します。



詳細については、「[ビジュアライゼーションのタイプを選択する](#)」を参照してください。

3. ダッシュボードの編集が終了したら、[Save dashboard] (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。

ビジュアライゼーションにデータを追加する

プロジェクト所有者として、複数のアセットプロパティとアラームを同じビジュアライゼーションで表示したいと思うかもしれません。例えば、すべてのポンプの温度を表示したり、1つのアセットの性能や効率を表示したりすることができます。

ビジュアライゼーションにデータを追加するには。

1. ビジュアライゼーションに追加したいアセットプロパティまたはアラームをドラッグします。アラームを持つプロパティを追加すると、そのアラームも自動的にしきい値として追加されます。

The screenshot shows the 'Demo Wind Farm Dashboard' interface. At the top, there are 'Cancel' and 'Save dashboard' buttons. Below them is a dropdown menu for 'Demo Wind Farm Asset'. The asset list includes 'Demo Turbine Asset 1', 'Demo Turbine Asset 2' (highlighted), 'Demo Turbine Asset 3', and 'Demo Turbine Asset 4'. Below the asset list is a section titled 'Properties for "Demo Turbine Asset 2"', which shows 'Overdrive State' as 1 and 'Overdrive State Time' as 300 Seconds. On the left, a 'Wind Speed' visualization is shown with a line graph. The graph has a red circle around the 'Wind Speed' label and the current value '16.621 m/s'. The graph also shows a legend for 'Wind Speed (Demo Turbine Asset 1)' with a value of '16.9 m/s'.

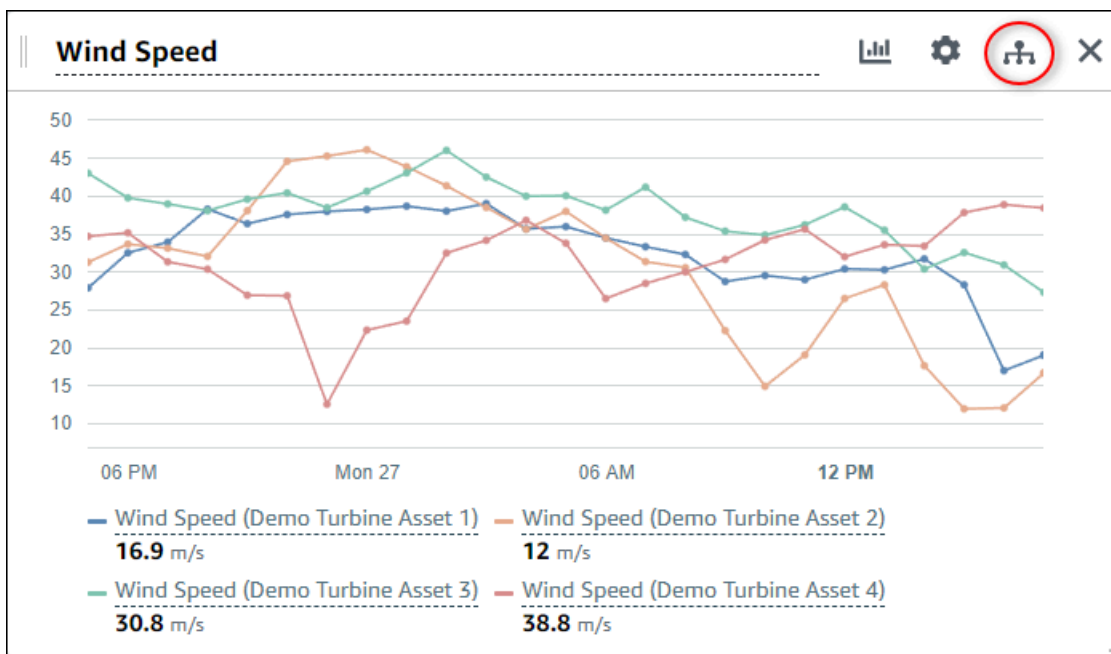
2. ダッシュボードの編集が終了したら、[Save dashboard] (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。

ビジュアライゼーションからデータを削除する

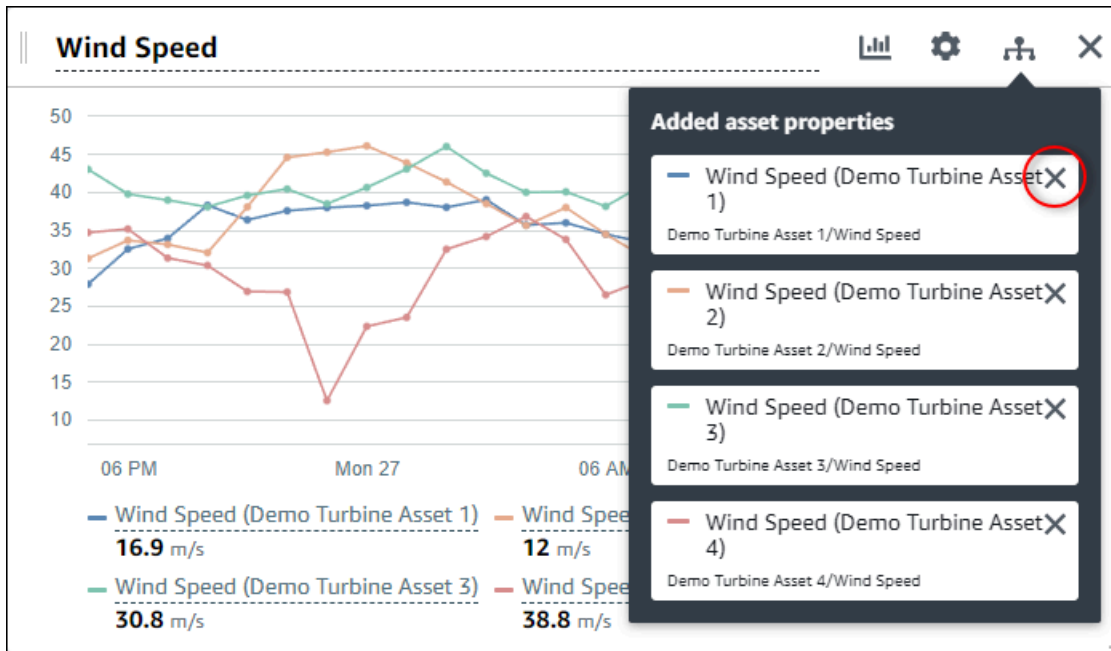
アセットプロパティやアラームをビジュアライゼーションから削除し、表示しないようにすることができます。

ビジュアライゼーションからデータをエクスポートするには。

1. 変更するビジュアライゼーションの [追加されたアセット] アイコンを選択します。



2. アセットプロパティまたはアラームの [X] アイコンを選択すると、ビジュアライゼーションからそのプロパティが削除されます。



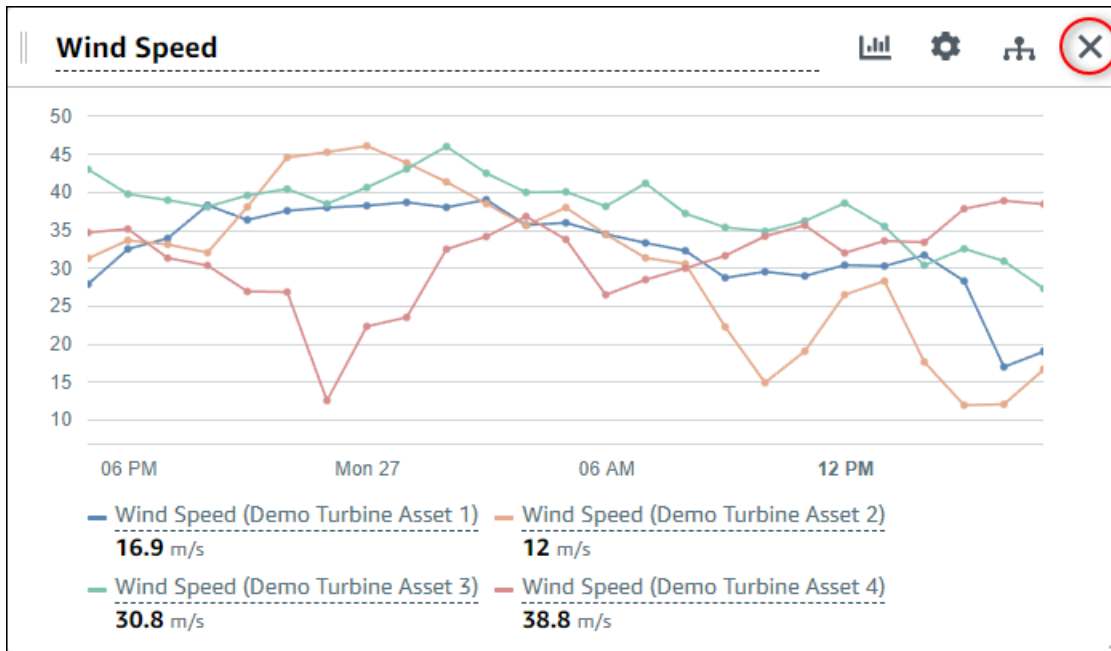
3. ダッシュボードの編集が終了したら、[Save dashboard] (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。

ビジュアライゼーションを削除する

プロジェクト所有者として、ビジュアライゼーションが必要ないと判断した場合、ダッシュボードから簡単に削除することができます。

ビジュアライゼーションを削除するには。

1. 削除するビジュアライゼーションの [X] アイコンを選択します。



- ダッシュボードの編集が終了したら、[Save dashboard] (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。

ビジュアライゼーションのタイプを選択する

ここでは、利用可能なビジュアライゼーション型についてご紹介します。デバイス、プロセス、および機器を理解するために、ダッシュボードに追加する各アセットプロパティに適したビジュアライゼーション型を選択する必要があります。各ビジュアライゼーション型の詳細については、このセクションで説明します。ビジュアライゼーションの種類を変えてもデータは変わらないので、さまざまなビジュアライゼーションを試して、自分やプロジェクトのビューワーがデータからインサイトを得るのにどの種類が役立つかを発見することができます。

型	説明	アラームの状態を表示します。
線グラフ	頻繁に値が報告されるプロパティで、時系列での傾向を見たい場合に最適です。	いいえ
散布図	頻繁に値が報告されるプロパティで、個々のデータポイント	いいえ

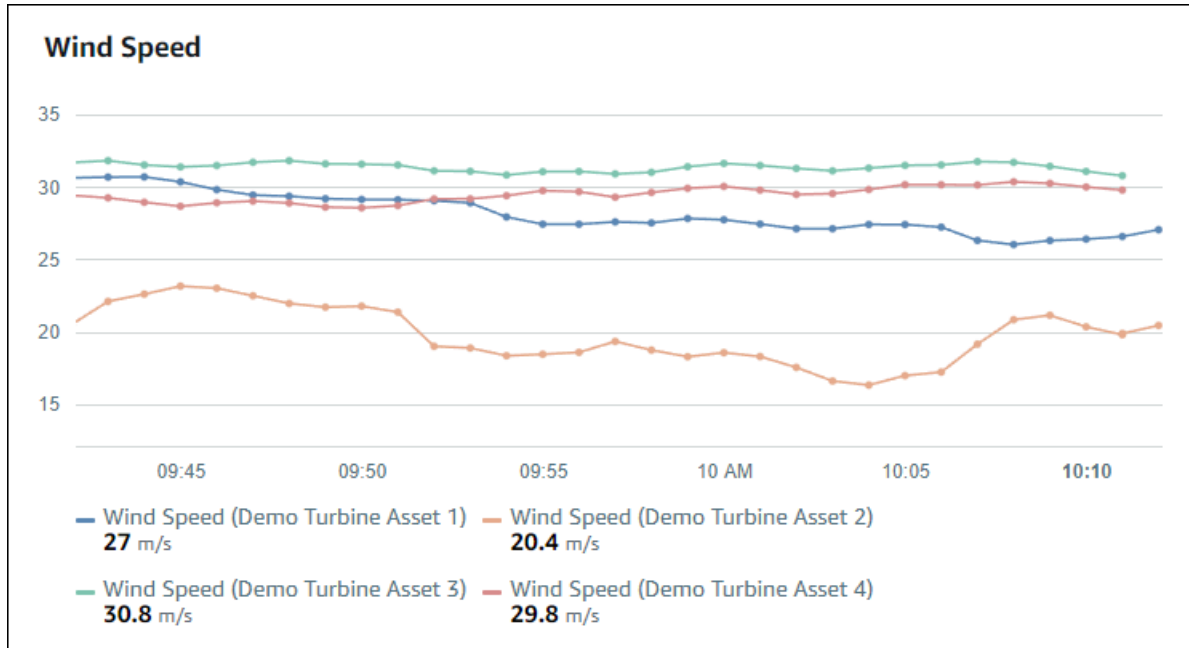
型	説明	アラームの状態を表示します。
	トを確認したい場合に最適です。	
Bar	日次メトリクスなど、報告頻度の低い値を持つプロパティで、時系列で傾向を見たい場合に最適です。また、棒グラフを使用して、複数のプロパティ間の値を比較することができます。	いいえ
ステータス	高、中、低のような少数の状態を持つアラームやプロパティに最適です。 [current status] (現在の状態) をグリッドで、 [historical status] (過去の状態) をタイムラインでビジュアライゼーションできます。	はい
KPI	最新の値が最も重要な情報であるようなプロパティに最適です。	いいえ
[テーブル]	複数のプロパティやアラームの値を比較し、1つのコンパクトなウィジェットに情報を表示するために最適です。	はい

線グラフ

時間の経過とともに変動する時系列データをビジュアライゼーションするには、折れ線グラフが適しています。時系列プロパティをダッシュボードにドラッグすると、デフォルトでそのプロパティの値が折れ線グラフで表示されます。そのプロパティにアラームがある場合、そのアラームのしきい値を折れ線グラフで表示します。

Example

次の折れ線グラフは、4つのアセットプロパティを示しています。



折れ線グラフを表示するには、ビジュアライゼーション型メニューから折れ線グラフアイコンを選択します。

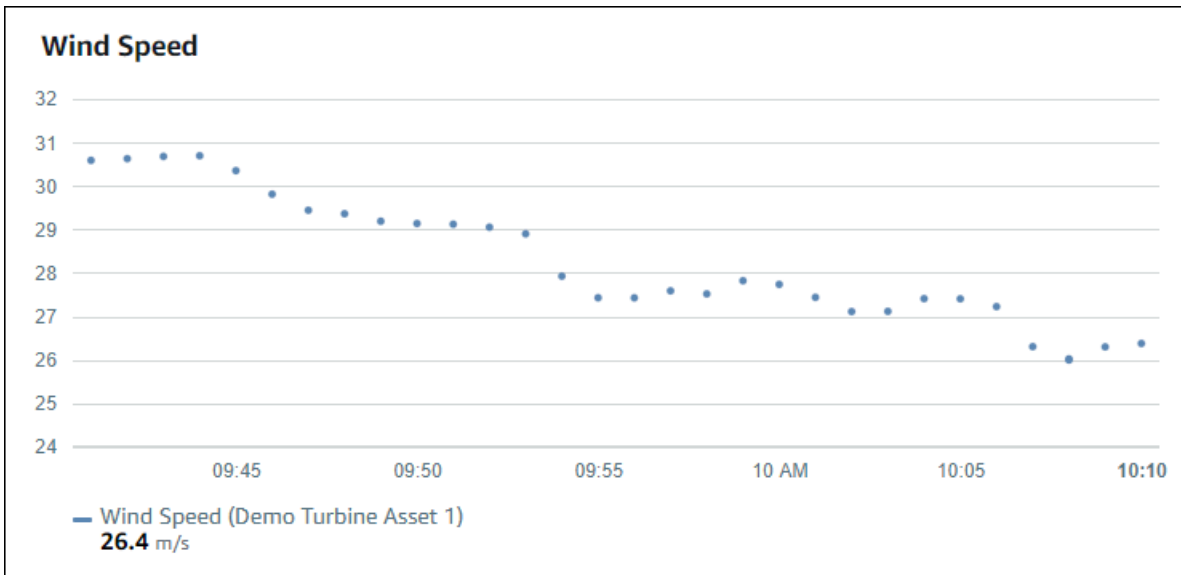


散布図

散布図は、データポイントが明確な時系列データをビジュアライゼーションするために使用できません。散布図は、データ点間に線がない折れ線グラフのようなものです。アラームを持つプロパティを追加すると、散布図はそのアラームのしきい値を表示します。

Example

次の散布図は、1つのアセットプロパティを示しています。



散布図を表示するには、ビジュアライゼーション型メニューから散布アイコンを選択します。

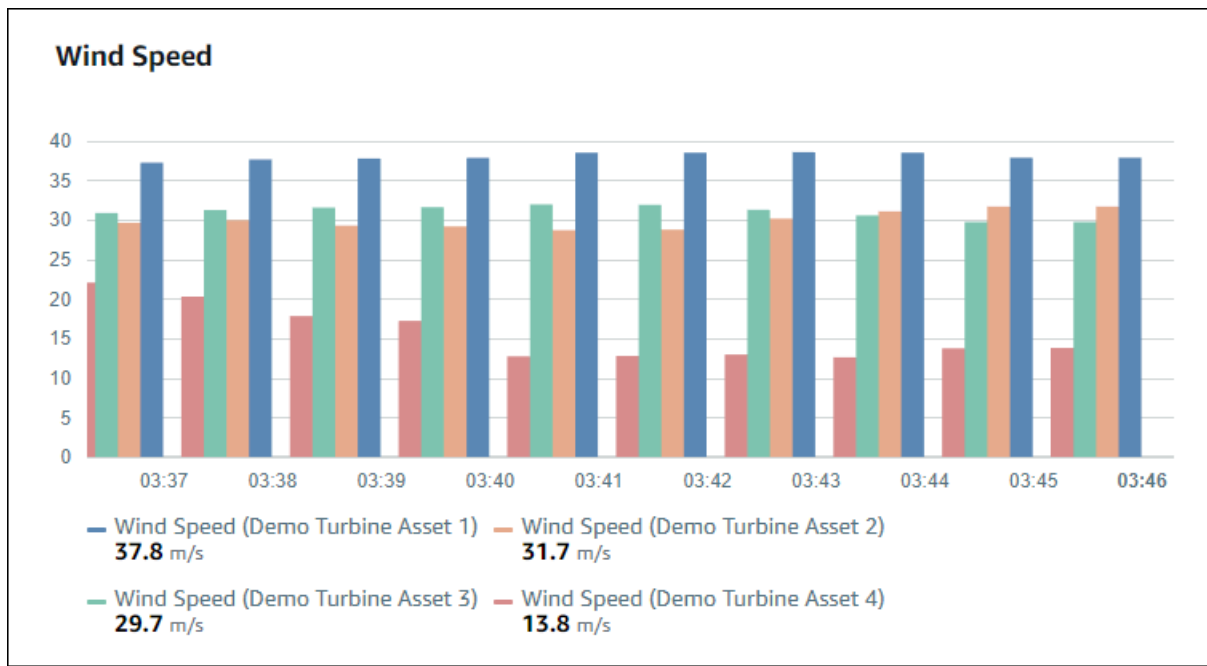


Bar

棒グラフは、時系列データをビジュアライゼーションするもう 1 つの方法です。棒グラフは、毎日の測定値のように、データの値が頻繁に変化しない場合に使用することができます。アラームを持つプロパティを追加すると、棒グラフはそのアラームのしきい値を表示します。

Example

次の棒グラフは、4 つのアセットプロパティを示しています。



棒グラフを表示するには、ビジュアライゼーション型メニューから棒グラフアイコンを選択します。



ステータス

状態スウィジェットは、アラームのように明確に定義された少数の状態を持つデータをビジュアライゼーションするのに適した方法です。例えば、高、中、低の3つの状態がある圧力計がある場合、状態グリッドでそれぞれの状態を異なる色で表示することができます。

状態ウィジェットは、現在の状態をグリッドで、過去の状態をタイムラインで表示するように設定できます。

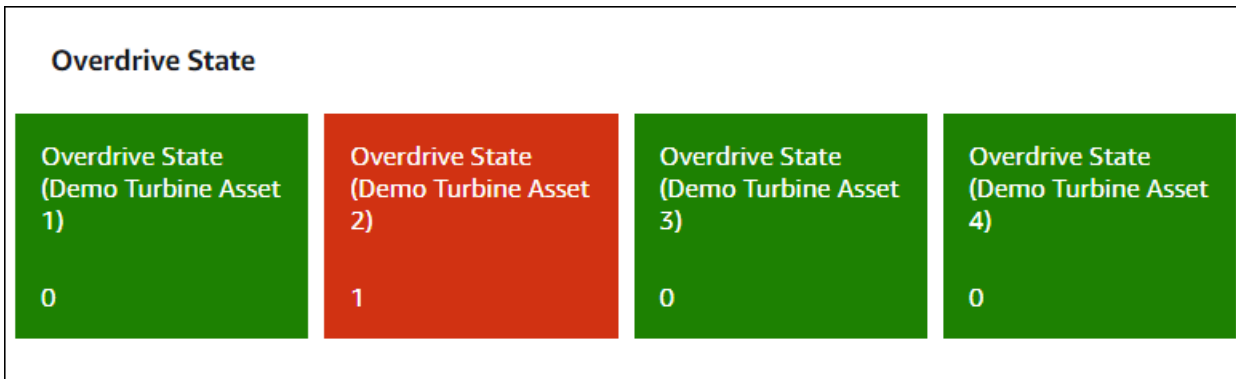
トピック

- [状態グリッド](#)
- [状態タイムライン](#)
- [ステータスウィジェットを設定する](#)

状態グリッド

Example

次の状態グリッドは、4つのアセットプロパティの状態を示しています。



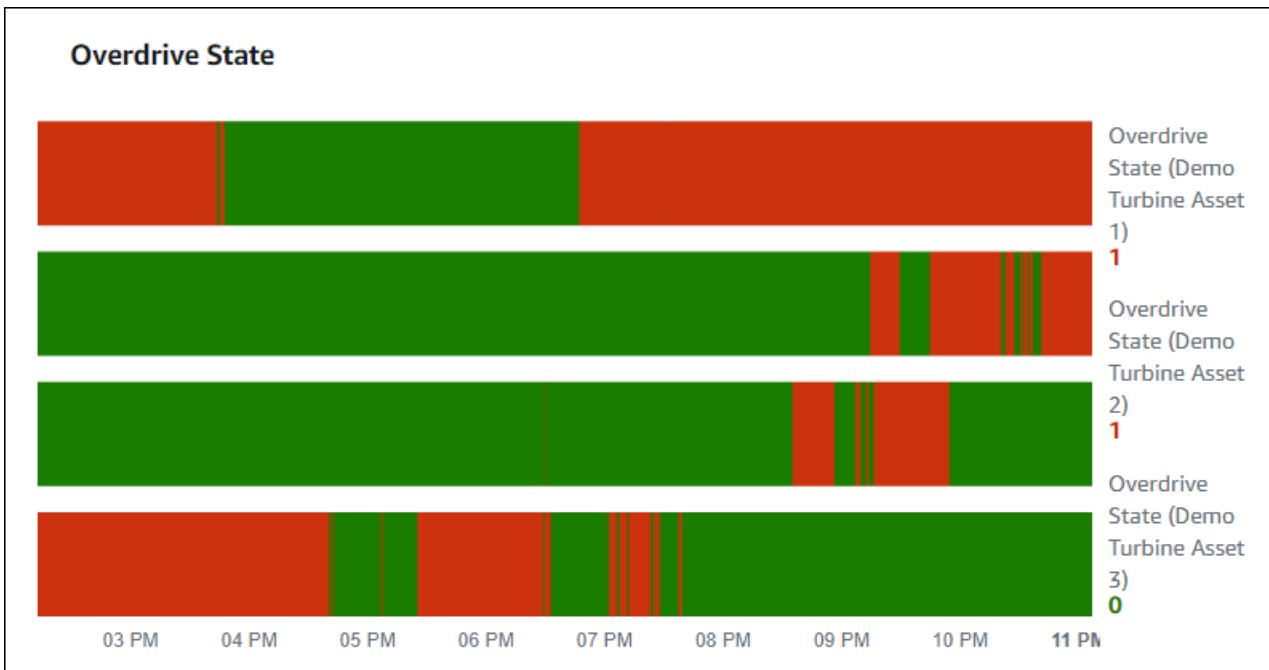
状態グリッドウィジェットを表示するには、ビジュアライゼーション型メニューから状態グリッドアイコンを選択します。



状態タイムライン

Example

次の状態タイムラインは、4つのアセットプロパティの状態を経時的に示します。



状態タイムラインウィジェットを表示するには、ビジュアライゼーション型メニューから状態タイムラインアイコンを選択します。



ステータスウィジェットを設定する

状態の色を設定するには、各状態の色とルールでしきい値を設定する。詳細については、「[しきい値を設定する](#)」を参照してください。



また、ウィジェットが表示するアセットプロパティの情報を設定することができます。

プロパティの単位と値を切り替えるには。

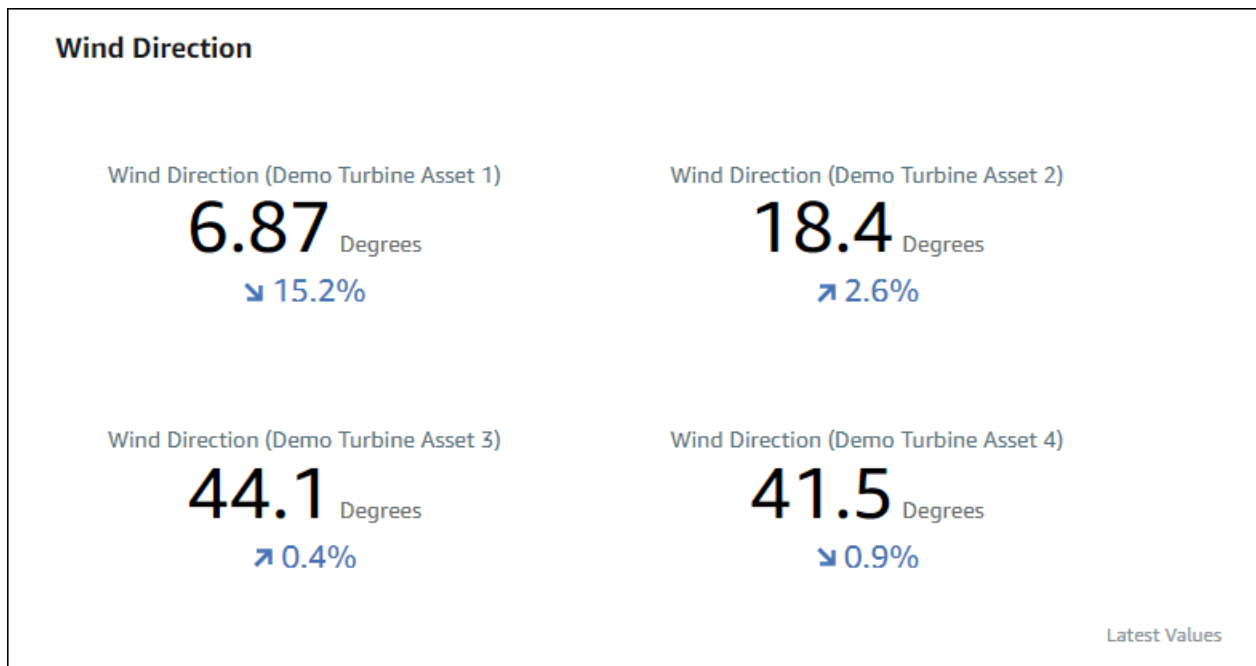
1. 変更する状態ウィジェットの [設定] アイコンを選択します。
2. [ラベルを表示する] を選択または解除します。このオプションを有効にすると、ウィジェットは各アセットプロパティの単位と値を表示します。
3. ダッシュボードの編集が終了したら、[Save dashboard] (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。

KPI

KPI のビジュアライゼーションは、アセットプロパティの概要が必要なときにコンパクトに表示されます。この概要では、デバイス、機器、またはプロセスの全体的なパフォーマンスについて、最も重要なインサイトを得ることができます。ビジュアライゼーション内の各プロパティのタイトルを変更することができます。

Example

次は、4 つのアセットプロパティを示す重要業績評価指標 (KPI、Key Performance Indicator) のビジュアライゼーションです。



KPI ビジューアライゼーションでは、次の情報が表示されます。

- アセットプロパティの最新値、または選択された時間範囲でのアラームの最新状態です。
- 選択した時間範囲より前の最初のデータポイントである、前の値と比較したその値のトレンド。

KPI を表示するには、ビジューアライゼーション型メニューから KPI アイコンを選択します。



[テーブル]

表ウィジェットは、複数のアセットプロパティまたはアラームをコンパクトに表示することができます。概要では、複数のデバイス、機器、プロセスのパフォーマンスに関する詳細な情報を確認できません。

プロパティとアラームのどちらかを表で表示することができます。プロパティとアラームを同じ表で表示することはできません。

Example

次は、4つのアセットプロパティを表示する表ウィジェットです。

Torque (KiloNewton Meter)		
Property	Latest value	Unit
Torque (KiloNewton Meter) (Demo Turbine Asset 1)	2.44	kNm
Torque (KiloNewton Meter) (Demo Turbine Asset 2)	2.13	kNm
Torque (KiloNewton Meter) (Demo Turbine Asset 3)	3.1	kNm
Torque (KiloNewton Meter) (Demo Turbine Asset 4)	2.06	kNm

表ウィジェットを表示するには、ビジュアライゼーション型メニューから表アイコンを選択します。



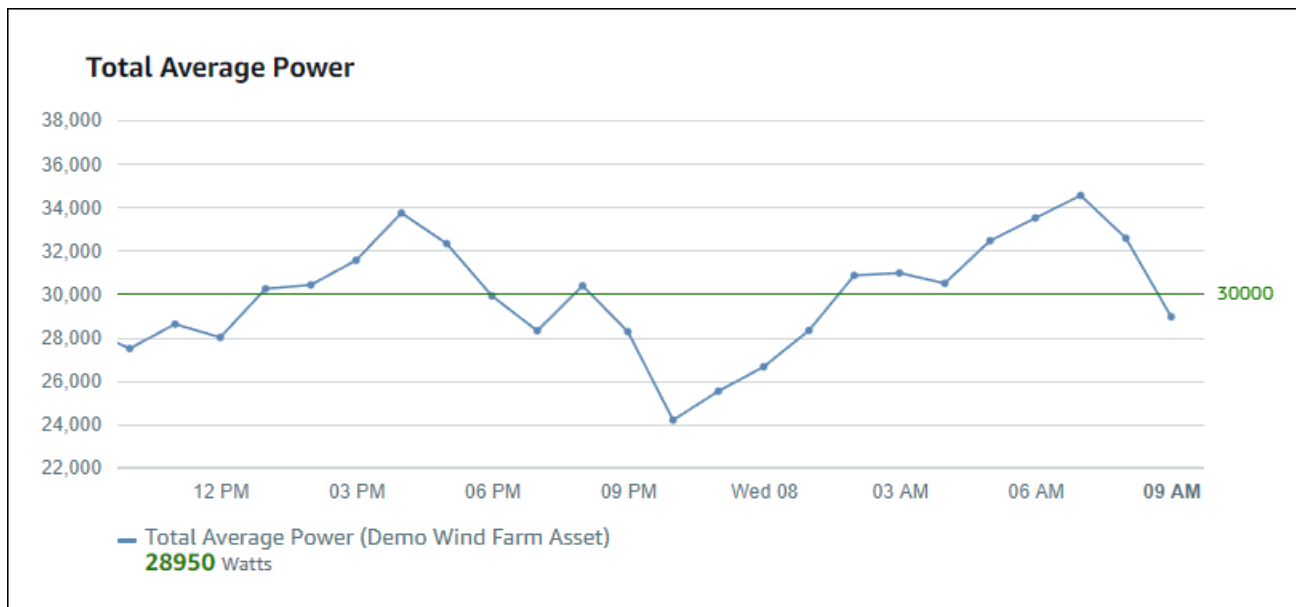
しきい値を設定する

プロジェクト所有者として、アセットのプロパティが通常の動作範囲外にある場合に表示するしきい値をビジュアライゼーションに設定することができます。しきい値を追加する際には、ルールと色を定義します。プロパティのデータポイントの少なくとも1つが、選択した時間範囲についてしきい値を超えた場合、ビジュアライゼーションではそのプロパティの凡例が選択した色で表示されます。ビジュアライゼーションでは、プロパティのデータも選択した色で表示するかどうかを選択することができます。各ビジュアライゼーションに複数のしきい値を追加し、重要度を表す色を選択することができます。

Note

アラーム付きのプロパティをビジュアライゼーションに追加すると、ビジュアライゼーションは自動的にアラームをしきい値として表示します。

次の例のしきい値は、風力発電所の総発電量が 30,000 W 未満である場合を示す。プロパティ値がしきい値を満たしているため、ビジュアライゼーションでは凡例が緑色で表示されます。



複数のしきい値がデータポイントに適用される場合、SiteWise Monitor は次のルールを使用して、どのしきい値の色を表示するかを選択します。

- データポイントが正またはゼロの場合、ビジュアライゼーションでは最大値を持つしきい値の色が表示されます。
- データポイントが負の値である場合、ビジュアライゼーションでは最も負の値を持つしきい値の色が表示されます。
- データポイントが同じ値で複数のしきい値に合致する場合、ビジュアライゼーションでは最後に追加したしきい値の色が表示されます。

Note

SiteWise Monitor は、ビジュアライゼーションでデータポイントを切り上げますが、しきい値と比較する際には実際の値を使用します。例えば、値 5.549 のデータポイントがある場合を考えてみましょう。このデータポイントは 5.55 と表示されますが、このデータポイントは 5.55 以上 (5.55を含む) のデータポイントをチェックするしきい値を満たしません。

ビジュアライゼーションにしきい値を追加する

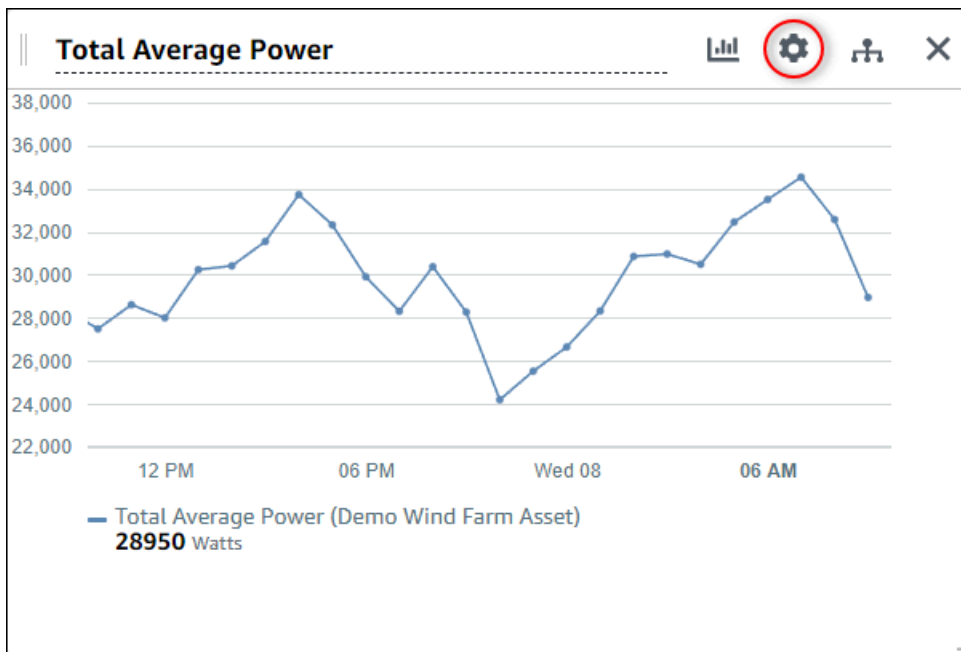
プロジェクト所有者として、各ビジュアライゼーションにしきい値を定義することができます。

Note

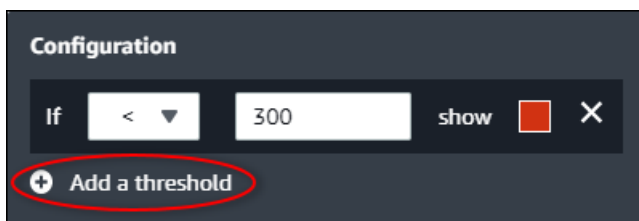
各ビジュアライゼーションに最大 6 つのしきい値を追加することができます。

ビジュアライゼーションにしきい値を追加するには。

1. 変更する視覚化の [Configuration] (設定) アイコンを選択します。



2. ビジュアライゼーションにすでにしきい値がある場合、新しい [しきい値を追加する] ためにしきい値の追加を選択します。



3. 次の比較演算子から一つを選んでください。

- [<] - 指定した値より小さいデータポイントを少なくとも 1 つ持つプロパティを強調表示します。
- [>] - 指定した値より大きいデータポイントを少なくとも 1 つ持つプロパティを強調表示します。
- [≤] - 指定した値次のデータポイントを少なくとも 1 つ持つプロパティを強調表示します。

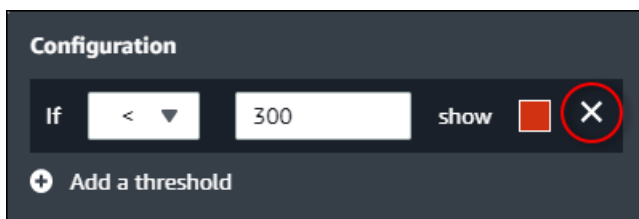
- \geq - 指定された値以上のデータポイントを少なくとも 1 つ持つプロパティを強調表示します。
 - $=$ - 指定した値に等しいデータポイントを少なくとも 1 つ持つプロパティを強調表示します。
4. 指定した演算子でデータ点を比較するためのしきい値を入力します。
 5. しきい値の色を選択します。ビジュアライゼーションでは、しきい値ルールを満たすデータポイントが少なくとも 1 つあるプロパティについて、この色でプロパティの凡例が表示されます。**[違反値の色付け]** を有効にすると、しきい値ルールを満たすデータも色付けしてビジュアライゼーションします。カラーピッカーの使用、16 進数のカラーコードの入力、色の成分値の入力が可能です。
 6. (オプション) **[カラー違反値]** をトグルします。このオプションを有効にすると、ビジュアライゼーションでは、データがしきい値を満たした場合に色付きで表示されます。
 7. ダッシュボードの編集が終了したら、**[Save dashboard]** (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。

ビジュアライゼーションからしきい値を削除する

プロジェクト所有者として、不要になったしきい値をビジュアライゼーションから削除することができます。

ビジュアライゼーションからしきい値を削除するには。

1. 変更する視覚化の **[Configuration]** (設定) アイコンを選択します。
2. 削除するしきい値の **[X]** アイコンを選択します。



3. ダッシュボードの編集が終了したら、**[Save dashboard]** (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。

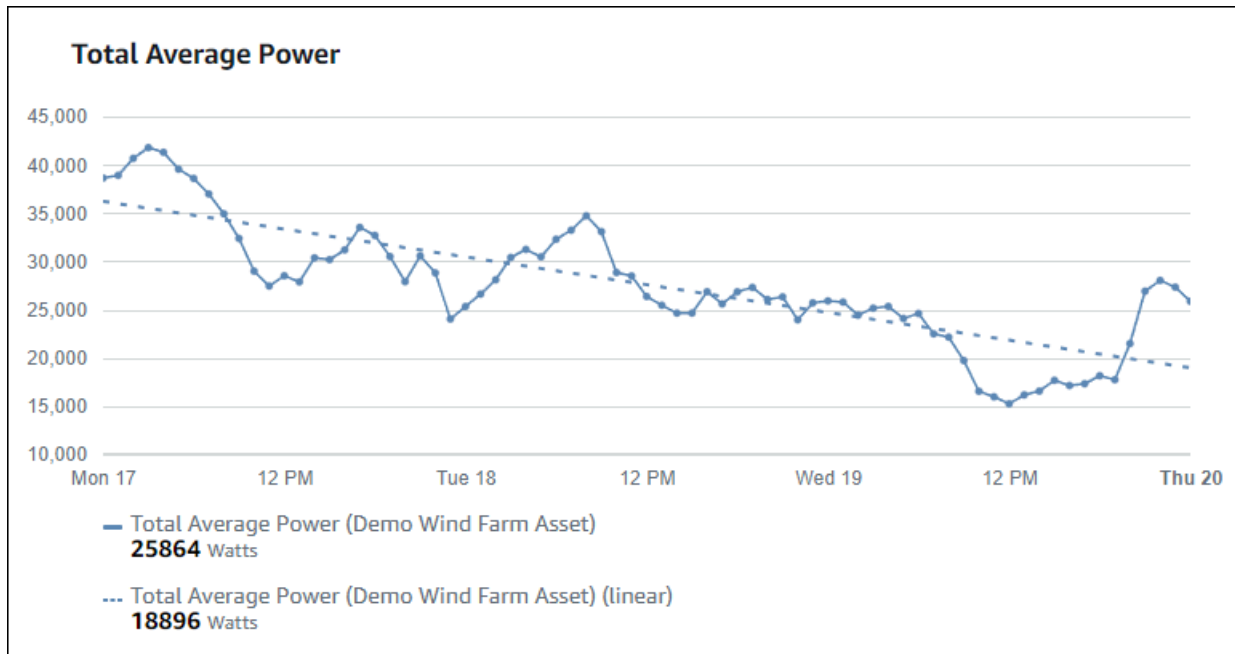
トレンドラインを設定する

プロジェクト所有者として、データの統計分析を表示するためのトレンドラインを設定することができます。トレンドラインを追加する際、分析の種類と分析するプロパティを選択します。これによって、お客様とお客様のチームは、データの傾向を特定し、お客様のオペレーションをよりよく理解することができます。

次のビジュアライゼーション型は、トレンドラインに対応しています。

- [線グラフ](#)
- [散布図](#)
- [Bar](#)

次は、線形トレンドラインによるビジュアライゼーションの例です。



i Note

ダッシュボードでは、選択した時間範囲のデータのみを使用して、トレンドラインをコンピューティングします。つまり、トレンドラインは目に見えるデータの傾向しか示さないということです。

ビジュアライゼーションにトレンドラインを追加する

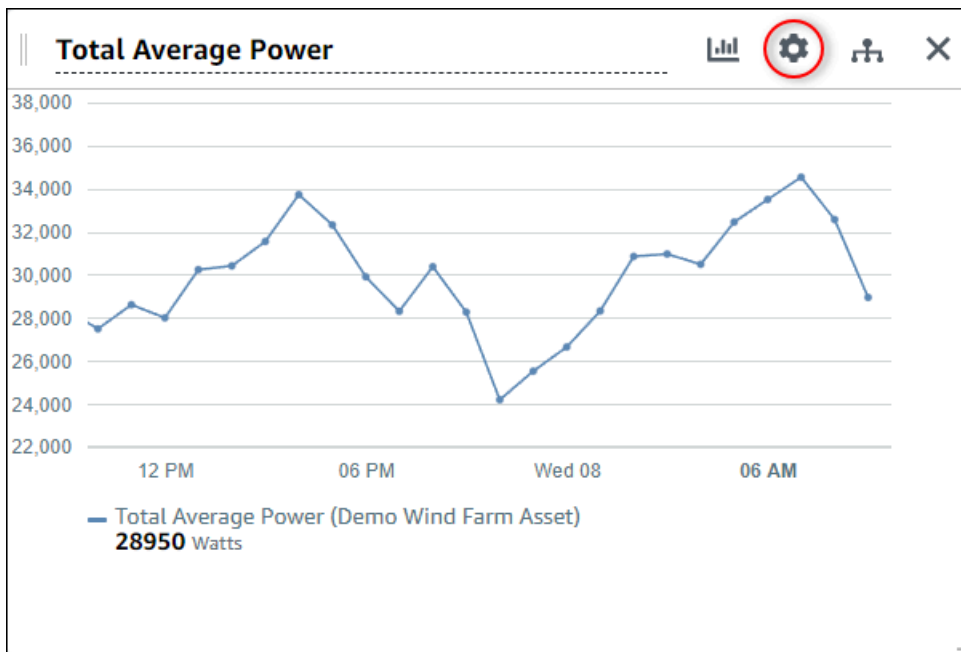
プロジェクト所有者として、各ビジュアライゼーションにトレンドラインを定義することができます。

Note

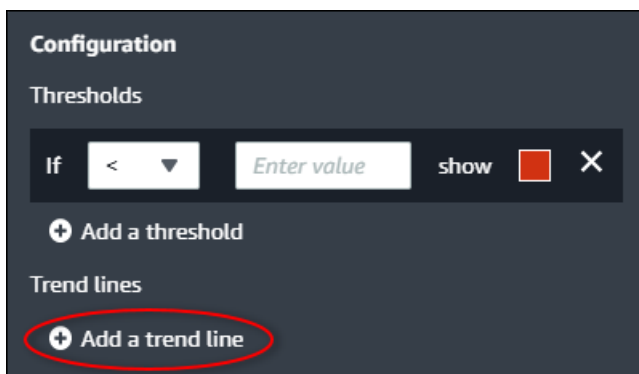
ビジュアライゼーションの各プロパティに、各型のトレンドラインを1つずつ追加することができます。

ビジュアライゼーションにトレンドラインを追加するには。

1. 変更する視覚化の [Configuration] (設定) アイコンを選択します。



2. [トレンドラインを追加] を選択します。



3. 表示するトレンドラインの種類を次のオプションから選択します。

- [直線] - 直線回帰線。SiteWise Monitorは、[\[least squares\]](#) (最小二乗法) で線形回帰をコンピューティングします。

4. トレンドラインを表示するプロパティを選択します。

トレンドラインは、プロパティデータと同じ色で表示されます。

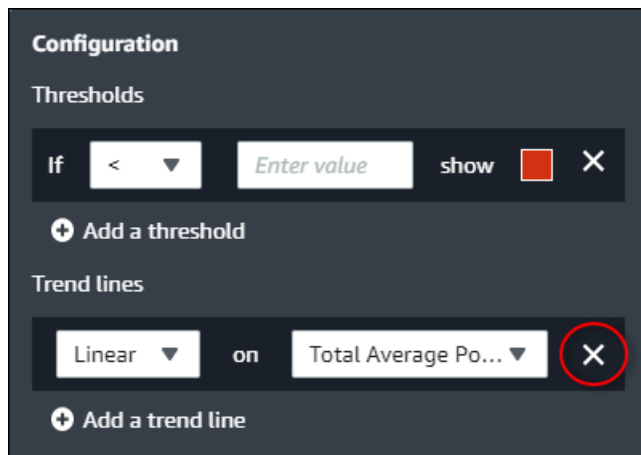
5. ダッシュボードの編集が終了したら、[Save dashboard] (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。

ビジュアライゼーションからトレンドラインを削除する

プロジェクト所有者として、不要になったトレンドラインをビジュアライゼーションから削除することができます。

ビジュアライゼーションからトレンドラインを削除するには。

1. 変更する視覚化の [設定] アイコンを選択します。
2. 削除するトレンドラインの [X] アイコンを選択します。



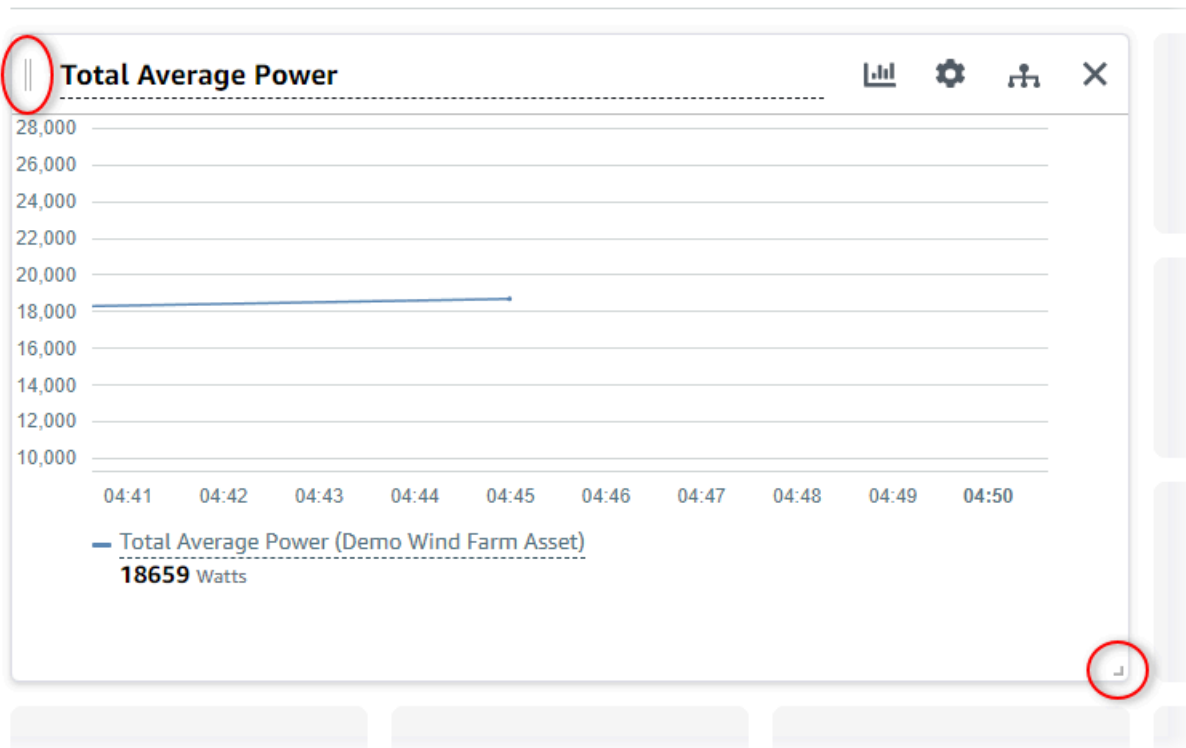
3. ダッシュボードの編集が終了したら、[Save dashboard] (ダッシュボードを保存) を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとする、保存するよう促されます。

ダッシュボードのレイアウトを調整する

SiteWise Monitor アプリケーションを使用すると、ニーズにより適したダッシュボードとビジュアライゼーションのレイアウトを調整できます。ダッシュボード上のさまざまなコンポーネントのサイズを変更および配置変更して、ユースケースの最も重要な情報を強調表示するカスタマイズされたビューを作成できます。さらに、レイアウトを変更して、さまざまな画面サイズや解像度に合わせて最適化できるため、デバイス間で一貫したユーザーフレンドリーなエクスペリエンスを実現できます。

レイアウトを調整するには。

1. ビジュアライゼーションを移動するには、左上にあるコントロールアイコンを使用します。ビジュアライゼーションを新しい場所にドラッグします。



2. ビジュアライゼーションのサイズを変更するには、右下にあるリサイズコントロールを使用します。コーナーをドラッグして、新しいサイズと形状に変更します。ビジュアライゼーションは、サイズを変更するとグリッドにスナップするので、サイズのコントロールは粗くしかできません。
3. ダッシュボードの編集が終了したら、[ダッシュボードを保存] を選択して変更内容を保存します。ダッシュボードエディタが閉じます。保存されていない変更があるダッシュボードを閉じようとすると、保存するよう促されます。

でダッシュボードを削除する AWS IoT SiteWise Monitor

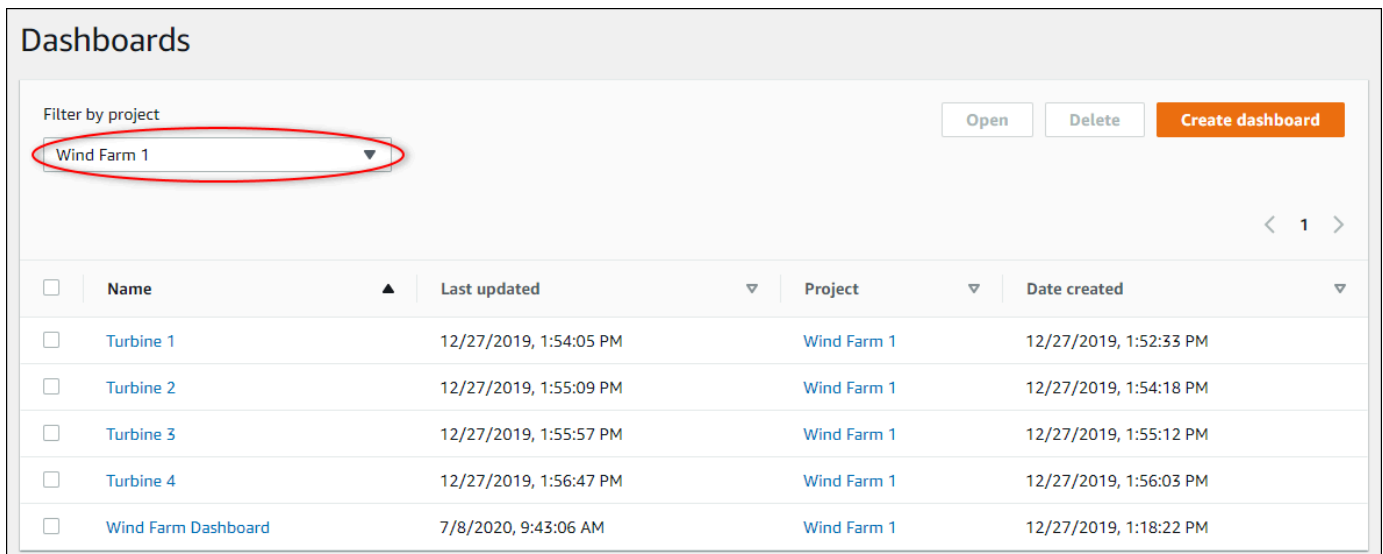
ダッシュボードを削除するには、プロジェクト所有者またはポータル管理者である必要があります。ダッシュボードの削除は、[ダッシュボード] または特定のプロジェクトのダッシュボード一覧から行うことができます。

ダッシュボードページでダッシュボードを削除するには。

1. ナビゲーションバーで、[ダッシュボード] アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ドロップダウンリストで、削除するダッシュボードがあるプロジェクトを選択します。



The screenshot shows the 'Dashboards' page. At the top, there is a 'Filter by project' dropdown menu with 'Wind Farm 1' selected and circled in red. To the right of the dropdown are three buttons: 'Open', 'Delete', and 'Create dashboard'. Below the dropdown is a table with the following columns: Name, Last updated, Project, and Date created. The table contains five rows of dashboard data.

<input type="checkbox"/>	Name	Last updated	Project	Date created
<input type="checkbox"/>	Turbine 1	12/27/2019, 1:54:05 PM	Wind Farm 1	12/27/2019, 1:52:33 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 2	12/27/2019, 1:55:09 PM	Wind Farm 1	12/27/2019, 1:54:18 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 3	12/27/2019, 1:55:57 PM	Wind Farm 1	12/27/2019, 1:55:12 PM
<input type="checkbox"/>	Turbine 4	12/27/2019, 1:56:47 PM	Wind Farm 1	12/27/2019, 1:56:03 PM
<input type="checkbox"/>	Wind Farm Dashboard	7/8/2020, 9:43:06 AM	Wind Farm 1	12/27/2019, 1:18:22 PM

ダッシュボードのリストは、列の見出しを使用して並べ替えることができます。

Note

特定のプロジェクトが見つからない場合は、そのプロジェクトの閲覧に招待されていない可能性があります。招待状をご希望の方は、プロジェクト所有者にご連絡ください。

3. 削除するダッシュボードのチェックボックスを選択し、[削除] を選択します。
4. [Delete dashboards] (ダッシュボードの削除) ダイアログボックスで、[Confirm] (確認) を選択します。

⚠ Important

ダッシュボードを削除すると、すべての視覚化と設定が削除されます。このアクションは元に戻すことができません。ダッシュボードの削除は、不要になったことが確認できから行ってください。

プロジェクトからダッシュボードを削除するには。

1. ナビゲーションバーで、[プロジェクト] アイコンを選択します。



2. [プロジェクト] ページで、ダッシュボードを削除するプロジェクトを選択します。

Projects				
Delete project View Create project				
< 1 >				
	Name ▲	Last updated ▼	Date created ▼	Description
<input type="radio"/>	Wind Farm 1	12/27/2019, 3:31:28 PM	12/27/2019, 1:16:25 PM	Contains asset data for Wind Farm #1 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 2	12/30/2019, 10:27:55 AM	12/27/2019, 3:31:42 PM	Contains asset data for Wind Farm #2 for the Example Corporation.
<input type="radio"/>	Wind Farm 3	12/27/2019, 4:11:17 PM	12/27/2019, 3:31:12 PM	Contains asset data for Wind Farm #3 for the Example Corporation.

3. [ダッシュボード] セクションで、削除するダッシュボードのチェックボックスを選択し、[削除] を選択します。
4. [ダッシュボードの削除] ダイアログボックスで、[確認] を選択します。

⚠ Important

ダッシュボードを削除すると、すべての視覚化と設定が削除されます。このアクションは元に戻すことができません。ダッシュボードの削除は、不要になったことが確認できから行ってください。

でアラームを使用してモニタリングする AWS IoT SiteWise Monitor

Note

SiteWise Monitor 機能は、新規のお客様は利用できなくなりました。既存のお客様は、通常どおりサービスを引き続き使用できます。詳細については、[SiteWise Monitor の可用性の変更](#)を参照してください。

アラームは、機器やプロセスが最適な状態でない場合に、お客様とチームに警告を発します。機器やプロセスの最適なパフォーマンスとは、特定のメトリクスの値が上限と下限の範囲内にあることを指します。これらのメトリクスが動作範囲外になった場合、装置のオペレーターに通知し、問題を解決する必要があります。アラームを使用すると、問題を迅速に特定し、オペレーターに通知して、機器やプロセスのパフォーマンスを最大限に高めることができます。

Note

アラーム通知機能は、中国 (北京) リージョンでは利用できません。

AWS IoT SiteWise Monitor は 2 種類のアラームをサポートしています。

- AWS クラウドで検出するアラーム – これらのアラームのしきい値と通知設定を表示およびカスタマイズできます。また、これらのアラームを確認したり、スヌーズしたりすることもできます。

Important

ポータルのアラーム機能を有効にすると、組織のメンバーはポータルに AWS IoT Events アラームのみを作成できます。

- 外部アラーム – これらのアラームは外部機器を検出し、アラーム状態を AWS クラウドに送信します。これらのアラームをカスタマイズしたり、承認したり、スヌーズしたりすることはできません。これらのアラームには、状態以外の情報はありません。

アラームには次の状態があります。

- [Normal] (通常) — アラームは有効ですが、非アクティブです。機器や工程が期待通りに動作している。
- [Active] (アクティブ) — アラームはアクティブです。機器またはプロセスが動作範囲外であり、注意が必要です。
- [Acknowledge] (承認) — オペレータがアラームの状態を確認しました。
- [Latched] (ラッチ) — アラームは正常に戻ったが、アクティブであり、オペレーターはそれを承認しなかった。アラームを正常な状態に戻すために、装置またはプロセスに注意が必要です。
- [Snoozed] (スヌーズ) - オペレータがアラームをスヌーズしたため、アラームは無効になりました。アラームをスヌーズさせる時間をオペレータが定義します。この時間が経過すると、アラームは通常状態に戻ります。
- [Disabled] (無効) — アラームは無効で、いかなる変化も検出していません。

アラームに関する次の作業を行うことができます。

タスク	必要なロール	説明
アラーム定義を作成する	ポータル管理者	モデルにアラーム定義を作成し、モデルに関連するプロパティをモニタリングします。
アラームの詳細を表示する AWS IoT SiteWise Monitor	ポータル管理者、プロジェクト所有者、プロジェクトビューワー。	アクセス可能なアラームの詳細を表示します。
アラームに回答する AWS IoT SiteWise	ポータル管理者、プロジェクト所有者、プロジェクトビューワー。	アクセス可能なアラームを承認またはスヌーズします。
アラームを設定する AWS IoT SiteWise	ポータル管理者、プロジェクト所有者。	アクセスできるアラームのしきい値 [and notification settings] (と通知の設定) をカスタマイズします。
ダッシュボードでアラームを視覚化する	ポータル管理者、プロジェクト所有者。	ダッシュボードにアラームを追加し、アラームの状態やアラームをしきい値としてダッ

タスク	必要なロール	説明
		ダッシュボードに視覚化することができます。

トピック

- [アラーム定義を作成する](#)
- [アラームの詳細を表示する AWS IoT SiteWise Monitor](#)
- [アラームに応答する AWS IoT SiteWise](#)
- [アラームを設定する AWS IoT SiteWise](#)
- [ダッシュボードでアラームを視覚化する](#)

アラーム定義を作成する

モデルページで、モデルに AWS IoT Events アラームを作成して、モデルに関連付けられたプロパティをモニタリングできます。[The alarms can also send notifications to you and members of your organization] (また、アラームはお客様や組織のメンバーに通知を送ることができます)。

Note


- アラームを作成する前に、IT 管理者がポータルのアラーム機能を有効にする必要があります。
- アラーム通知を送信する場合、IT管理者がポータル認証サービスに IAM Identity Center を使用する必要があります。

詳細については、[AWS IoT SiteWise User Guide] (ユーザーガイド) の[\[Enabling alarms for your SiteWise Monitor portals\]](#) (SiteWise Monitor ポータルのアラームを有効にする) を参照してください。

アラーム定義を作成するには。

1. ナビゲーションバーで、[Models] (モデル) アイコンを選択します。
2. [Models] (モデル) 階層でモデルを選択します。

3. モデルの [Alarms] (アラーム) タブを選択します。
4. [Create an alarm definition] (アラーム定義の作成) を選択します。
5. [Define threshold] (しきい値定義) ページでは、アラームが発生するタイミングとアラームの重要度を定義します。以下の操作を実行します。
 - a. アラームがモニタリングしているプロパティを選択します。このプロパティが新しい値を受信するたびに、は値を AWS IoT SiteWise に送信 AWS IoT Events してアラームの状態を評価します。
 - b. プロパティとしきい値の比較に使用する演算子を選択します。次のオプションから選択します。
 - [< 未満]
 - [<= より小さい、または等しい]
 - == 等しい
 - != 等しくない
 - [>= より大きい、または等しい]
 - [> greater than] (より大きい)
 - c. しきい値として使用するプロパティまたはカスタム値を選択します。AWS IoT Events は、プロパティの値とこの属性の値を比較します。

 Note

[カスタム値] を選択した場合は、数値を入力してください。

- d. アラームの[重要度] を入力します。このアラームの重要度を反映させるために、チームが理解できる整数を使用します。
- e. このしきい値をプレビューするアセットを選択します。
- f. [次へ] を選択します。

alarm-model-test > Create alarm

Step 1
Define threshold

Step 2
Configure settings

Step 3 - optional
Configure notification

Define threshold

Threshold
Specify when to invoke the alarm.

Model
Demo Turbine Asset Model

if **Torque (KiloNewton Meter)** < **Custom value** **500** then severity **200**

Preview
Choose an asset to preview this threshold.
Demo Turbine Asset 4

kNm

750
700
650
600
550
500
450
400
350
300
250

06:45 06:50 06:55 07 AM 07:05 07:10 07:15 07:20 07:25 07:30 07:35 07:40

Cancel **Next**

6. [構成設定] ページで、このアラーム定義の名前を入力し、デフォルトの状態を選択します。以下の操作を実行します。
 - a. 一意のアラーム名を入力します。
 - b. このアラーム定義の [デフォルトの状態] を指定します。このアラーム定義に基づいて作成されたすべてのアラームを有効または無効にすることができます。モデルに関連付けられている個々のアラームは、後のステップで有効または無効にすることができます。
 - c. [次へ] を選択します。

alarm-model-test > Create alarm

Step 1
Define threshold

Step 2
Configure settings

Step 3 - optional
Configure notification

Configure settings

Settings

Name

The alarm name must have 1-128 characters. Valid characters: a-z, A-Z, 0-9, _ (underscore), and - (hyphen).

Default state
Choose the default state for all alarms created based on this alarm definition. For example, if you choose Enabled, all alarms are turned on by default.

Enabled
 Disabled

Cancel Previous **Next**

7. [通知の設定] ページでは、通知受信者、メッセージプロトコル、およびこのアラームが呼び出されたときに送信されるカスタムメッセージを設定します。以下の操作を実行します。

a. [受信者] では、受信者を選択します。

Note

IT 管理者は、このアラームの受信者を追加する前に、現在の AWS リージョンに IAM Identity Center ユーザーを追加する必要があります。

b. [プロトコル] については、次のオプションから選択してください。

- E メールとテキスト – SMS メッセージと E メールで IAM Identity Center ユーザーに通知します。
- E メール – E メールで IAM Identity Center ユーザーに通知します。
- テキスト – SMS メッセージで IAM Identity Center ユーザーに通知します。

c. [追加のカスタムメッセージ] では、デフォルトの状態変化メッセージに加えて、送信するカスタムメッセージを指定します。例えば、このアラームの対処方法をチームが理解するのに役立つメッセージを指定することができます。

d. [アラーム定義の作成] を選択します。

alarm-model-test > Create alarm

Step 1
Define threshold

Step 2
Configure settings

Step 3 - optional
Configure notification

Configure notification - optional

Recipients and message

Recipient: [Redacted] Protocol: Email

Additional custom message - optional
Enter a message to send with the alarm details.

Enter description

Max length 128 characters

Cancel Previous **Create alarm definition**

でアラームの詳細を表示する AWS IoT SiteWise Monitor

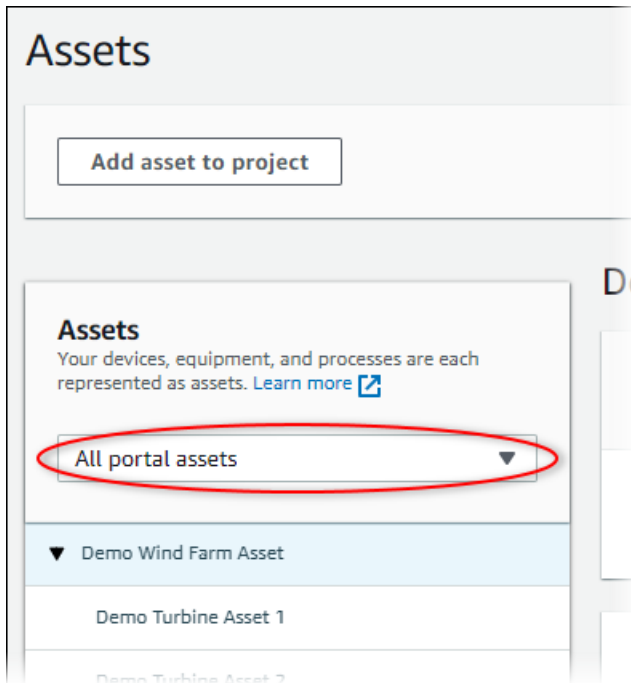
[アセット] ページでは、プロジェクトに関連するあらゆるアセットのアラームを表示し、対応することができます。ポータル管理者は、ポータル内のすべてのアセットにアクセスでき、[アセット] ページを使用して、すべてのアセットのアラームを表示および設定することができます。

アラームの詳細を見るには。

1. ナビゲーションバーで、[Assets] (アセット) アイコンを選択します。



2. (オプション) 特定のプロジェクトのアセットのみを表示するには、プロジェクトドロップダウンリストでプロジェクトを選択します。



3. [Assets] (アセット) 階層でアセットを選択します。

i Tip

アセット横の矢印を展開すると、そのアセットのすべての子アセットが表示されます。

4. [Assets] (アセット) タブを選択します。
5. 表示するアラームを選択します。

アラームの詳細ページが開きます。アラームの設定、状態履歴、通知設定を確認することができます。

でアラームに応答する AWS IoT SiteWise

[アセット] ページでは、アラームに対応することで、アラームを見たことをチームに知らせることができます。アラームが発生したときに、アラームの内容や取った行動をメモとして残すことができます。アクティブなアラームが非アクティブになる前に確認しないと、アラームはラッチされた状態になります。ラッチされた状態は、アラームがアクティブになり、確認されなかったことを示します。機器やプロセスを確認し、ラッチされたアラームを確認する必要があるかもしれません。

アラームに対応するために、次のことができます。

- アラームを確認することで、問題に対処していることを示すことができます。

- アラームをスヌーズして、一時的に無効にします。

トピック

- [アラームを承認する](#)
- [アラームをスヌーズする](#)

アラームを承認する

アラームがアクティブまたはラッチされている場合、それを承認することで、チームに問題を処理していることを示すことができます。アラームを認識したときに、そのアラームに関するメモを残すことができます。

次の状態を持つアラームを確認できます。

- アクティブ
- [Latched] (ラッチ済み)

Note

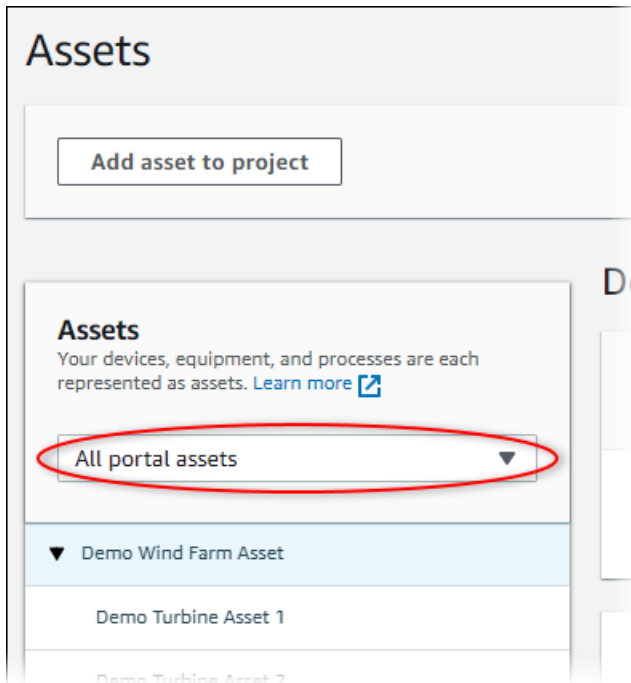
お客様のチームは、確認応答オプションに対応していないアラームを設定することができません。これらのアラームを承認することはできず、これらのアラームは [承認済み] または [ラッチされた] 状態を持つことはできません。

アラームを確認するには。

1. ナビゲーションバーで、[Assets] (アセット) アイコンを選択します。



2. (オプション) 特定のプロジェクトのアセットのみを表示するには、プロジェクトドロップダウンリストでプロジェクトを選択します。



3. [Assets] (アセット) 階層でアセットを選択します。

i Tip

アセットの横にある矢印を選択すると、そのアセットのすべての子アセットが表示されます。

4. [Assets] (アセット) タブを選択します。
5. 承認するアラームを選択します。
6. [Acknowledge] (承認) を選択します。

コメントを入力するモーダルが表示されます。

7. (オプション) アラームに関する [コメント]、またはアラームを確認するためのアクションを入力します。
8. [承認] を選択します。

アラームの状態が [承認済み] に変化します。

アラームをスヌーズする

アラームをスヌーズして、一時的に無効にすることができます。スヌーズしている間は、アラームの変更を感知しません。機器やプロセスが壊れたり誤動作していることを認識している場合、アラーム

を鳴らす必要がないため、このような方法をとることがあります。スヌーズした時にアラームに関するメモを残すことができます。

次の状態にあるアラームをスヌーズすることができます。

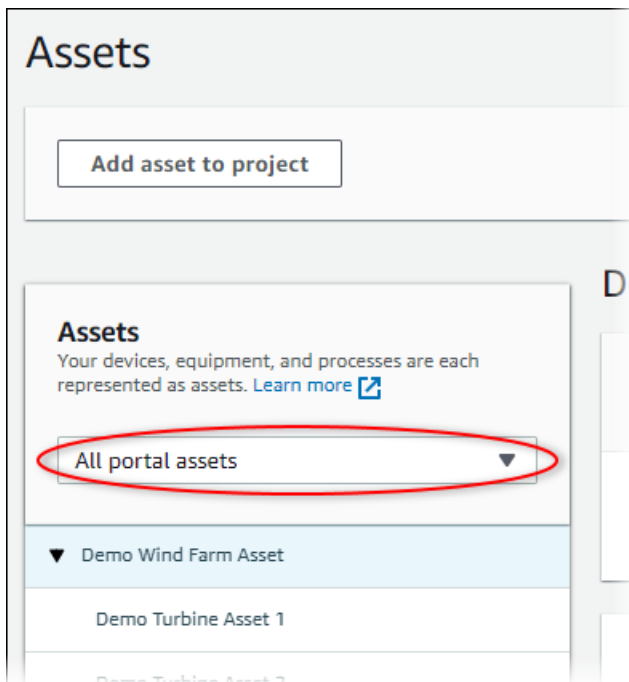
- [普通]
- [アクティブ]
- [承認済み]
- [ラッチ済み]
- [スヌーズ済み]

アラームをスヌーズするには。

1. ナビゲーションバーで、[Assets] (アセット) アイコンを選択します。



2. (オプション) 特定のプロジェクトのアセットのみを表示するには、プロジェクトドロップダウンリストでプロジェクトを選択します。



3. [Assets] (アセット) 階層でアセットを選択します。

i Tip

アセットの横にある矢印を選択すると、そのアセットのすべての子アセットが表示されます。

4. [Assets] (アセット) タブを選択します。
5. スヌーズするアラームを選択します。
6. [Snooze] (スヌーズ) を選択します。

スヌーズ時間を指定したり、コメントを入力したりできるモーダルが開きます。

7. [スヌーズ時間] を入力すると、アラームをスヌーズすることができます。
8. (オプション) アラームに関する [コメント] を入力します。
9. [スヌーズ] を選択します。

アラームの状態が [スヌーズ済み] に切り替わります。指定した時間だけ [スヌーズ済み] されたままになります。

のアラームを設定する AWS IoT SiteWise

[アセット] ページでは、プロジェクト所有者が各アラームを設定し、機器やプロセスに合わせて設定することができます。アラームのしきい値や通知設定を更新することができます。

i メモ

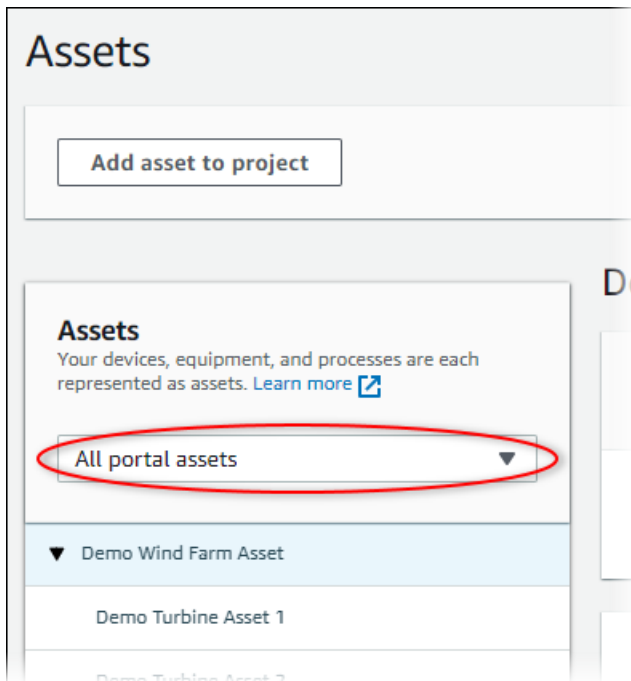
- クラウドで検出するようにチームが設定したアラームのみを設定できます AWS 。外部アラームは設定できません。
- カスタマイズできるのは、チームが設定したアラームのプロパティのみです。たとえば、AWS 管理者がしきい値または通知受信者を、変更できない静的な値として定義する場合があります。

アラームの設定するには。

1. ナビゲーションバーで、[Assets] (アセット) アイコンを選択します。



- (オプション) 特定のプロジェクトのアセットのみを表示するには、プロジェクトドロップダウンリストでプロジェクトを選択します。

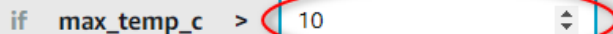


- [Assets] (アセット) 階層でアセットを選択します。

i Tip

アセットの横にある矢印を選択すると、そのアセットのすべての子アセットが表示されます。

- [アセット] タブを選択します。
- 設定するアラームを選択します。
- [設定] を選択します。
- [アラーム設定] ページで、次のいずれかを実行します。
 - アラームのしきい値を編集します。アラームがモニタリングしているプロパティの最近のデータで、しきい値をプレビューすることができます。

A screenshot of a configuration interface. It shows a rule definition: "if max_temp_c > 10". The value "10" is highlighted with a red oval. Below the rule definition, there are some faint numbers "16" and "--".

- b. アラーム通知の新しい [通知受信者] を選択します。組織内の AWS IAM アイデンティティセンター (IAM Identity Center) ユーザーを選択できます。
 - c. アラーム通知のメッセージ [プロトコル] を変更します。
 - d. 通知に含める [カスタムメッセージ] を変更します。通知メッセージには、このメッセージとアラーム状態変化に関する情報が含まれます。
8. [保存] を選択します。

ダッシュボードでアラームを視覚化する

プロジェクト所有者は、ダッシュボードにアラームを追加して、アラームの状態をデータとして、アラームを他のプロパティのしきい値として視覚化することができます。

- アラームを持つプロパティを視覚化に追加して、そのプロパティのデータ上にアラームをしきい値として表示します。
- [\[status\]](#) (状態) ウィジェットや [\[table\]](#) (テーブル) ウィジェットにアラームを追加し、ダッシュボードにアラームの状態を表示することができます。

Note

アラームを持つプロパティを視覚化に追加すると、視覚化には自動的にアラームがしきい値として含まれます。

詳細については、以下の各トピックを参照してください。

- [AWS IoT SiteWise Monitor プロジェクトでダッシュボードを作成する](#)
- [AWS IoT SiteWise Monitor でビジュアライゼーションを追加する](#)
- [ビジュアライゼーションをカスタマイズする](#)

キーボードとマウスのショートカット。

AWS IoT SiteWise Monitorでは、次のショートカットを使って、特定の作業を素早く行うことができます。

ショートカットリファレンス。

ショートカット。	説明
マウスをダブルクリックします。	選択したポイントで視覚化を拡大表示します。
Shift キーを押しながらマウスをダブルクリックします。	選択したポイントの視覚化を縮小表示します。
マウスをドラッグします。	選択した時間範囲で視覚化を拡大表示します。
Shift キーを押しながらマウスをドラッグする。	視覚化の時間範囲を左右にシフトします。

のドキュメント履歴 AWS IoT SiteWise Monitor

次の表に、このリリースのドキュメントを示します AWS IoT SiteWise。

変更	説明	日付
AWS IoT SiteWise Monitor は、2025 年 11 月 7 日以降、新規のお客様の受付を終了します。	AWS IoT SiteWise Monitor は、2025 年 11 月 7 日以降、新規のお客様に公開されなくなります。SiteWise Monitor 機能を使用する場合は、その日付より前にサインアップします。既存のお客様は、通常どおりサービスを引き続き使用できます。	2025 年 10 月 7 日
アラームの一般提供	アラーム機能は一般公開されています。ポータル管理者は、SiteWise Monitor のポータルでアラーム定義を作成することができます。	2021 年 5 月 27 日
リージョンへの参入	中国 (北京) AWS IoT SiteWise でリリースされました。	2021 年 2 月 3 日
アラーム	SiteWise Monitor のアラームのサポートに関する情報を追加しました。機器やプロセスをモニタリングするためのアラームを視覚化し、設定し、対応することができます。	2020 年 12 月 15 日
[Table visualization types] (テーブル視覚化型)。	テーブルの表示型に関する情報を追加しました。テーブルウィジェットを使用すると、複数のプロパティの情報をコ	2020 年 11 月 24 日

	ンパクトに視覚化して表示することができます。	
[Status property value labels] (状態プロパティ値ラベル)。	状態ウィジェットのASETプロパティの単位と値のラベルを切り替える方法についての情報を追加しました。	2020年11月5日
[Status visualization types] (状態視覚化の型)。	状態視覚化の型に関する情報を追加しました。状態ウィジェットを使用して、プロパティの現在または過去の状態を表示することができます。	2020年10月16日
[Visualization trend lines] (視覚化トレンドライン)。	視覚化のトレンドラインの設定方法に関する情報を追加しました。データの線形回帰を表示して、トレンドを視覚化し、識別することができます。	2020年8月20日
[Scatter visualization type] (散布図の表示型)。	散布図の表示型に関する情報を追加しました。散布図では、個々のデータポイントを線なしで表示することができます。	2020年7月21日
[Visualization thresholds] (視覚化のしきい値)。	データが正常な動作範囲外にある場合に、視覚化にしきい値を設定する方法について情報を追加しました。	2020年7月1日
[Keyboard and mouse shortcuts] (キーボードとマウスのショートカット)。	AWS IoT SiteWise Monitorで特定の作業を素早く行うためのキーボードとマウスのショートカットの使用方法に関する情報を追加しました。	2020年1月31日

[ダッシュボードページ、プロジェクト別アセット、KPIチャートの更新](#)

[\[Dashboards page\]](#) (ダッシュボードページ) で、すべてのダッシュボードを一度に見ることができるようになりました。プロジェクトの所有者やビューワーであれば、[\[Assets page\]](#) (アセットページ) でプロジェクトのアセットデータを探索できるようになりました。プロジェクト所有者であれば、[\[KPI chart\]](#) (KPI チャート) に複数のアセットプロパティを追加できるようになりました。

2019 年 12 月 20 日

[AWS IoT SiteWise Monitor リリース](#)

AWS IoT SiteWiseのバージョン 2 の機能として、SiteWise Monitor をリリースしました。SiteWise Monitor を使用すると、AWS 管理者は、組織のメンバーが AWS IoT SiteWiseに保存されている運用データを視覚化し、モニタリングするためのウェブポータルを作成することができます。

2019 年 12 月 2 日